

特記仕様書

工事名称 旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

工事場所 三原市旭町一丁目

建物概要

- ・構造 鉄筋コンクリート造4階建て
- ・床面積 1,341.38㎡
- ・建設年 昭和53年

工事内容 次のとおり、旭町住宅3号棟について改修工事を行う。

(1) 建築主体工事

- ・エレベーター棟増築工事
- ・耐震改修工事(耐力壁新設, 耐震スリット新設)
- ・外壁改修工事
- ・屋上防水改修工事

(2) 外構工事

- ・屋外倉庫改修工事
- ・付属棟(駐輪場, ごみ置場)改修工事

準 則 公共建築工事標準仕様書（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編），
公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編），建築
物解体工事共通仕様書（国土交通省官房官庁営繕部監修・最新版）に基づき施工する。

関係法令
等 本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。

- ・建築基準法, 同施行令, 同施行規則
- ・消防法, 同施行令
- ・建設業法, 同施行令, 同施行規則
- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 同法施行令, 同法施行規則
- ・労働安全衛生法, 同法施行令, 同法施行規則
- ・建設工事公衆災害防止対策要綱
- ・大気汚染防止法, 石綿障害予防規則
- ・振動規制法
- ・土壌汚染対策法
- ・その他関係法令

疑義変更 本設計図書は、設計の大意を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも
完全に施工すること。

施工に際して疑義を生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議
し、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。

提出書類 施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受け
ること。商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、
同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けるものとする。また、設計図書に定める品質及び性能を
有することの証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けるものとする。

工 期 本工事は請負契約締結の後、令和5年3月20日をもって工期とする。このうち検査期間として13日間を

見込んでいる。

留 意 点

- ・入札に先立ち現地調査を十分に行ない、質疑がある場合は入札前に確認すること。
- ・本工事は居ながら工事を基本とし、必要に応じて住人等の通路の制限を行う。ただし、事前に施設管理者及び住民等へ説明を行い、承諾を得るものとする。
- ・住人の所有物に養生や移動を行う場合は、事前に所有者に連絡すること。
- ・騒音、振動及び粉塵等については、騒音計、振動計、デジタル粉塵計を設置し、十分な管理及び対策に努め、また施工方法も配慮すること。
- ・解体工事及びアンカー工事等の騒音、振動及び粉塵等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等、住民へ最大限配慮した計画のもと行うこと。
- ・外壁改修工事について、養生等によりバルコニー側窓の開閉を制限するため、比較的気温の低い時期(10月頃)から着手すること。ただし、外壁劣化調査数量については、9月中に報告すること。
- ・施工箇所周囲の備品、機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。
- ・配筋検査は、受注者による自主検査を行ったうえ、監督員による検査を受検すること。なお、これらの検査は、種類、径及び数量については全数検査を行うこと。
- ・工事期間中は付近の交通の安全を図ると共に、工事用出入り口には誘導員を常時配置し、危険防止に努めること。
- ・本工事で見込む交通誘導員について、実施数量が設計数量に満たない場合は設計変更(減額)の対象とする。
- ・近接する古浜北公園において、仮駐車場整備及び整地を含む復旧費を本工事にて行う。
- ・仮駐車場について、出入り口付近道路を含め、維持管理及び清掃(週1回程度)を行うこと。
- ・工事中に粉じんの発生が予想される工種については、粉じん抑制等、周辺の環境対策のため散水を実施すること。
- ・第三者災害防止及び飛散防止対策のため、必要に応じて監督員の指示する範囲に、バリケード等を設置すること。
- ・工事に支障となる雨水、湧水、洗浄水等の排水については、ノッチタンクにより汚泥等の処理を行ったうえ、適切に排水すること。
- ・石綿含有建材の調査について、工事着手前までに書面及び目視調査を、一般建築物石綿含有建材調査者、特定建築物石綿含有建材調査者、建築物石綿含有建材調査者、日本アスベスト調査診断協会の登録者が行うこと。
- ・石綿含有建材の事前調査結果を工事着手前までに発注者に対し説明を行い、労働基準監督署及び所轄官庁へ報告すること。
- ・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令(令和3年4月1日施行)に基づくこと。
- ・施工面積(外構工事含む)が3,000㎡以上の場合、土壌汚染対策法第4条第1項に規定する届け出を工事着手30日前までに所轄官庁へ提出すること。
- ・本敷地内の別途工事及び近隣で行われる工事について、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・仮設内部足場は本工事に見込んでおり、別途工事業者は無償で利用できるものとする。
(維持管理上必要な費用は各業者で協議の上分担すること。)
- ・足場、交通誘導員、工事関係者駐車場用地は、建築主体工事に見込んでいるが、別途工事受注者も利用できるものとする。
- ・仮使用申請、道路使用、道路改築申請等の手続きについては、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- ・工事に伴い各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・周辺道路については常時、監視を行い、工事車両等により汚損させた場合は、速やかに清掃及び補修を行なうこと。
- ・台風や豪雨など自然災害の発生が予測される場合は、事前に足場等の養生シートを折りたたむ等の対策を施すこと。また、現場巡視と災害防止対策を必要に応じて行うこと。

- 図面に明示されていない事項であっても、工事上必要とされる事は工事範囲とする。
- 受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- 工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- 本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ、理由を添えて発注者の承認を受けること。
- 本耐震改修計画については、一般社団法人 広島県建築士事務所協会より、建築物耐震診断等評価を受けている。
- 行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- 工事完了後、完成図として製本図面(二つ折り・A3縮小版)を3部提出すること。
- 広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。

旭町住宅 3号棟耐震改修等工事 (建築主体工事)

番 号	図面名(意匠)	縮 尺	番 号	図面名(意匠)	縮 尺	番 号	図面名(構造)	縮 尺	番 号	図面名(構造)	縮 尺
A-01	表紙、図面リスト	――	A-29	改修後 断面図-2	1/100	S-01	建築工事特記仕様書（構造関係（１））	――	S-26	改修前 3, 4階柱壁4, R階梁床伏図	1/100
A-02	建築工事特記仕様書(1)	――	A-30	改修後 断面図-3	1/100	S-02	建築工事特記仕様書（構造関係（２））	――	S-27	改修後 3, 4階柱壁4, R階梁床伏図	1/100
A-03	建築工事特記仕様書(2)	――	A-31	改修前 矩計図	1/50	S-03	構造関係共通事項（１）	――	S-28	改修前 軸組図	1/100
A-04	建築工事特記仕様書(3)	――	A-32	改修後 矩計図	1/50	S-04	構造関係共通事項（２）	――	S-29	改修後 軸組図	1/100
A-05	建築工事特記仕様書(4)	――	A-33	E V 棟 改修前後 断面詳細図	1/50	S-05	構造関係共通事項（３）	――	S-30	あと施エスリット工事特記仕様書	――
A-06	建築工事特記仕様書(5)	――	A-34	EV平面詳細図	1/50	S-06	構造関係共通事項（４）	――	S-31	耐震スリット詳細図	1/20, 40
A-07	建築工事特記仕様書(6)	――	A-35	撤去・塗装替 建具表	1/100	S-07	構造関係共通事項（５）	――	S-32	デイスクリュー工法特記仕様書1	――
A-08	建築工事特記仕様書(7)	――	A-36	部分詳細図		S-08	構造関係共通事項（６）	――	S-33	デイスクリュー工法特記仕様書2	――
A-09	外壁改修工事特記仕様書(1)	――	A-37	改修前 外構配置図	1/200	S-09	EV増築 伏図	1/100	S-34	増設壁詳細図	1/30
A-10	外壁改修工事特記仕様書(2)	――	A-38	改修後 外構配置図	1/200	S-10	EV増築 軸組図	1/100	S-35	既存 部材リスト	1/50
A-11	外壁改修工事特記仕様書(3)	――	A-39	自転車置場詳細図	1/30	S-11	EV増築 部材リスト（1）	1/30			
A-12	附近見取り図・既存配置図	1/200	A-40	倉庫詳細図	1/30	S-12	EV増築 部材リスト（2）	1/20			
A-13	改修後配置図	1/200	A-41	昇降機設備図（１）	――	S-13	EV増築 鉄骨詳細図	1/30			
A-14	面積求積図、算出表	1/100	A-42	昇降機設備図（２）	――	S-14	合成スラブ用デッキ標準図（参考）	――			
A-15	改修前 1階平面図	1/100	A-43	昇降機設備図（３）	1/30	S-15	弾性露出柱脚工法標準図	――			
A-16	改修前 2階平面図	1/100	A-44	昇降機設備図（４）	1/30, 1/50	S-16	弾性露出柱脚工法標準図(1)	――			
A-17	改修前 3階平面図	1/100	A-45	昇降機設備図（５）	1/30	S-17	弾性露出柱脚工法標準図(2)	――			
A-18	改修前 4階平面図	1/100	A-46	日影時間図-1	1/200	S-18	弾性露出柱脚工法標準図(3)	――			
A-19	改修前 屋根伏図	1/100	A-47	日影時間図-2	――	S-19	ボーリング柱状図	1/150			
A-20	改修後 1階平面図	1/100	A-48	平均地盤算出表	1/200	S-20	建築改修工事特記仕様書(8)	――			
A-21	改修後 2階平面図	1/100	A-49	仮設計画図<参考図>	1/200	S-21	建築改修工事特記仕様書(9)	――			
A-22	改修後 3階平面図	1/100				S-22	改修前 基礎伏図・1階床梁伏図	1/100			
A-23	改修後 4階平面図	1/100				S-23	改修後 基礎伏図・1階床梁伏図	1/100			
A-24	改修後 屋根伏図	1/100				S-24	改修前 1, 2階柱壁2, 3階梁床伏図	1/100			
A-25	改修後 北側立面図	1/100				S-25	改修後 1, 2階柱壁2, 3階梁床伏図	1/100			
A-26	改修後 南側立面図	1/100									
A-27	改修後 西側・東側立面図	1/100									
A-28	改修後 断面図-1	1/100									



設計に緑を

記事		 株式会社 車田 建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1 級 建 築 士 事 務 所 登 録 1 7 (1) 第 0 5 8 7 号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	構造設計者 1級建築士 登録 第248850号 構造1級建築士 登録 第 4097号 浜口 修也	設計年月日	工事名	A 2 版 100% A 3 版 71%	図面 No A -01
	2021. 6.				旭町住宅 3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)			
					図面名 3号棟 表紙、図面リスト	縮 尺 -		

5 建築改修工事 14 自閉式上吊り引戸装置 [5. 9. 3] (試験方法) (1) 応答時間 0.3m/secの早さで移動している標準試験体が検出範囲に入ってから、0N信号を出力するまでの時間を測定する。 (2) 検出範囲 a. ゴムマットスイッチは、直径100mmの鋼製円柱 (質量10kg) を不感部を除く全面に静かに置いたとき、確実に作動すること。 b. 上部取り付け時の動作検出形は、0.15m/secの速度で、検出範囲に近づけたとき確実に作動すること。 c. 上部取り付け時の静止検出形は、0.05m/secの速度で、検出範囲に近づけたとき、確実に作動すること。 注) 取り付け位置などにより、上記よりがない場合は、当該センサーに適した方法の試験を行い確実に作動することを確認する。 (3) 耐放射ノイズ 性能 ※改修標準仕様書表5. 9. 1による (試験) (1) 耐久性 (閉鎖繰り返し) 試験 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開閉位置から閉鎖位置までの動作を確認できる試験を行う。 同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。 適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点で1回の調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性試験成績書において2万回以上の耐久性を確認することで、試験に代えることができるものとする。 (2) 耐衝撃性試験 落下高さ170mmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。 耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。 適用戸総質量の区分毎に試験を行う。 (3) 気密性試験 JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。 シャッターの種類 ・ 管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m² ・ 外装用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m² ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター 防火又は、防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、連動制御盤及び煙感は別途とする 閉鎖機能による種類 ※上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ※改修標準仕様書5.10.2(d) (4) (i) かつ (iii) ・ 改修標準仕様書5.10.2(d) (4) (ii) かつ (iii) 管理用シャッターのシャッターケース (防火、防煙以外) ※設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※Z12 又は F12 15 重量シャッター [5. 10. 2. 3] 16 軽量シャッター [5. 11. 2~4] 17 オーバーヘッドドア [5. 12. 2, 3] 18 木製建具 (16. 7. 2~4) 19 ガラス [3. 7] [5. 13. 2~4] [表5. 13. 1] 6 内装改修工事 20 ガラス留め材 [3. 7] [5. 13. 2] 21 ガラスブロック積み [5. 13. 5] 22 ガラス用フィルム 23 付属電気設備 6 内装改修工事 1 他の部位との取り合い等 [6. 1. 3] 2 既存床仕上げ材の除去等 [6. 2. 2] 3 床面仕上げ [6. 5. 1] 4 装 材 [6. 5. 2] 6 内装改修工事 2 造作用集成材 [6. 5. 2] 6 内装改修工事 3 造作用単板積層材 [6. 5. 2] 7 床張り用合板等 [6. 5. 2] 8 防菌防蟻処理 [6. 5. 5] 9 ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル [6. 8. 2, 3] 6 内装改修工事 4 ビニル床タイル 10 ゴム床タイル 11 接 着 剤 12 カーベット敷き [6. 9. 3~4] [表6. 9. 1] 13 合成樹脂塗床 14 フローリング張り [6. 11. 2~6] [表6. 11. 1~5] 設計に緑を



8 屋根改修工事 3 ガラス改修工事 4 断熱・防露改修工事 5 屋上緑化改修工事 9 その他 1 フリーアクセスフロア (2.0.2.2) 2 表示 (2.0.2.10) 3 ブラインド (2.0.2.12) 5 カーテン及びカーテンレール (2.0.2.14) 6 点検口 7 階段すり足木 8 天井見切り縁 9 視覚障害者用床タイル (視覚障害者誘導用ブロック) 10 鉄筋 (5.2.1) 11 溶接金網 (5.2.2) 12 継手 (5.3.4) (5.4.1) (5.5.2) 13 コンクリートの種類と強度 (6.1.3~4) (6.2.2) 14 型枠 (6.9.3) 15 無筋コンクリート (6.14.1) (6.14.3) 16 糸と金アンカー (1.4.1.3) 17 可動間仕切 (2.0.2.3) 18 移動間仕切 (2.0.2.4)

設計に緑を

株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 17(1)0587号

管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者 1級建築士 登録 第248850号 構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日 2021.6.

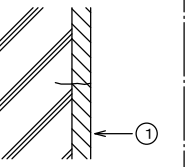
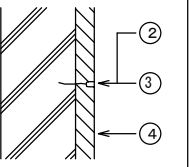
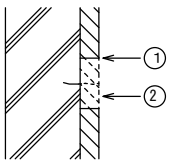
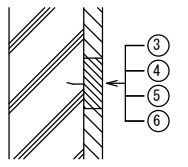
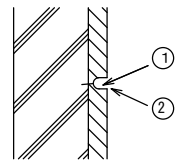
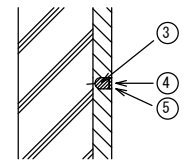
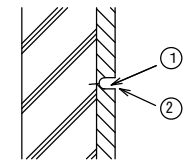
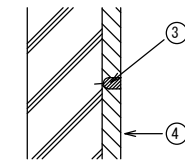
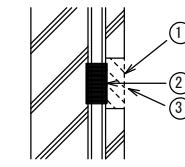
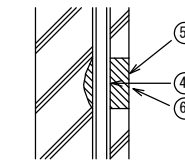
工事名 旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面縮小率 A2版 100% A3版 71% 図面縮小率 A3版 71%

図面名 3号棟 建築工事特記仕様書(6)

A-07

名 称		A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理	
記号・仕様		A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]		A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4.3.4] ひび割れ幅 0.2～1.0mm		B-2 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.3.5(1)] ひび割れ幅 1.0mm以上		B-3 打放し面Uカットシール材充てん工法 [標仕4.3.5(1)] ひび割れ幅 0.2～1.0mm	
改修前	改修後										
工 程		①既存仕上材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150～200kg/cm ²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 参考数量: 355.00㎡		①既存仕上材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150～200kg/cm ²) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) 参考数量: 1532.00㎡		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合は、①、④の工程はA-1工法に含む。 参考数量: ひび割れ幅 0.2～0.5mm () ひび割れ幅 0.5～1.0mm () () 内は挙動ひび割れ数量を示す		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150～200kg/cm ²) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合は、②⑤の工程はA-1工法に含む。 参考数量:		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150～200kg/cm ²) ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm) ※A-1工法を行う場合は、②④の工程はA-1工法に含む。 参考数量:	

名 称		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理	
記号・仕様		B-4 モルタル面樹脂注入工法〔共仕4. 4. 5〕 ひび割れ幅 0. 2～1. 0mm		B-5 モルタル面躯体部樹脂注入工法〔標仕4. 4. 5〕 ひび割れ幅 0. 2～1. 0mm		B-6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1. 0mm以上		B-7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0. 2～1. 0mm		C-1 打放し面錆鉄筋部処理	
改修前	改修後										
工 程		①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A-2工法を行う場合は、①、④の工程はA-2工法に含む。 参考数量： ひび割れ幅 0. 2～0. 5mm （154.00m ） ひび割れ幅 0. 5～1. 0mm （14.30m ） （ ）内は挙動ひび割れ数量を示す		①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A-2工法を行う場合は、⑥の工程はA-2工法に含む。 参考数量：		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄（150～200kg／cm ² ） ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し（ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A-2工法を行う場合は、②⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量：		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄（150～200kg／cm ² ） ③可とう性エポキシ樹脂充てん後けい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A-2工法を行う場合は、②④の工程はA-2工法に含む。 参考数量：		①錆鉄筋周辺のはつり ②錆落とし ③高圧水洗浄（150～200kg／cm ² ） ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1. 5mm±0. 5mm） ※A-2工法を行う場合は、③⑥の工程はA-2工法に含む。 参考数量：	

名 称		C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理		D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法		[標仕 4. 4. 1 0] [標仕 4. 5. 9]	
記号・仕様		C-2 モルタル面錆鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつり					
改修前	改修後								
工 程		①カッター縁切り ②浮き部はつり ③錆落とし ④高圧水洗浄（１５０～２００kg／c㎡） ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り（１．５mm±０．５mm） ※Ａ－２工法を行う場合は、④⑦の工程はＡ－２工法に含む。 参考数量： 530.00㎡		①カッター縁切り ②浮き部はつり ③高圧水洗浄（１５０～２００kg／c㎡） ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（１．５mm±０．５mm） ※Ａ－２工法を行う場合は、③⑤の工程はＡ－２工法に含む。 参考数量： 23.80㎡		①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③エポキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [バテ状エポキシ樹脂] 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄（１５０～２００kg／c㎡） ⑧セメント系下地調整材コテ塗り（１．５mm±０．５mm） ※Ａ－２工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はＡ－２工法に含む。 参考数量：①一般部分： 265.00㎡ ②指定部分： ③峽幅部：		⑤穿孔跡埋戻し [バテ状エポキシ樹脂] 一般部 16ヶ所 指定部 25ヶ所 ⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄（１５０～２００kg／c㎡） ⑧セメント系下地調整材コテ塗り（１．５mm±０．５mm） ※Ａ－２工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はＡ－２工法に含む。 参考数量：①一般部分： 265.00㎡ ②指定部分： ③峽幅部：	

・アスベスト含有仕上塗材等(下地調整塗材は除く)の除去
除去対象範囲 ※各階部放風下天井、各住戸12ヶ天井、階段室天井・上裏
除去工法 ・剥離剤併用手工具ケレン工法(煩雑養生・負圧無し)
※アスベストは外壁(軒裏天井・階段上裏面のみ・一般外壁面は含有無し)仕上塗材(3層構成)のうち、
塗材(表面側主材)に含まれており、下地調整材には含まれていないことが分析調査により判明している。

図面縮小率 A2版 100%
図面縮小率 A3版 71%



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面名

3号棟
外壁改修工事特記仕様書(1)

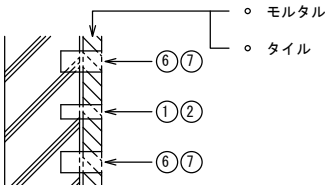
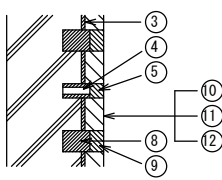
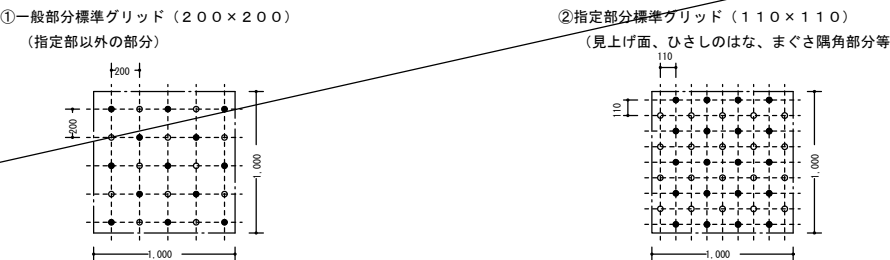
A2版 100%

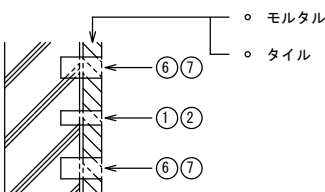
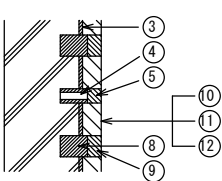
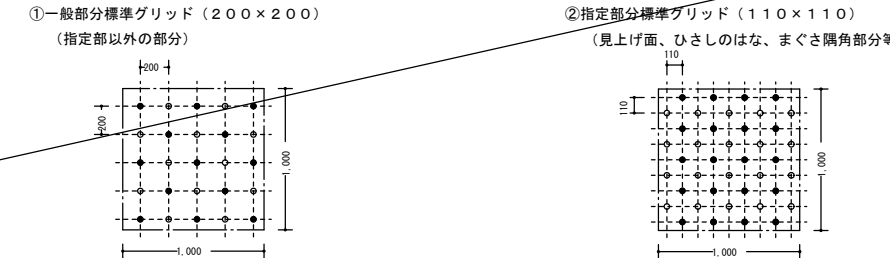
A3版 71%

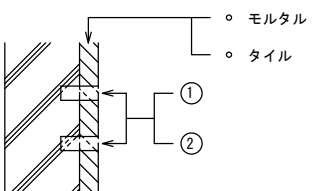
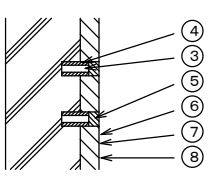
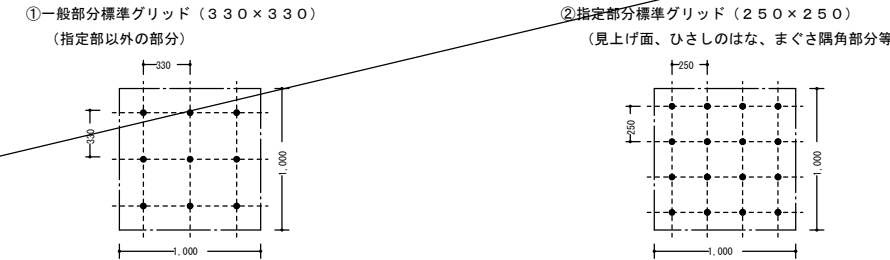
縮尺

図面No

A-09

名 称		D 浮き部処理																																																																																																																																			
記号・仕様		D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 11] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 5. 10]																																																																																																																																			
改修前	改修後																																																																																																																																				
工 程		<table><tr><td>①ピン固定部穿孔</td><td>一般部</td><td>13</td><td>ヶ所</td><td>⑥注入口穿孔</td><td>一般部</td><td>12</td><td>ヶ所</td><td>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>②孔内エアークリーニング</td><td>一般部</td><td>13</td><td>ヶ所</td><td>⑦孔内エアークリーニング</td><td>一般部</td><td>12</td><td>ヶ所</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>③エポキシ樹脂注入</td><td>一般部</td><td>13</td><td>ヶ所</td><td>⑧エポキシ樹脂注入</td><td>一般部</td><td>12</td><td>ヶ所</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>④ステンレスピン挿入</td><td>一般部</td><td>13</td><td>ヶ所</td><td>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td><td>一般部</td><td>12</td><td>ヶ所</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td><td>一般部</td><td>13</td><td>ヶ所</td><td>⑩サンダーケレン</td><td>一般部</td><td>12</td><td>ヶ所</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td><td></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td><td colspan="5"></td><td colspan="2"></td></tr></table> ※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：										①ピン固定部穿孔	一般部	13	ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部	12	ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)				指定部	20	ヶ所		指定部	20	ヶ所				②孔内エアークリーニング	一般部	13	ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部	12	ヶ所					指定部	20	ヶ所		指定部	20	ヶ所				③エポキシ樹脂注入	一般部	13	ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部	12	ヶ所					指定部	20	ヶ所		指定部	20	ヶ所				④ステンレスピン挿入	一般部	13	ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部	12	ヶ所					指定部	20	ヶ所		指定部	20	ヶ所				⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部	13	ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部	12	ヶ所					指定部	20	ヶ所		指定部	20	ヶ所								⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)							
①ピン固定部穿孔	一般部	13	ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部	12	ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)																																																																																																																													
	指定部	20	ヶ所		指定部	20	ヶ所																																																																																																																														
②孔内エアークリーニング	一般部	13	ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部	12	ヶ所																																																																																																																														
	指定部	20	ヶ所		指定部	20	ヶ所																																																																																																																														
③エポキシ樹脂注入	一般部	13	ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部	12	ヶ所																																																																																																																														
	指定部	20	ヶ所		指定部	20	ヶ所																																																																																																																														
④ステンレスピン挿入	一般部	13	ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部	12	ヶ所																																																																																																																														
	指定部	20	ヶ所		指定部	20	ヶ所																																																																																																																														
⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部	13	ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部	12	ヶ所																																																																																																																														
	指定部	20	ヶ所		指定部	20	ヶ所																																																																																																																														
				⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)																																																																																																																																	

名 称		D 浮き部処理																																																																																																							
記号・仕様		D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 12] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 5. 11]																																																																																																							
改修前	改修後																																																																																																								
工 程		<table><tr><td>①ピン固定部穿孔</td><td>一般部</td><td>13</td><td>ヶ所</td><td>⑥注入口穿孔</td><td>一般部</td><td>12</td><td>ヶ所</td><td colspan="2" rowspan="2">⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)</td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td>②孔内エアークリーニング</td><td>一般部</td><td>13</td><td>ヶ所</td><td>⑦孔内エアークリーニング</td><td>一般部</td><td>12</td><td>ヶ所</td><td colspan="2" rowspan="2">※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。</td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td>③ポリマーセメントスラリー注入</td><td>一般部</td><td>13</td><td>ヶ所</td><td>⑧ポリマーセメントスラリー注入</td><td>一般部</td><td>12</td><td>ヶ所</td><td colspan="2" rowspan="2">参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：</td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td>④ステンレスピン挿入</td><td>一般部</td><td>13</td><td>ヶ所</td><td>⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]</td><td>一般部</td><td>12</td><td>ヶ所</td><td colspan="2" rowspan="2">⑩サンダーケレン</td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td>⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]</td><td>一般部</td><td>13</td><td>ヶ所</td><td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm²)</td><td colspan="4"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>20</td><td>ヶ所</td><td></td><td colspan="4"></td><td colspan="2"></td></tr></table>										①ピン固定部穿孔	一般部	13	ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部	12	ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)			指定部	20	ヶ所		指定部	20	ヶ所	②孔内エアークリーニング	一般部	13	ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部	12	ヶ所	※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。			指定部	20	ヶ所		指定部	20	ヶ所	③ポリマーセメントスラリー注入	一般部	13	ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部	12	ヶ所	参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：			指定部	20	ヶ所		指定部	20	ヶ所	④ステンレスピン挿入	一般部	13	ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部	12	ヶ所	⑩サンダーケレン			指定部	20	ヶ所		指定部	20	ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部	13	ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)								指定部	20	ヶ所							
①ピン固定部穿孔	一般部	13	ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部	12	ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1.5mm±0.5mm)																																																																																																	
	指定部	20	ヶ所		指定部	20	ヶ所																																																																																																		
②孔内エアークリーニング	一般部	13	ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部	12	ヶ所	※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。																																																																																																	
	指定部	20	ヶ所		指定部	20	ヶ所																																																																																																		
③ポリマーセメントスラリー注入	一般部	13	ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部	12	ヶ所	参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：																																																																																																	
	指定部	20	ヶ所		指定部	20	ヶ所																																																																																																		
④ステンレスピン挿入	一般部	13	ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部	12	ヶ所	⑩サンダーケレン																																																																																																	
	指定部	20	ヶ所		指定部	20	ヶ所																																																																																																		
⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部	13	ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm ²)																																																																																																					
	指定部	20	ヶ所																																																																																																						

名 称		D 浮き部処理																																																																																	
記号・仕様		D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 13] D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 5. 12]																																																																																	
改修前	改修後																																																																																		
工 程		<table><tr><td>①穿孔</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td>②孔内エアークリーニング</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td>③ステンレスピン（注入口付）挿入</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td>④エポキシ樹脂注入</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr></table>				①穿孔	一般部	9	ヶ所		指定部	16	ヶ所	②孔内エアークリーニング	一般部	9	ヶ所		指定部	16	ヶ所	③ステンレスピン（注入口付）挿入	一般部	9	ヶ所		指定部	16	ヶ所	④エポキシ樹脂注入	一般部	9	ヶ所		指定部	16	ヶ所	<table><tr><td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td>⑥サンダーケレン</td><td>一般部</td><td>9</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td></td><td>指定部</td><td>16</td><td>ヶ所</td></tr><tr><td>⑦高圧水洗浄（150～200kg/cm²）</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td>⑧セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）</td><td colspan="3"></td></tr><tr><td colspan="4">※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。</td></tr><tr><td colspan="4">参考数量：①一般部分：32.1㎡（東棟）0.68㎡（西棟）</td></tr><tr><td colspan="4">②指定部分：</td></tr><tr><td colspan="4">③峽幅部：</td></tr></table>				⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部	9	ヶ所		指定部	16	ヶ所	⑥サンダーケレン	一般部	9	ヶ所		指定部	16	ヶ所	⑦高圧水洗浄（150～200kg/cm ² ）				⑧セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）				※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。				参考数量：①一般部分：32.1㎡（東棟）0.68㎡（西棟）				②指定部分：				③峽幅部：				①一般部分標準グリッド（330×330） （指定部以外の部分） ②指定部分標準グリッド（250×250） （見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等） ③峽幅部 （幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所） ● 注入口付アンカーピン固定部	
①穿孔	一般部	9	ヶ所																																																																																
	指定部	16	ヶ所																																																																																
②孔内エアークリーニング	一般部	9	ヶ所																																																																																
	指定部	16	ヶ所																																																																																
③ステンレスピン（注入口付）挿入	一般部	9	ヶ所																																																																																
	指定部	16	ヶ所																																																																																
④エポキシ樹脂注入	一般部	9	ヶ所																																																																																
	指定部	16	ヶ所																																																																																
⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部	9	ヶ所																																																																																
	指定部	16	ヶ所																																																																																
⑥サンダーケレン	一般部	9	ヶ所																																																																																
	指定部	16	ヶ所																																																																																
⑦高圧水洗浄（150～200kg/cm ² ）																																																																																			
⑧セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）																																																																																			
※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。																																																																																			
参考数量：①一般部分：32.1㎡（東棟）0.68㎡（西棟）																																																																																			
②指定部分：																																																																																			
③峽幅部：																																																																																			

・アスベスト含有仕上塗材等 (下地調整塗材は除く) の除去
除去対象範囲 ※各階部放風下天井、各住戸12~天井、階段室天井・上裏
除去工法 ・剥離剤併用手工具ケレン工法 (煩雑養生・負圧無し)
※アスベストは外壁 (軒裏天井・階段上裏面のみ・一般外壁面は含有無し) 仕上塗材 (3層構成) のうち、
塗材 (表面側主材) に含まれており、下地調整材には含まれていないことが分析調査により判明している。



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17 (1) 第0587号

管理建築士

1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者

1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事 (建築主体工事)

図面名

3号棟
外壁改修工事特記仕様書 (2)

A2版

100%

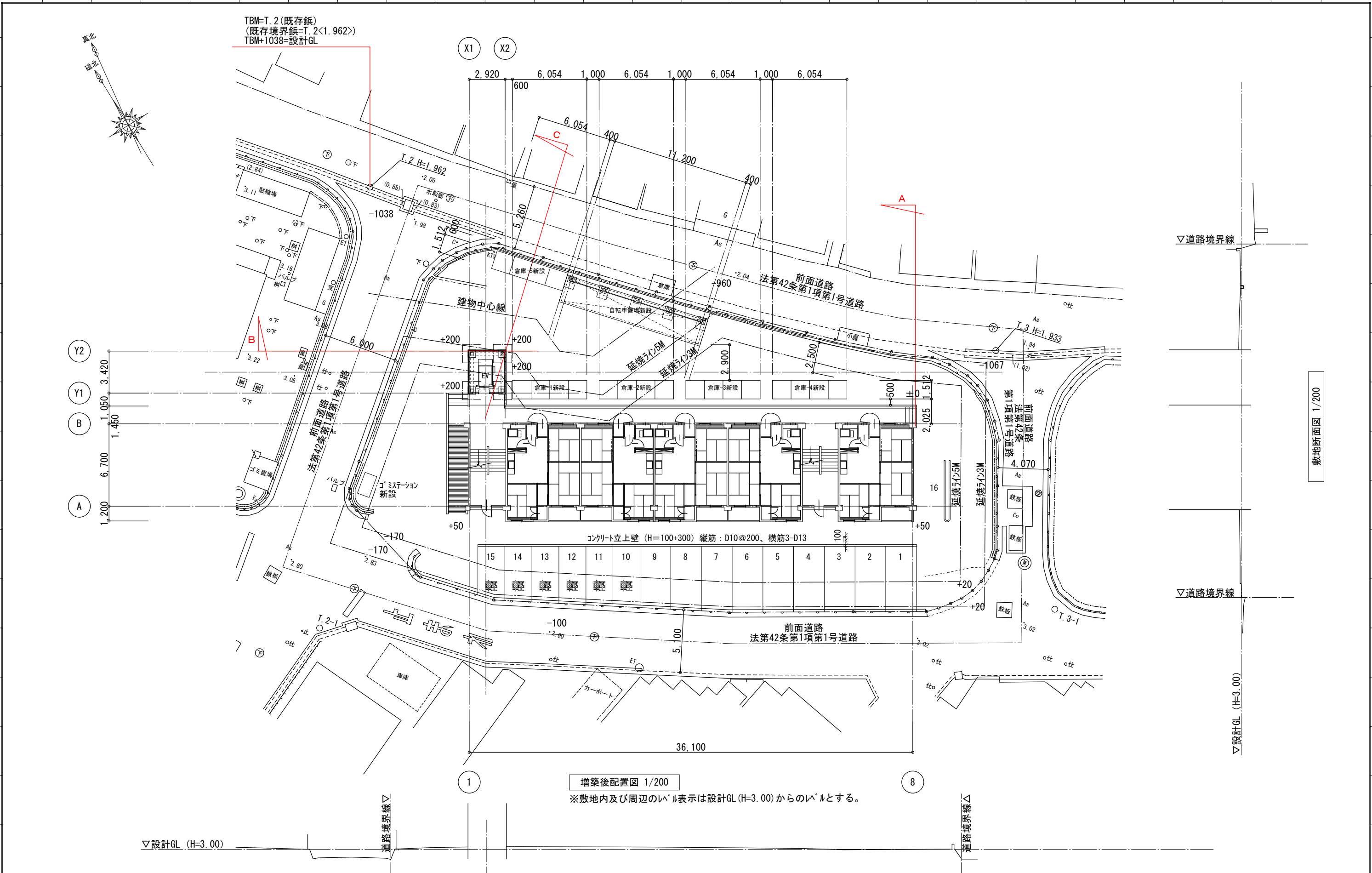
図面No

A-10

A3版

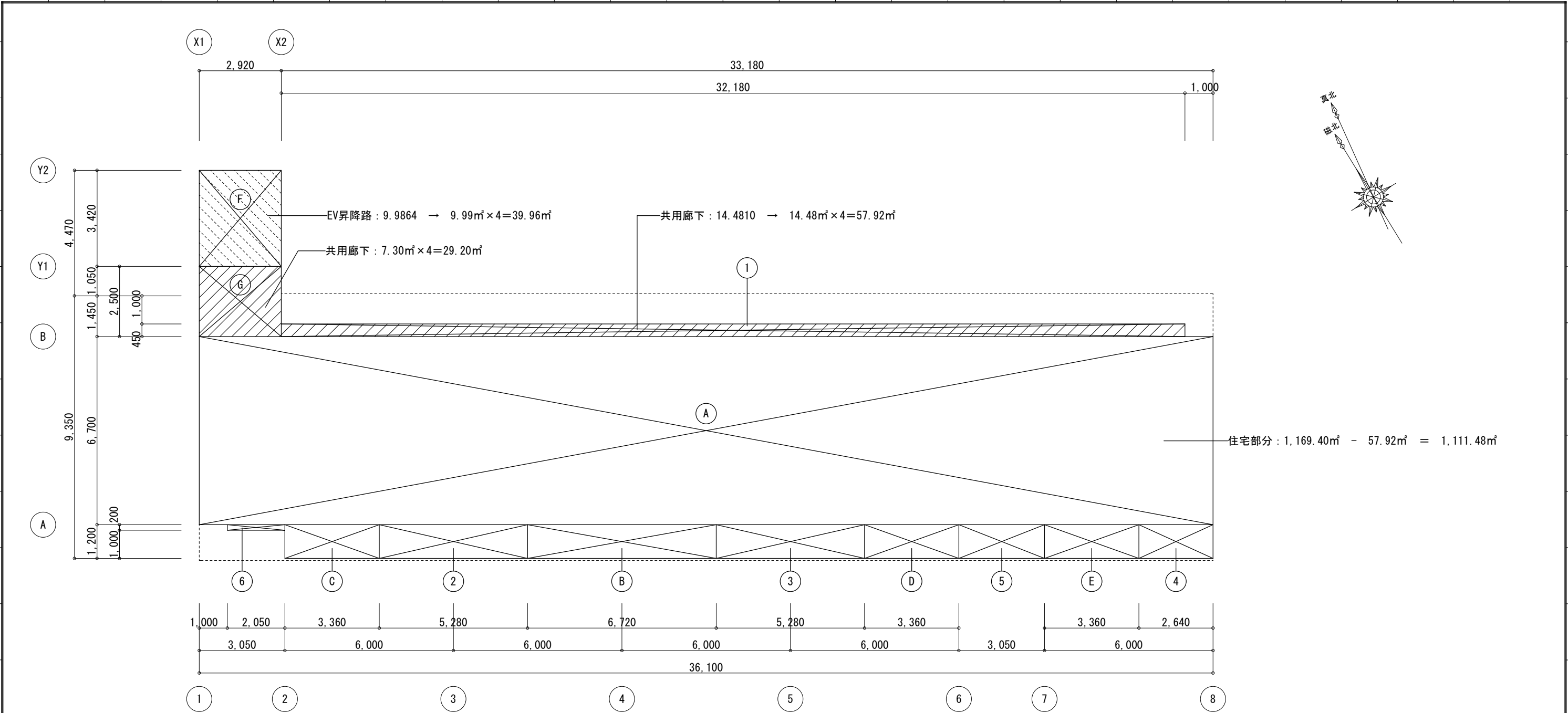
71%

縮尺



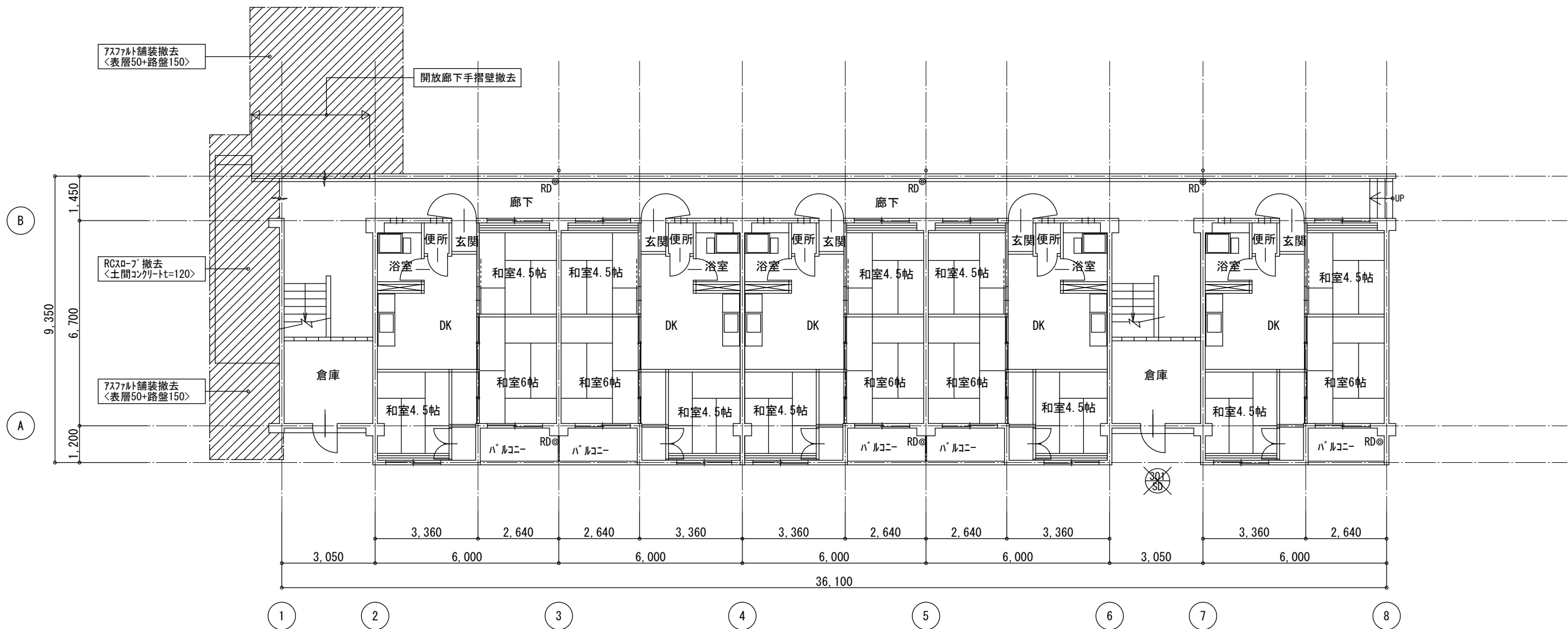
増築後配置図 1/200
※敷地内及び周辺のレベル表示は設計GL (H=3.00) からのレベルとする。

敷地断面図 1/200



面積表						床面積				既存面積	増築面積	建築面積		既存面積	増築面積		
記号	計算式	計	記号	計算式	計	1F床面積	既存部	A 〜 E + 1 〜 4	292. 3510	292. 35㎡		既存面積	A + B + C + D + E 1 + 2 + 3 + 4 + 5 + 6	296. 4210	296. 42㎡		
A	36. 100 × 6. 700	241. 8700	1	32. 180 × 0. 450	14. 4810		増築部	F + G	17. 2864		17. 29㎡						
B	6. 720 × 1. 200	8. 0640	2	5. 280 × 1. 200	6. 3360	2F床面積	既存部	A 〜 E + 1 〜 4	292. 3510	292. 35㎡		増築面積	F + G	17. 2864		17. 29㎡	
C	3. 360 × 1. 200	4. 0320	3	5. 280 × 1. 200	6. 3360		増築部	F + G	17. 2864		17. 29㎡	合計建築面積			313. 71㎡		
D	3. 360 × 1. 200	4. 0320	4	2. 640 × 1. 200	3. 1680	3F床面積	既存部	A 〜 E + 1 〜 4	292. 3510	292. 35㎡							
E	3. 360 × 1. 200	4. 0320	5	3. 050 × 1. 200	3. 6600		増築部	F + G	17. 2864		17. 29㎡						
F	2. 920 × 3. 420	9. 9864	6	2. 050 × 0. 200	0. 4100	4F床面積	既存部	A 〜 E + 1 〜 4	292. 3510	292. 35㎡							
G	2. 920 × 2. 500	7. 3000					増築部	F + G	17. 2864		17. 29㎡						
						延床面積				1, 169. 40㎡	69. 16㎡						
						合計延床面積				1, 238. 56㎡							
	設計に緑を																
記事				株式会社 車田建築設計事務所		管理建築士		構造設計者		設計年月日		工事名		A 2版	100%	図面No	
				KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.		1級建築士 登録 第369073号 車田 寛		1級建築士 登録 第248850号		2021. 6.		旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)		A 3版	71%		
				1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号				構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也				図面名 3号棟 面積求積図、算出表		縮尺	1/100		

凡 例 （改修前平面図）			
	撤去部分を示す。		撤去建具を示す。〈枠残置〉
室名	工事対象室を示す。	RD	バルコニーレイ及び 壁樋50φ撤去を示す。
（ 室名 ）	工事対象外室を示す。		
項目	工事対象項目を示す。		
（ 項目 ）	工事対象外項目を示す。		
	仕上区分線を示す。		



<改修前>

1階平面図 1/100



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士

1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者

1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第 4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面名

3号棟
改修前 1階平面図

A 2版 100%

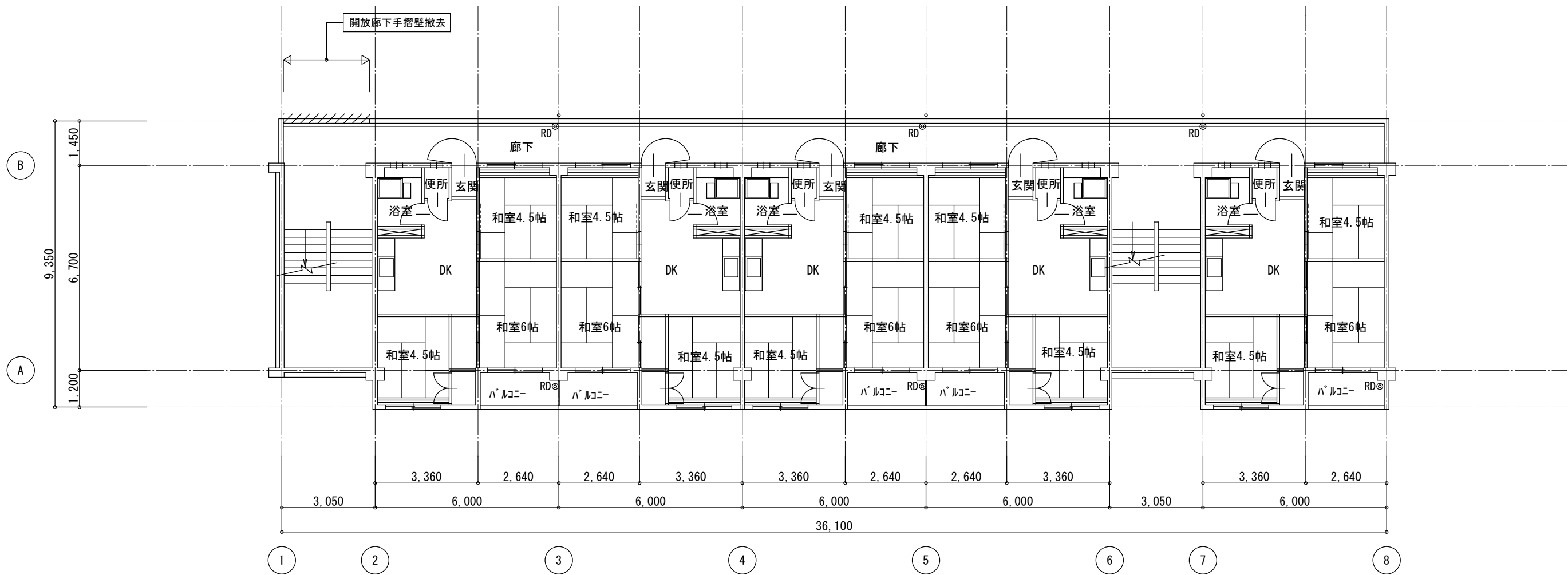
A 3版 71%

縮 尺 1/100

図面No

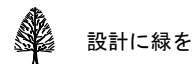
A-15

凡 例 （改修前平面図）			
	撤去部分を示す。		撤去建具を示す。〈枠残置〉
室名	工事対象室を示す。	RD	バルコニーレイ及び 壁樋50φ撤去を示す。
（ 室名 ）	工事対象外室を示す。		
項目	工事対象項目を示す。		
（ 項目 ）	工事対象外項目を示す。		
	仕上区分線を示す。		

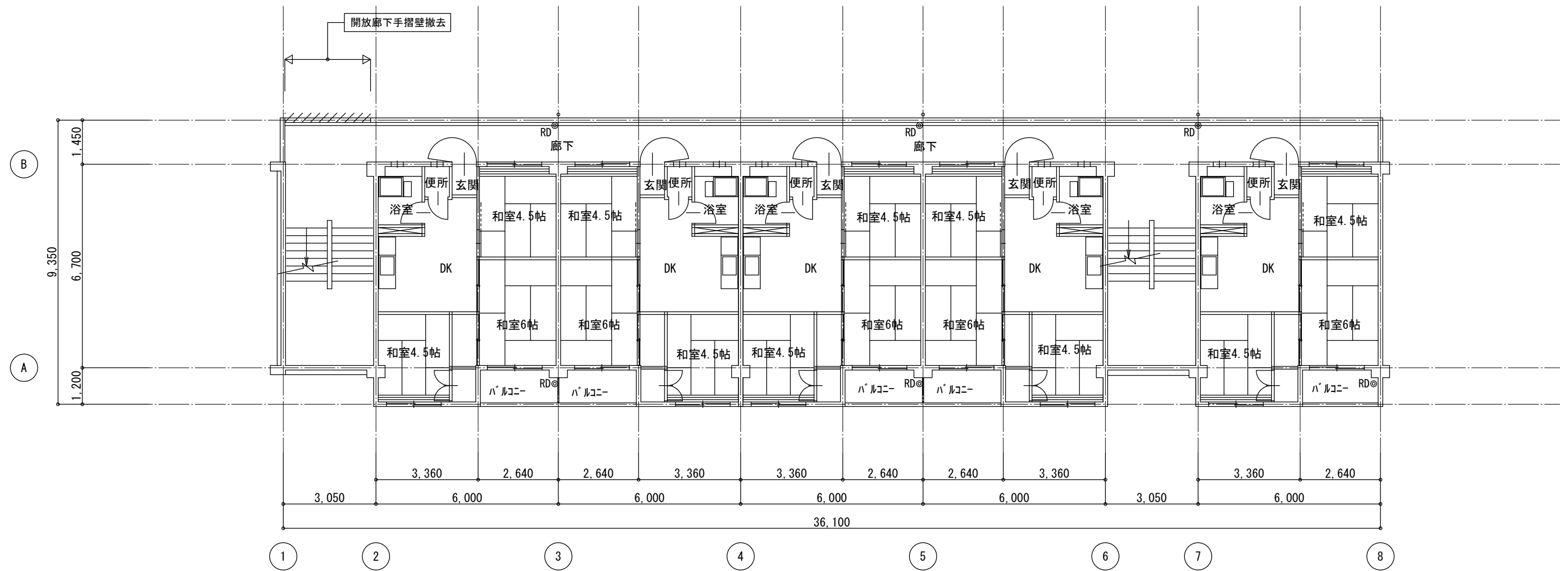


<改修前>

2階平面図 1/100



凡 例 (改修前平面図)			
	撤去部分を示す。		撤去建具を示す。〈枠残置〉
室名	工事対象室を示す。	RD	バルコニー・レイン及び 縦樋50φ撤去を示す。
(室名)	工事対象外室を示す。		
項目	工事対象項目を示す。		
(項目)	工事対象外項目を示す。		
	仕上区分線を示す。		



＜改修前＞

3階平面図 1/100



設計に緑を



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士

1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者

1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第 4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名	
-----	--

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面名	3号棟 改修前 3階平面図
-----	------------------

A 2 版	100%
-------	------

A 2 版	100%
A 3 版	71%

縮 尺 1/100

圖面 No.

A -17

1.450
6.700
1.200

9.350

開放廊下手摺壁撤去

RD
廊下

和室4.5帖
和室4.5帖
和室6帖
和室6帖
和室4.5帖
和室4.5帖
ハルコニー RD@

浴室
便所
玄関
DK

3.360
2.640
2.640
3.360
3.360
2.640
2.640
3.360

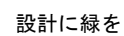
6.000
6.000
6.000
6.000
6.000
3.050
6.000

36,100

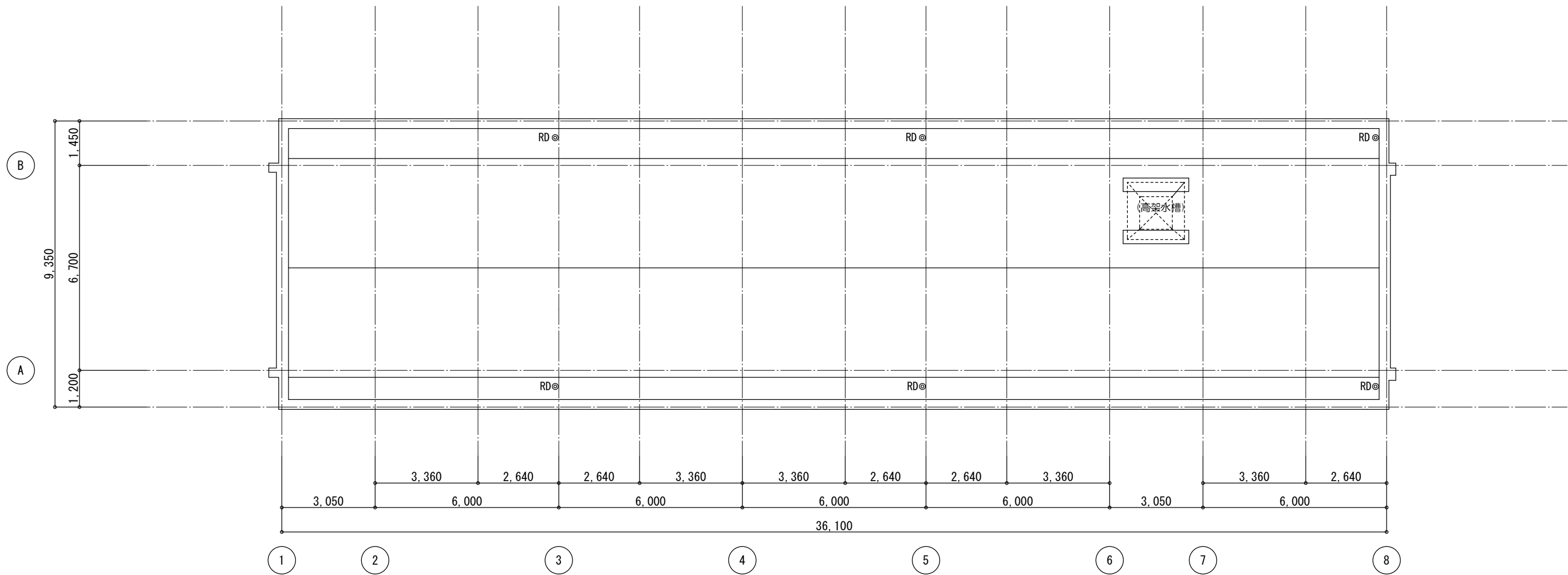
1 2 3 4 5 6 7 8

A B

4階平面図 1/100



凡 例 （改修前平面図）			
	撤去部分を示す。		撤去建具を示す。〈粹残置〉
	工事対象室を示す。	RD	ルーフ・レイン撤去を示す。
（ 室 名 ）	工事対象外室を示す。		
	工事対象項目を示す。		
（ 項 目 ）	工事対象外項目を示す。		
	仕上区分線を示す。		



<改修前>

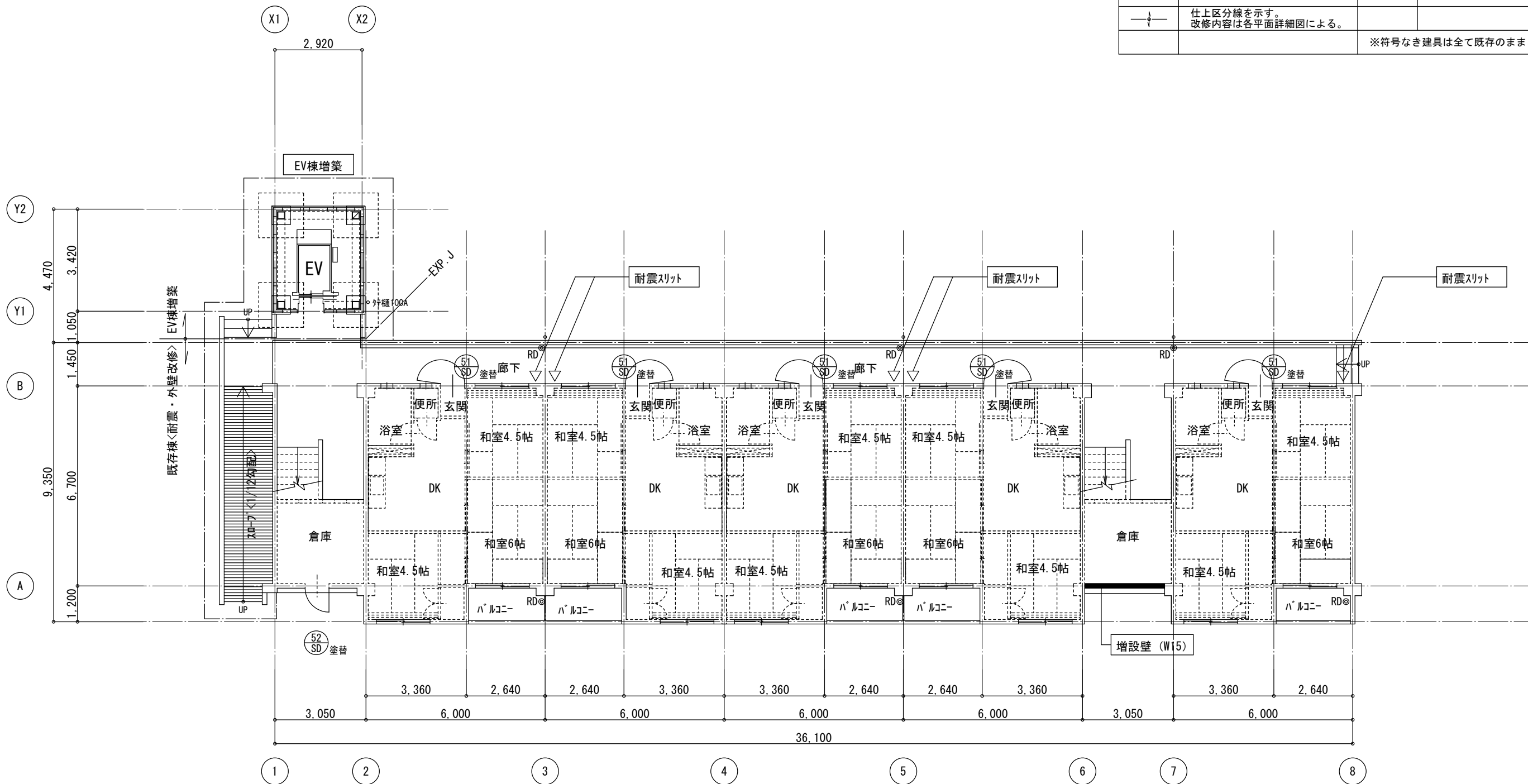
4階平面図 1/100



設計に緑を

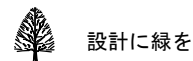
記事		 株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	構造設計者 1級建築士 登録 第248850号 構造1級建築士 登録 第 4097号 浜口 修也	設計年月日	工事名	A 2版 100% A 3版 71% 縮 尺 1/100	図面No A-19
					2021. 6.	旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)		
						図面名 3号棟 改修前 屋根伏図		

凡 例 （改修後平面図）			
実線表示	工事部分を示す。		新設建具を示す。
破線表示	既存のまま又は別途工事を示す。		改修建具を示す。
	工事対象室を示す。	RD	ハルコニートレイン及び 堅樋VP75φ新設を示す。
（ 室名 ）	工事対象外室を示す。		
	工事対象項目を示す。		
（ 項目 ）	工事対象外項目を示す。		
	仕上区分線を示す。 改修内容は各平面詳細図による。		
			※符号なき建具は全て既存のままとする。

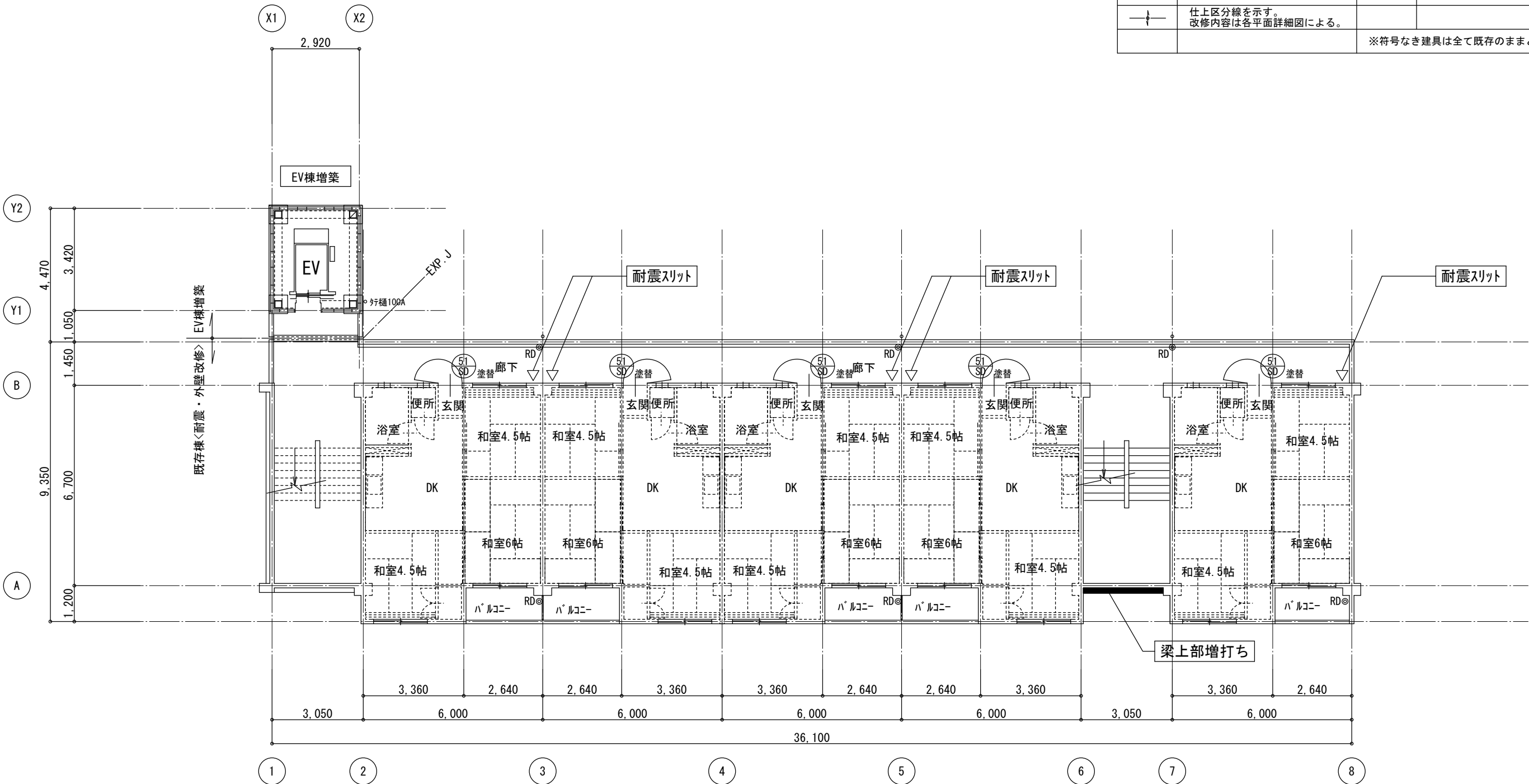


<改修後>

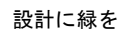
1階平面図 1/100



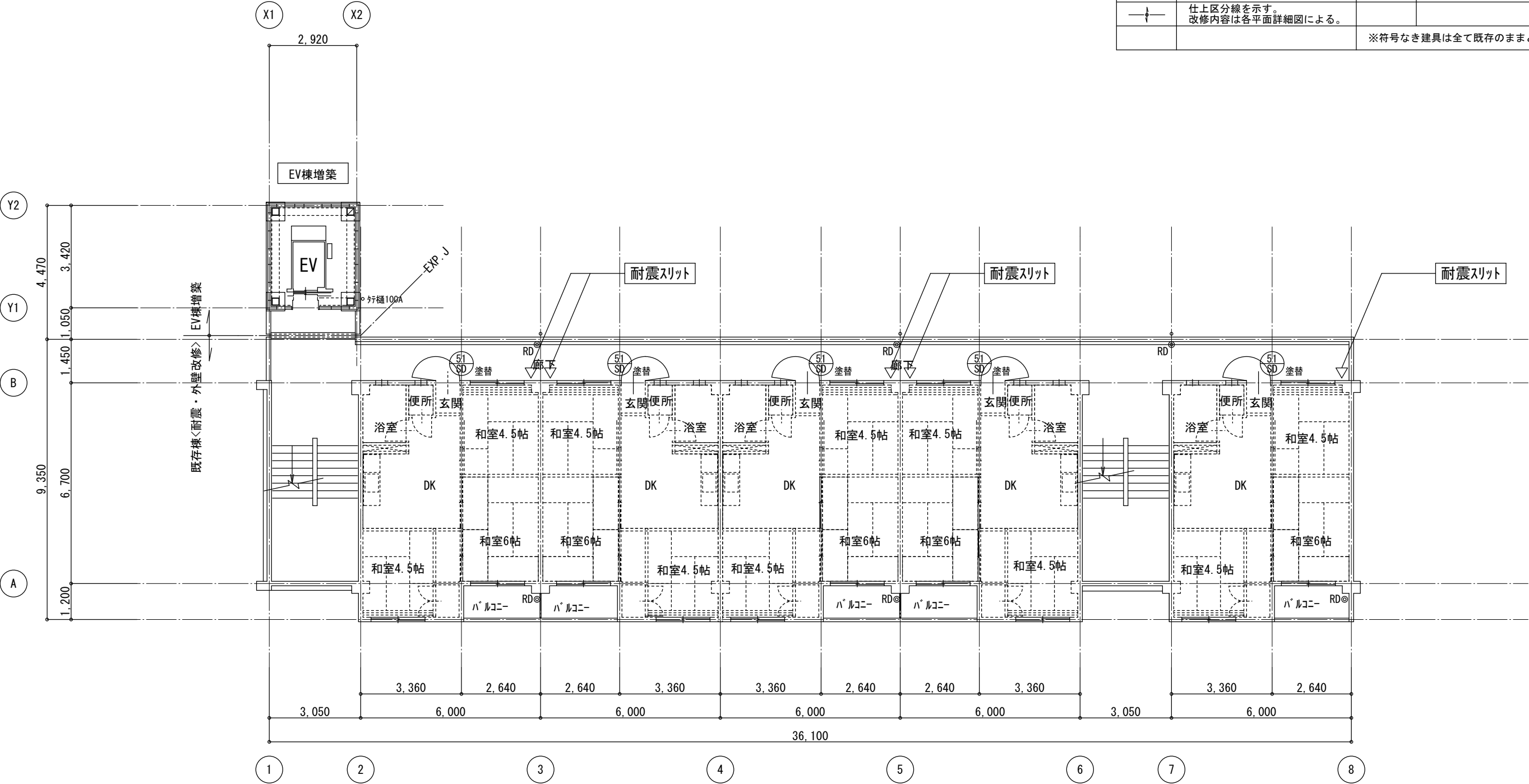
凡 例 (改修後平面図)			
実線表示	工事部分を示す。		新設建具を示す。
破線表示	既存のまま又は別途工事を示す。		改修建具を示す。
室名	工事対象室を示す。	RD	バルコニーレイ及び 縦樋VP75φ新設を示す。
(室名)	工事対象外室を示す。		
項目	工事対象項目を示す。		
(項目)	工事対象外項目を示す。		
	仕上区分線を示す。 改修内容は各平面詳細図による。		
			※符号なき建具は全て既存のままとする。



2階平面図 1/100



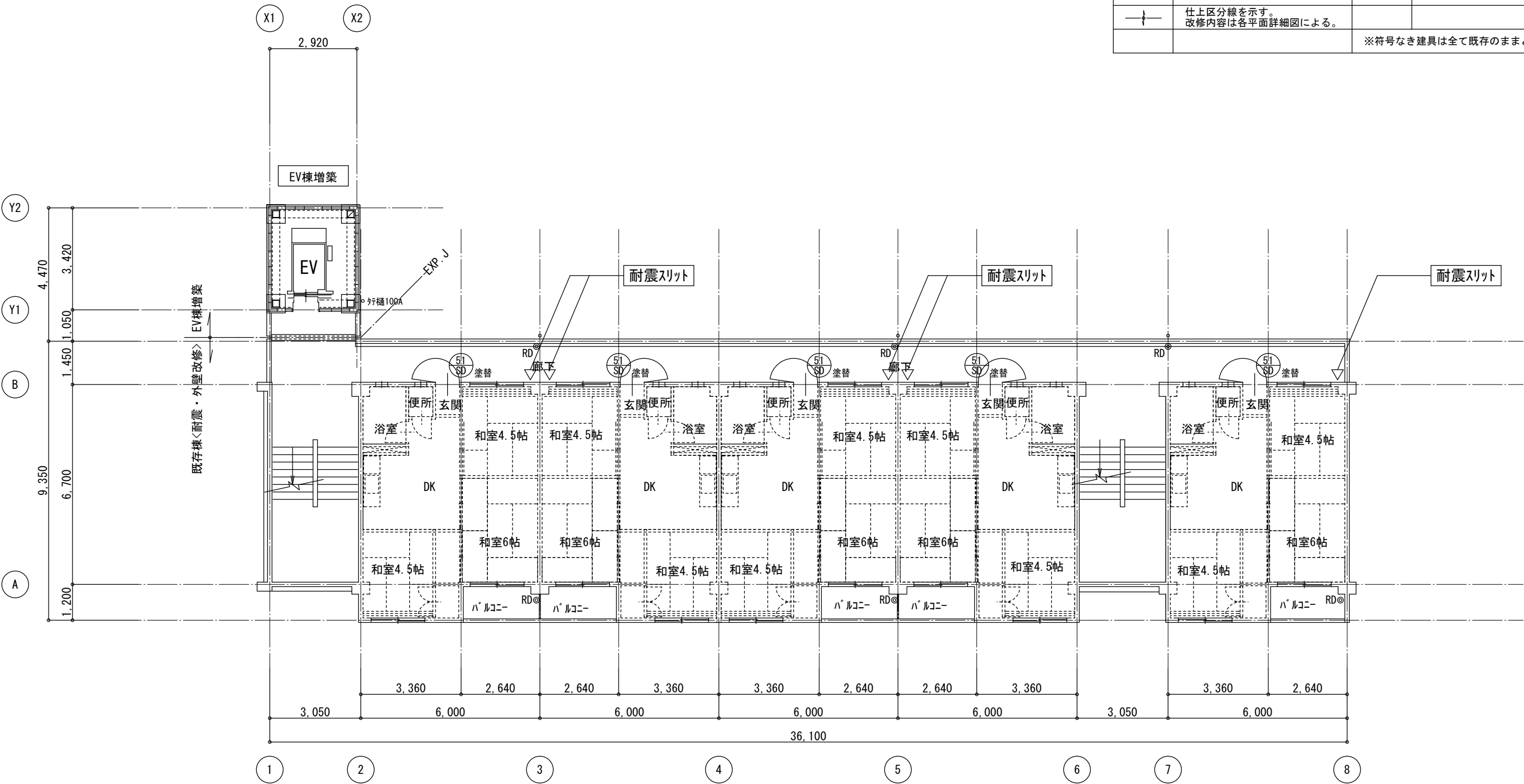
凡 例 （改修後平面図）			
実線表示	工事部分を示す。	① AW	新設建具を示す。
破線表示	既存のまま又は別途工事を示す。	①② AW改	改修建具を示す。
室名	工事対象室を示す。	RD	バルコニーレイン及び 堅樋VP75φ新設を示す。
（ 室名 ）	工事対象外室を示す。		
項目	工事対象項目を示す。		
（ 項目 ）	工事対象外項目を示す。		
↑	仕上区分線を示す。 改修内容は各平面詳細図による。		
			※符号なき建具は全て既存のままとする。



<改修後>

3階平面図 1/100

凡 例 （改修後平面図）			
実線表示	工事部分を示す。	① AW	新設建具を示す。
破線表示	既存のまま又は別途工事を示す。	①② AW改	改修建具を示す。
室名	工事対象室を示す。	RD	バルコニーレイン及び 堅樋VP75φ新設を示す。
（ 室名 ）	工事対象外室を示す。		
項目	工事対象項目を示す。		
（ 項目 ）	工事対象外項目を示す。		
↑	仕上区分線を示す。 改修内容は各平面詳細図による。		
			※符号なき建具は全て既存のままとする。



<改修後>

4階平面図 1/100



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第 4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅 3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面名

3号棟
改修後 4階平面図

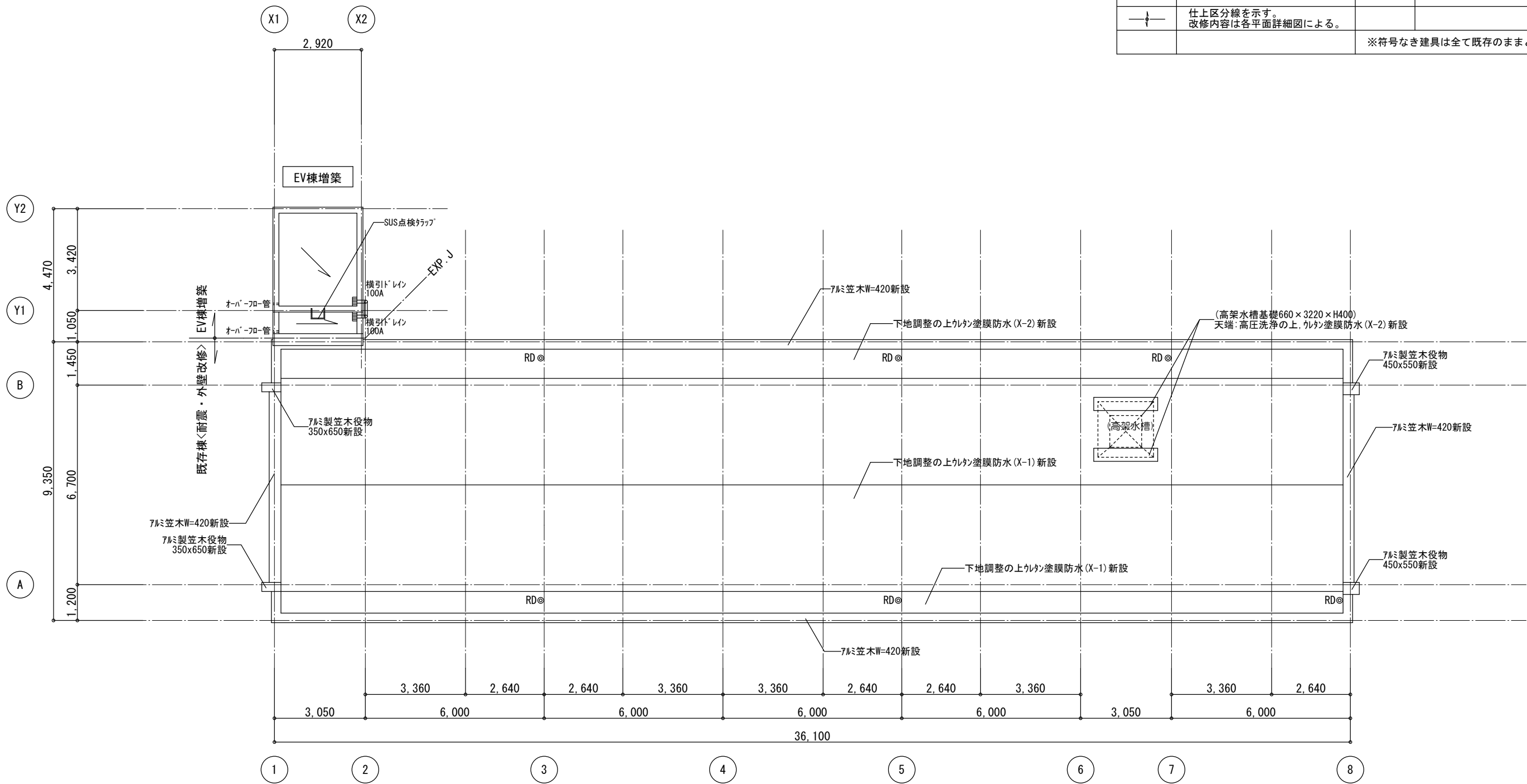
A 2版 100%
A 3版 71%

縮 尺
1/100

図面No

A-23

凡 例 （改修後平面図）			
実線表示	工事部分を示す。	$\textcircled{\frac{1}{AW}}$	新設建具を示す。
破線表示	既存のまま又は別途工事を示す。	$\textcircled{\frac{101}{AW改}}$	改修建具を示す。
[室名]	工事対象室を示す。	RD	改修用ルーフ・レイン新設を示す。
(室名)	工事対象外室を示す。		
[項目]	工事対象項目を示す。		
(項目)	工事対象外項目を示す。		
$\text{—} \updownarrow \text{—}$	仕上区分線を示す。 改修内容は各平面詳細図による。		
		※符号なき建具は全て既存のままとする。	



<改修後>

4階平面図 1/100

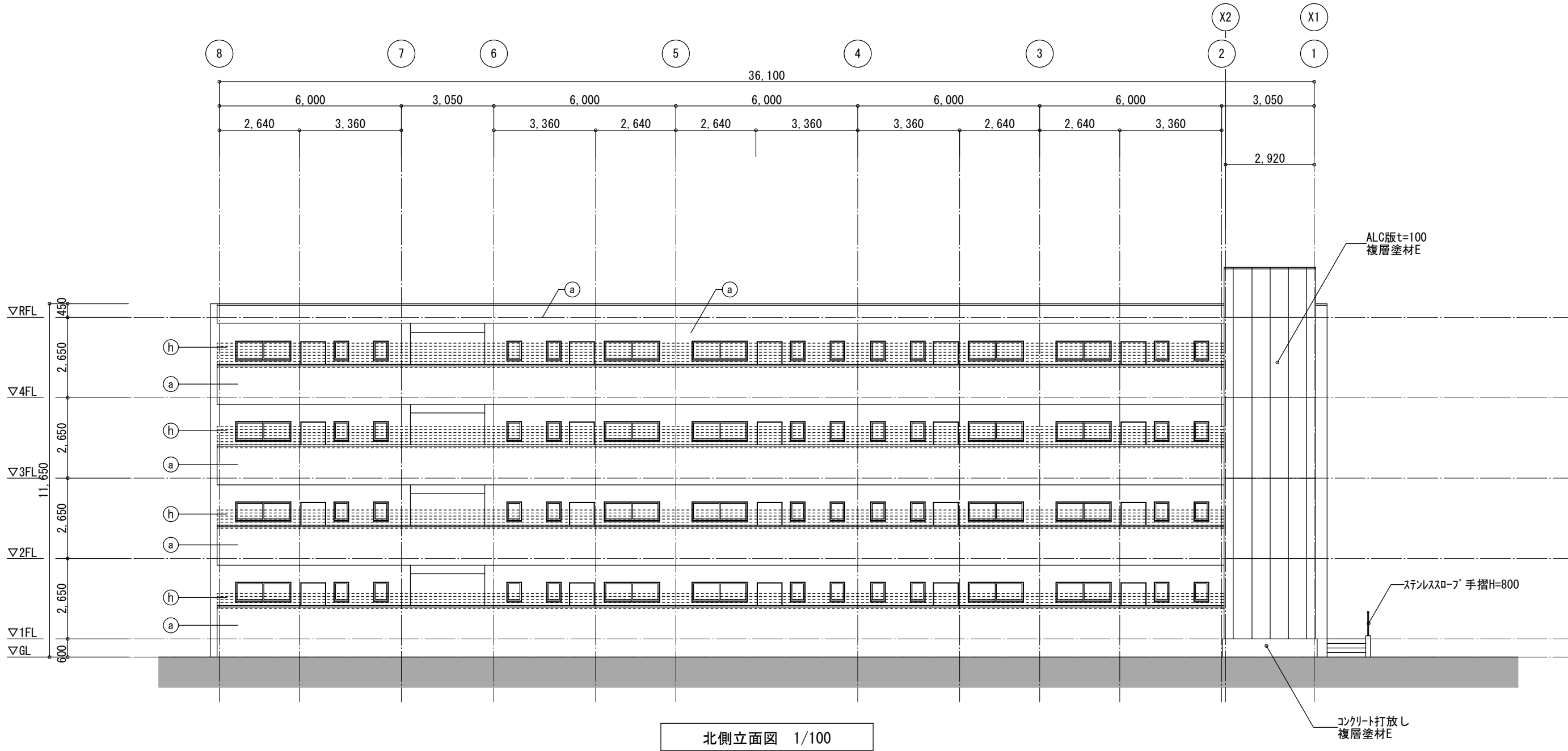


設計に緑を

記事		 株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	構造設計者 1級建築士 登録 第248850号 構造1級建築士 登録 第 4097号 浜口 修也	設計年月日 2021. 6.	工事名 旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)	A 2版 100% A 3版 71%	図面No A-24
						図面名 3号棟 改修後 屋根伏図	縮尺 1/100	

改修後立面図<既存部改修凡例>

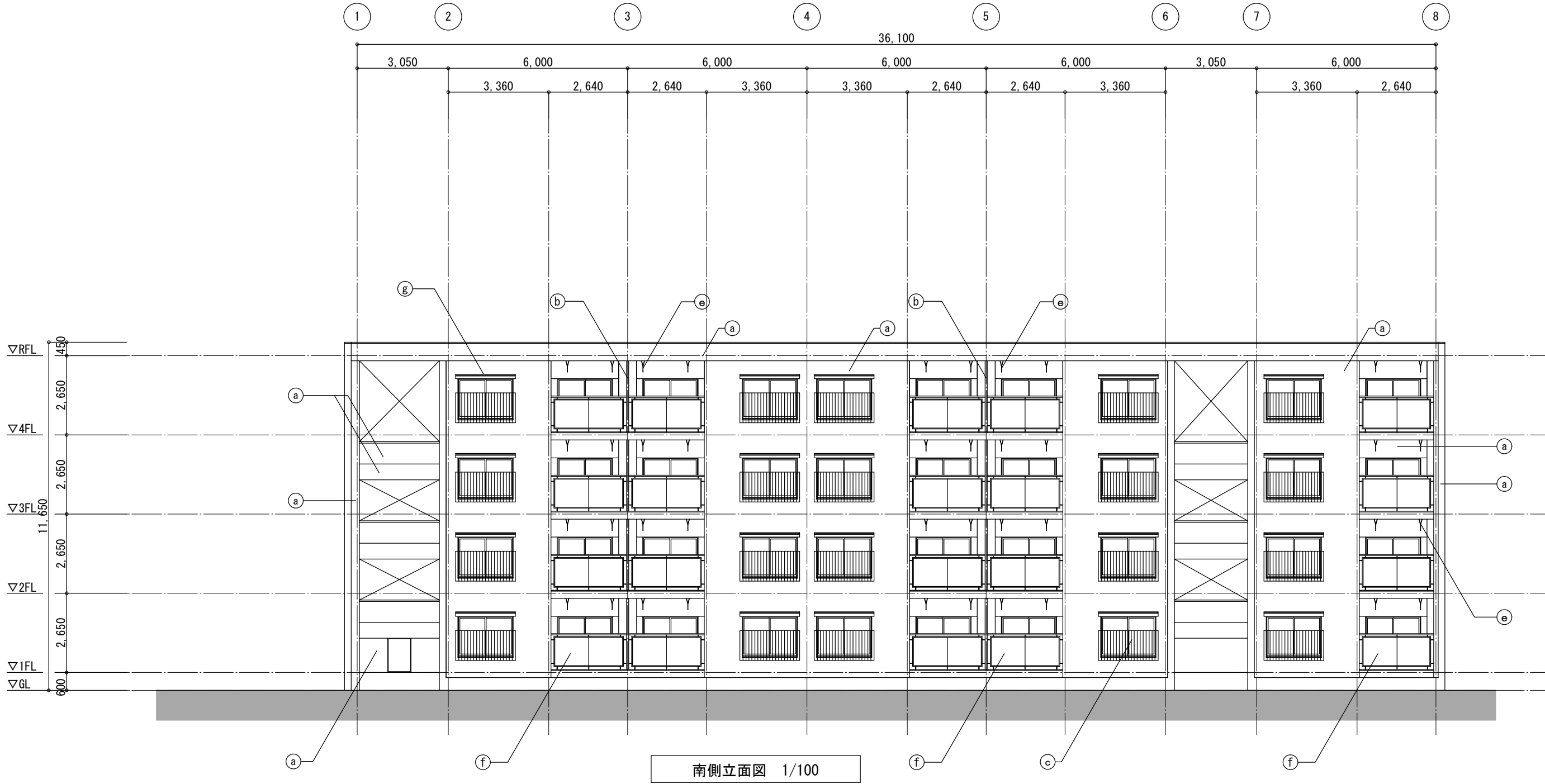
(a)	高圧洗浄の上、防水型複層塗材E吹付 下地材リマセメントモルタル塗り共
(b)	(鋼製バルコニー隔) 清掃の上DP塗装 下地調整共 (RB種)
(c)	(窓格子FB-38x6枠4方) 錆止め塗装の上DP塗装 下地調整共 (RB種)
(d)	硬質塩化ビニル管75φ(カラー)、ステンレス梱金物共@1,200内外新設
(e)	スチール製物干し金物撤去のうえ、アルミ製物干し金物新設
(f)	(有孔スチールプレートt=6) 清掃の上DP塗装 下地調整共 (RB種)
(g)	高圧洗浄の上、塗膜防水(X-2) 小口共
(h)	アルミ製目隠しルーバー撤去新設
(i)	



北側立面図 1/100

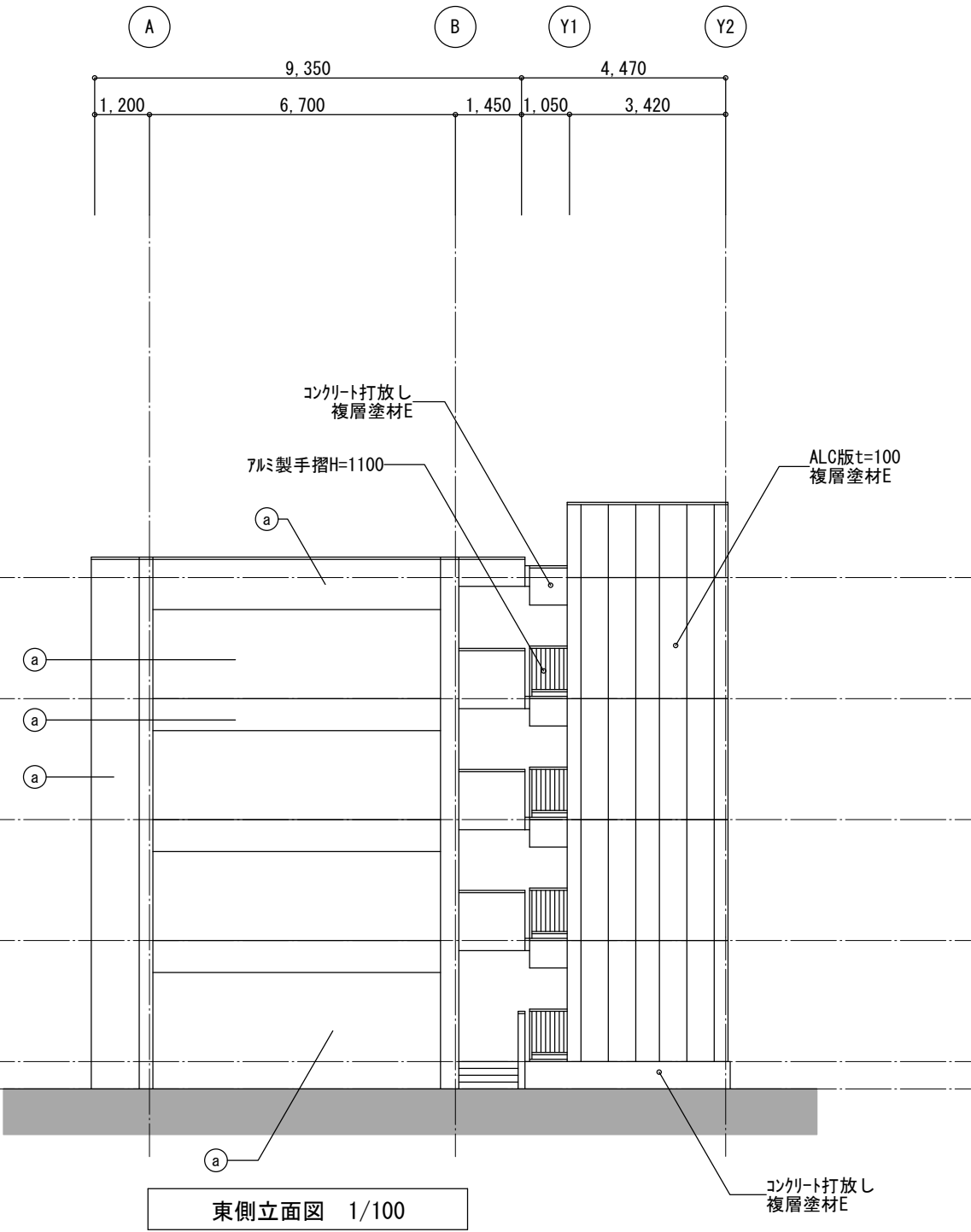
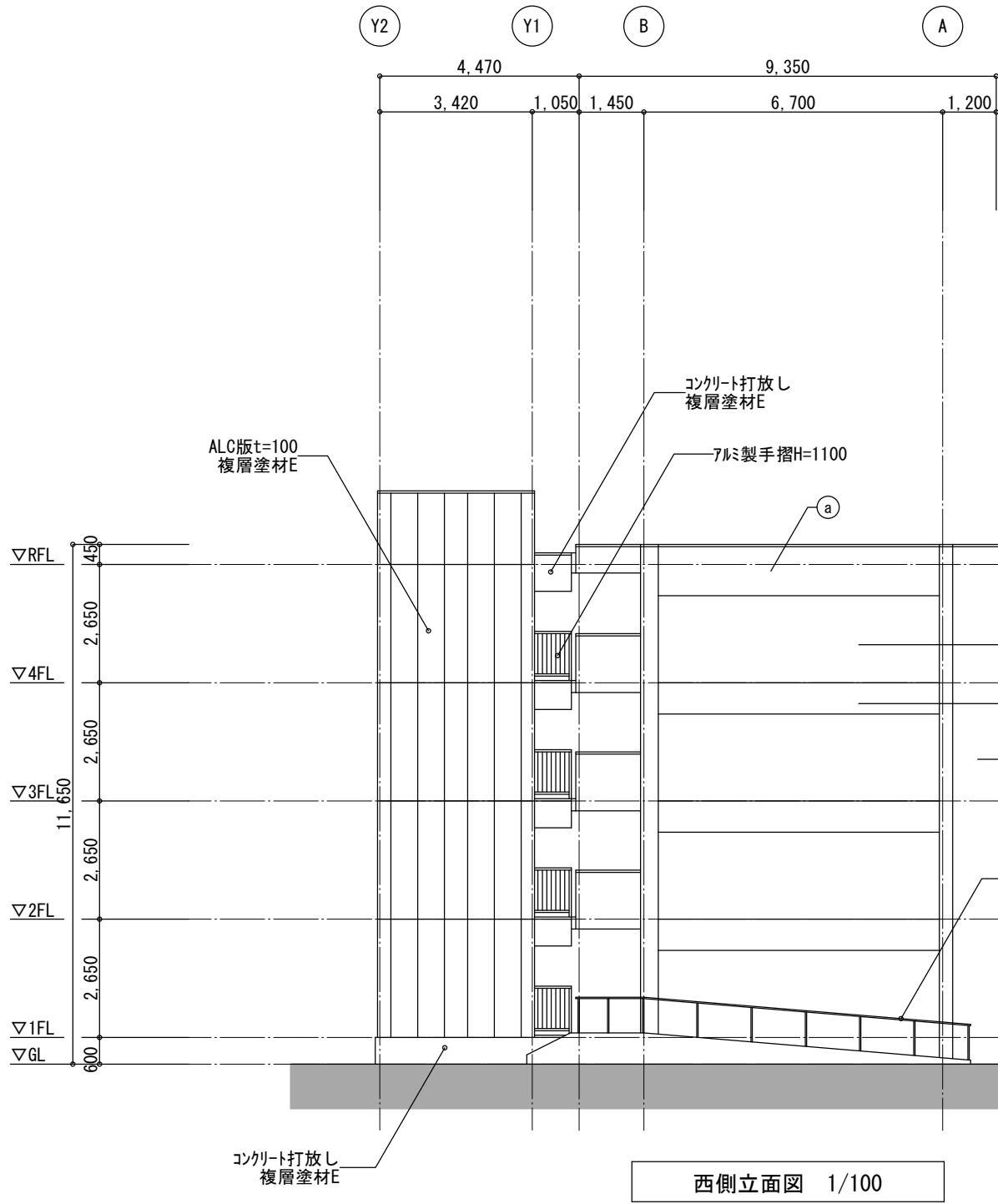
改修後立面図<既存部改修凡例>

(a)	高圧洗浄の上、防水型複層塗材E吹付 下地材リマーセメントモルタル塗り共
(b)	(鋼製バルコニー隔) 清掃の上DP塗装 下地調整共 (RB種)
(c)	(窓格子FB-38x6枠4方) 錆止め塗装の上DP塗装 下地調整共 (RB種)
(d)	硬質塩化ビニル管75φ (カラー)、ステンレス梱金物共@1,200内外新設
(e)	スチール製物干し金物撤去のうえ、アルミ製物干し金物新設
(f)	(有孔スチールプレートt=6) 清掃の上DP塗装 下地調整共 (RB種)
(g)	高圧洗浄の上、塗膜防水(X-2) 小口共
(h)	アルミ製目隠しルーバー撤去新設
(i)	



改修後立面図<既存部改修凡例>

(a)	高圧洗浄の上、防水型複層塗材E吹付 下地材 リマセメントモルタル塗り共
(b)	(鋼製バルコニー隔) 清掃の上DP塗装 下地調整共 (RB種)
(c)	(窓格子FB-38x6枠4方) 錆止め塗装の上DP塗装 下地調整共 (RB種)
(d)	硬質塩化ビニル管75φ (カラー)、ステンレス梱金物共@1,200内外新設
(e)	スチール製物干し金物撤去のうえ、アルミ製物干し金物新設
(f)	(有孔スチールプレートt=6) 清掃の上DP塗装 下地調整共 (RB種)
(g)	高圧洗浄の上、塗膜防水 (X-2) 小口共
(h)	アルミ製目隠しルーバー撤去新設
(i)	



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士

1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者

1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第 4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面名

3号棟
改修後 西側・東側立面図

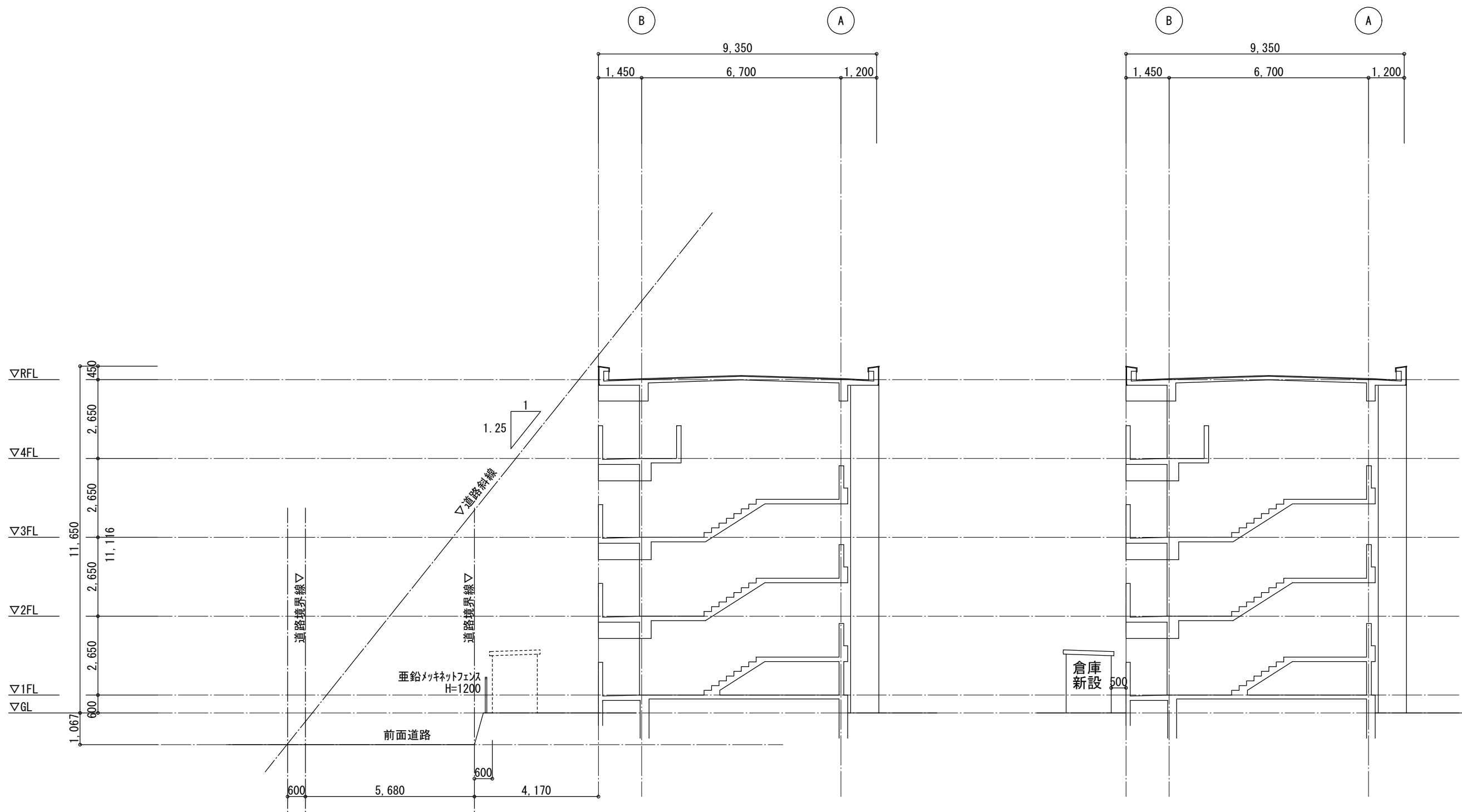
A 2版 100%

A 3版 71%

縮 尺 1/100

図面No

A-27



A断面図 1/100

断面図 1/100



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

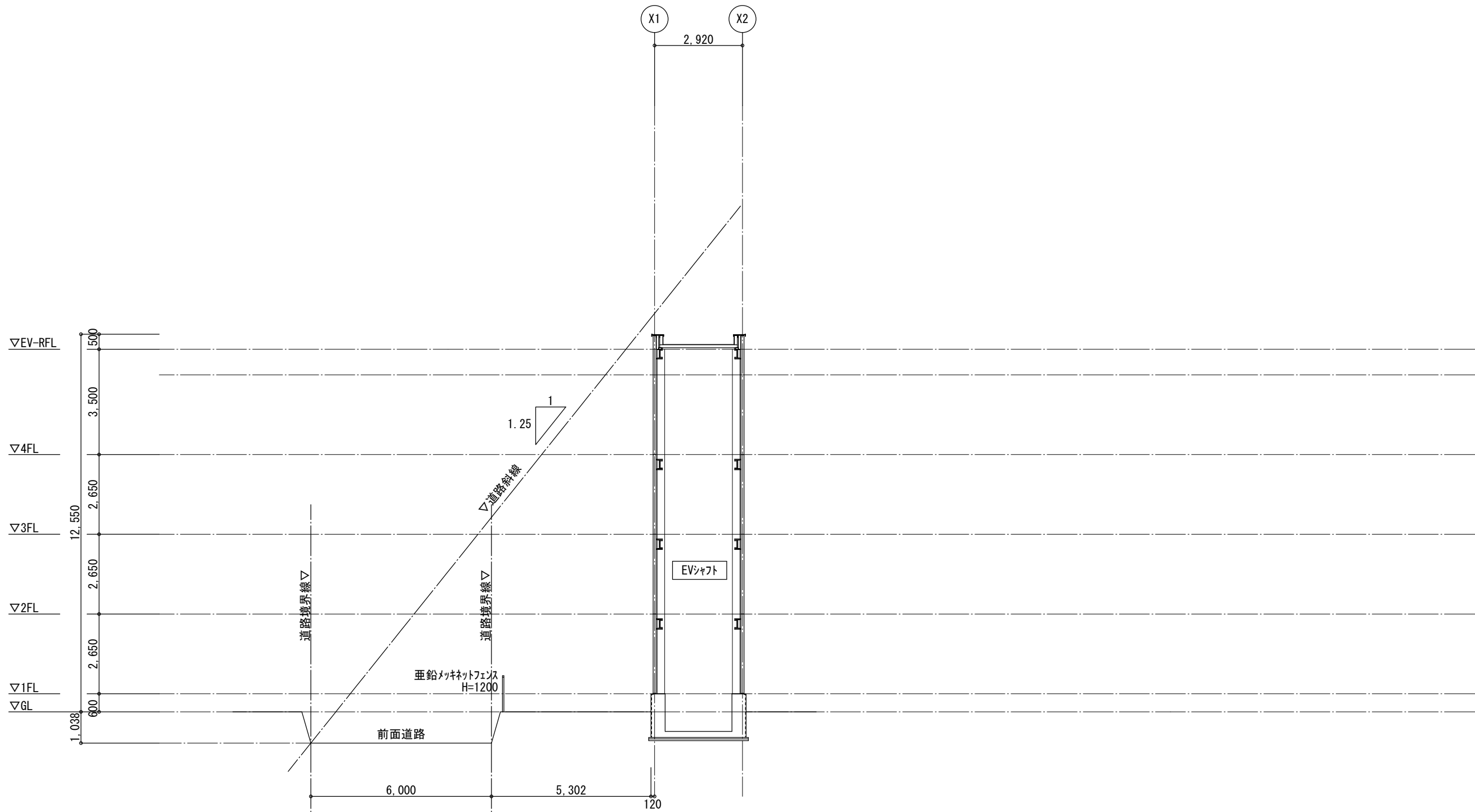
図面名

3号棟
改修後 断面図-1

A 2版 100%
A 3版 71%
縮尺 1/100

図面No

A-28



B断面図 1/100



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面名

3号棟
改修後 断面図-2

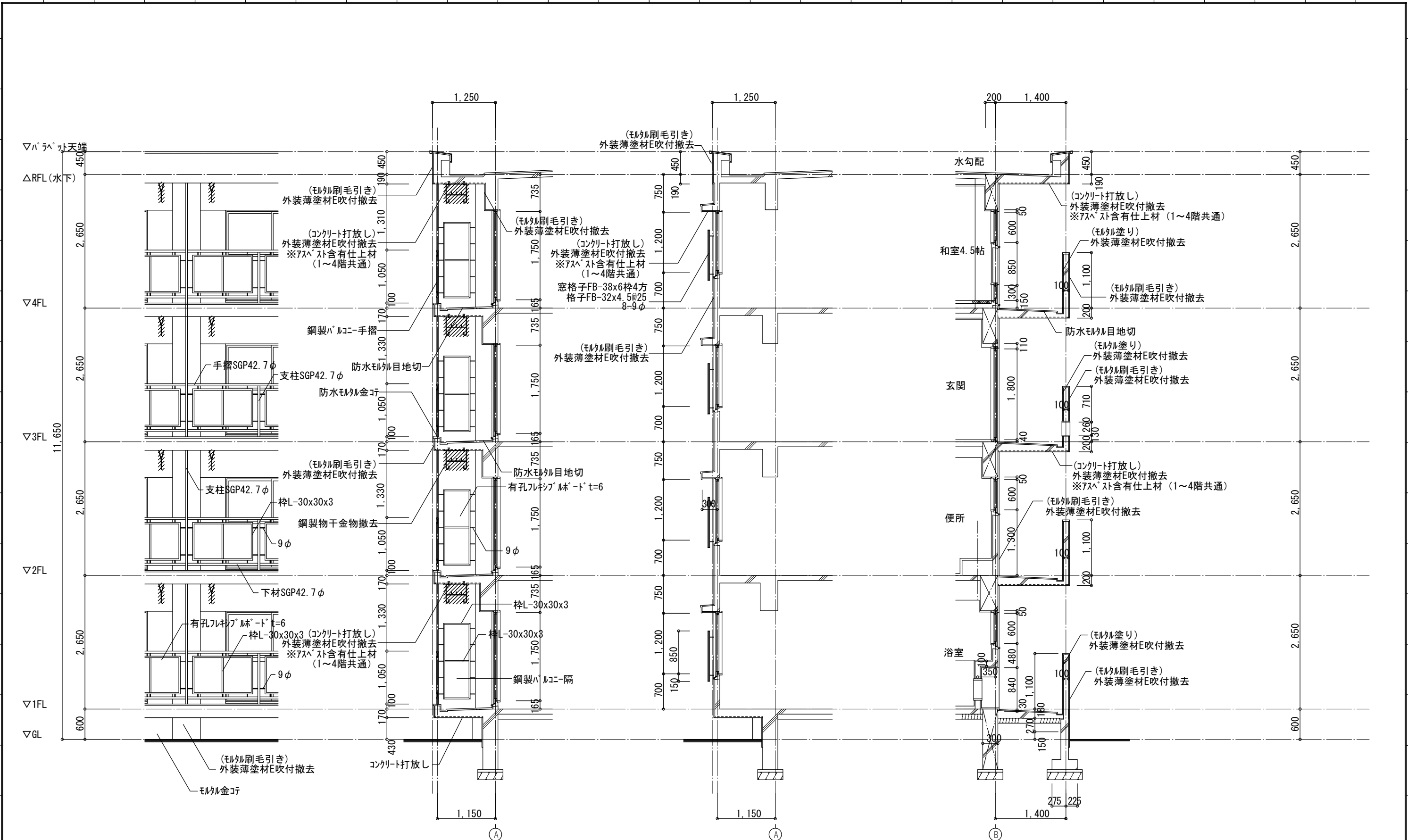
A2版 100%

A3版 71%

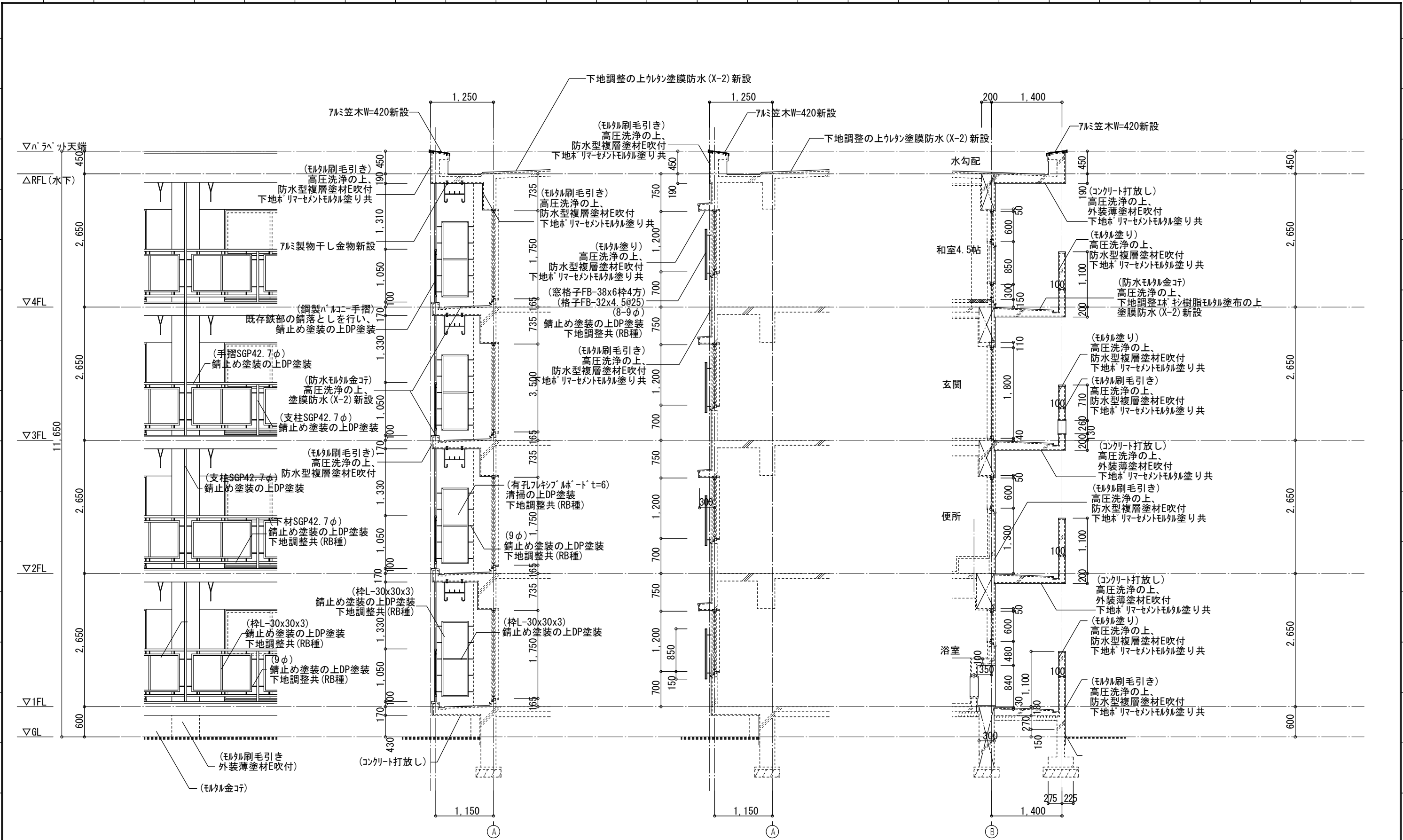
縮尺 1/100

図面No

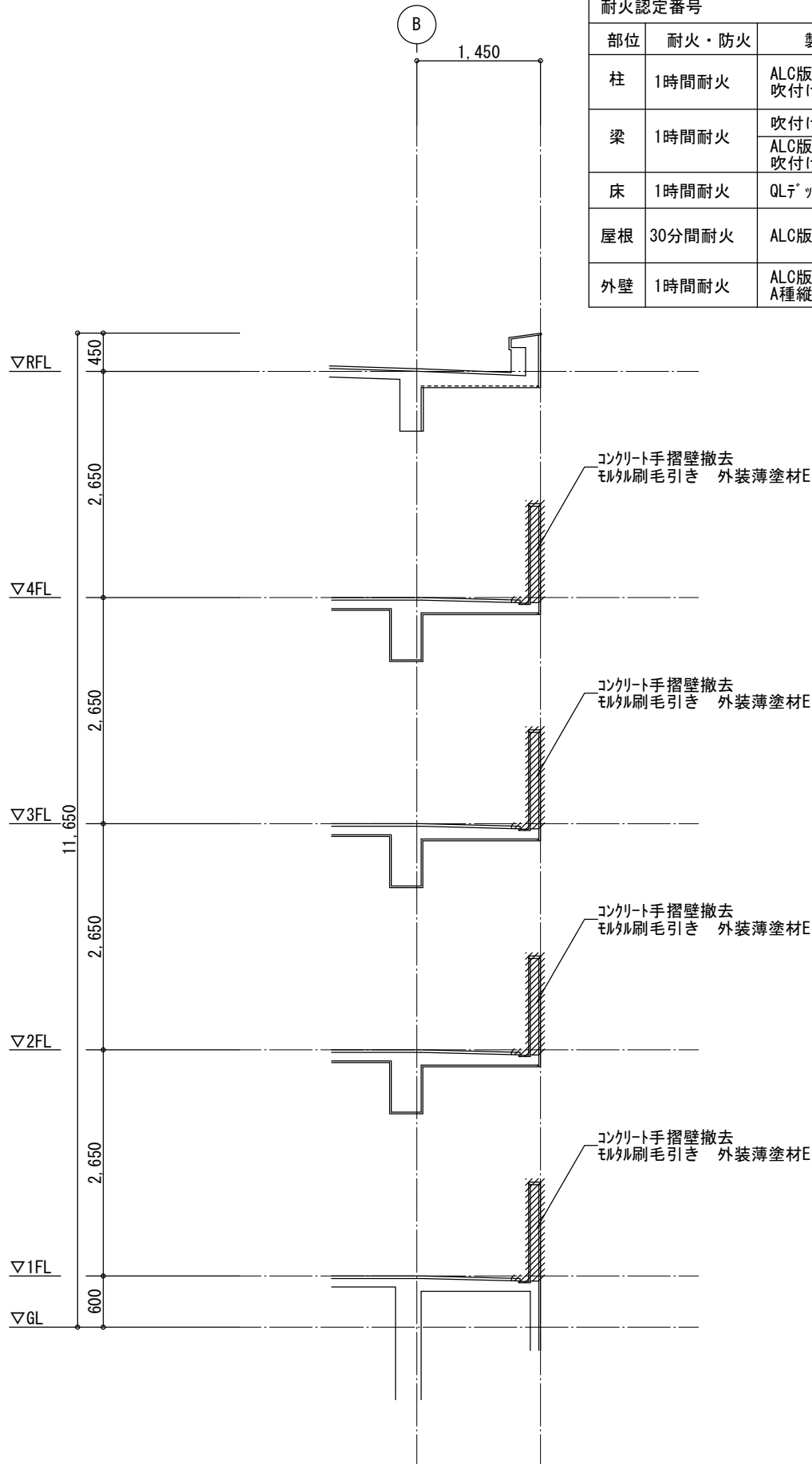
A-29



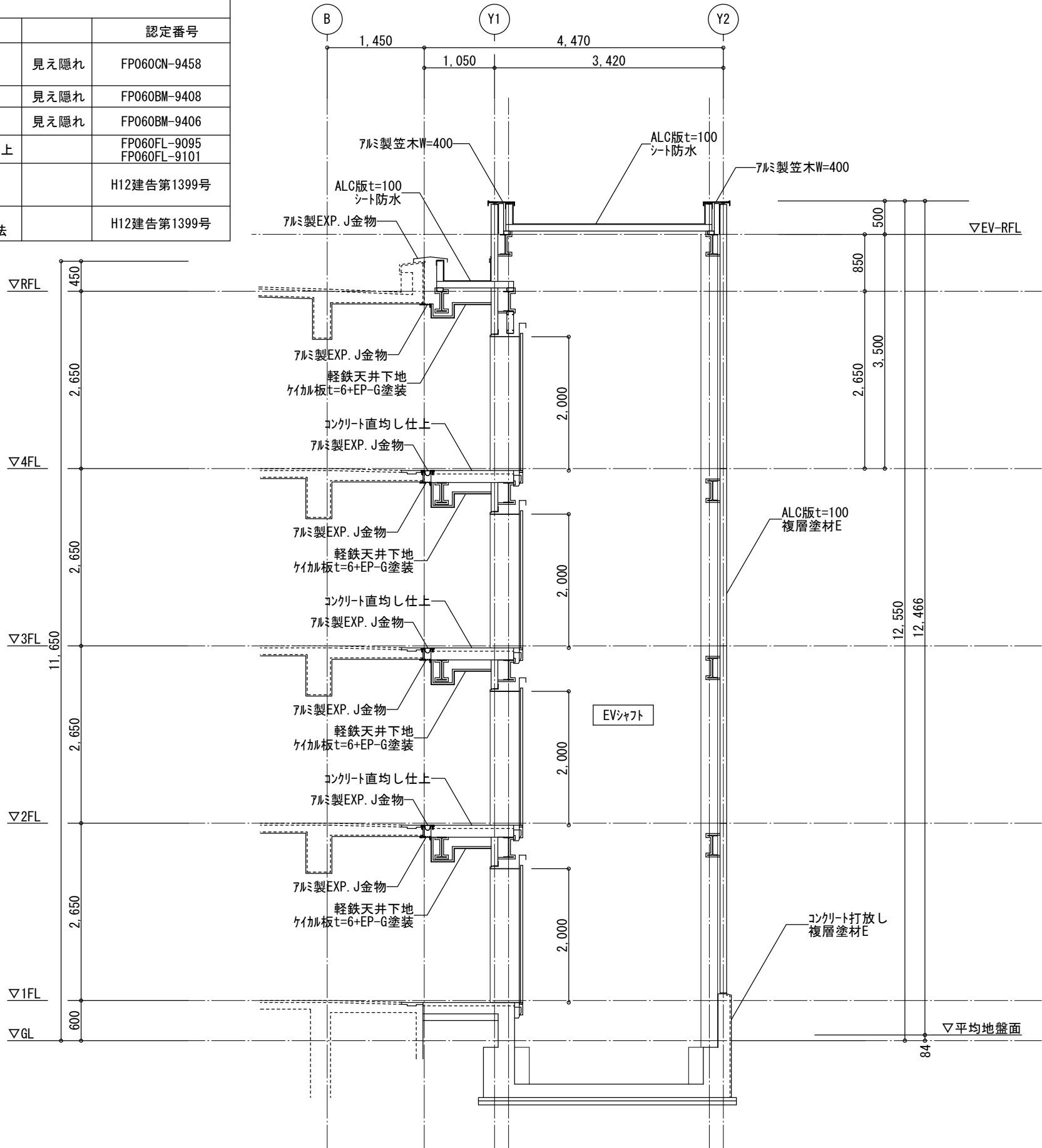
・アスベスト含有仕上塗材等（下地調整塗材は除く）の除去
除去対象範囲 ※各階開放廊下天井、各住戸バルコニー天井、階段室天井・上裏
除去工法 ・剥離剤併用手工具ケレン工法（隔離養生・負圧無し）
※アスベストは外壁（軒裏天井・階段上裏面のみ・一般外壁面は含有無し）仕上塗材（3層構成）のうち、
塗材（表面側主材）に含まれており、下地調整材には含まれていないことが分析調査により判明している。



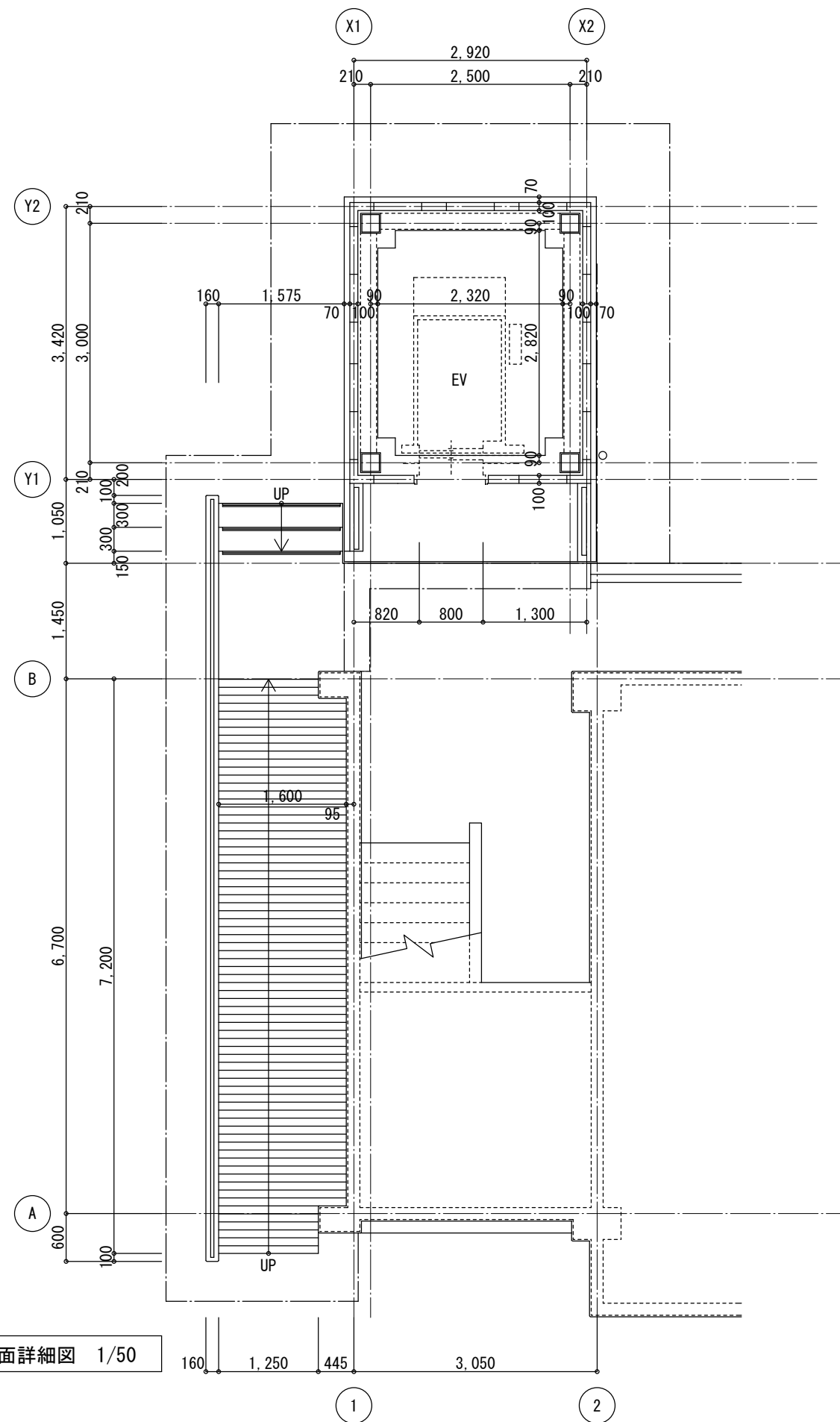
耐火認定番号				
部位	耐火・防火	製品又は工法		認定番号
柱	1時間耐火	ALC版t=100 吹付けロックウールt=25	見え隠れ	FP060CN-9458
梁	1時間耐火	吹付けロックウールt=25	見え隠れ	FP060BM-9408
		ALC版t=100 吹付けロックウールt=25	見え隠れ	FP060BM-9406
床	1時間耐火	QLデッキプレートt=1.2以上		FP060FL-9095 FP060FL-9101
屋根	30分間耐火	ALC版t=100		H12建告第1399号
外壁	1時間耐火	ALC版t=100 A種縦張りロックウール工法		H12建告第1399号



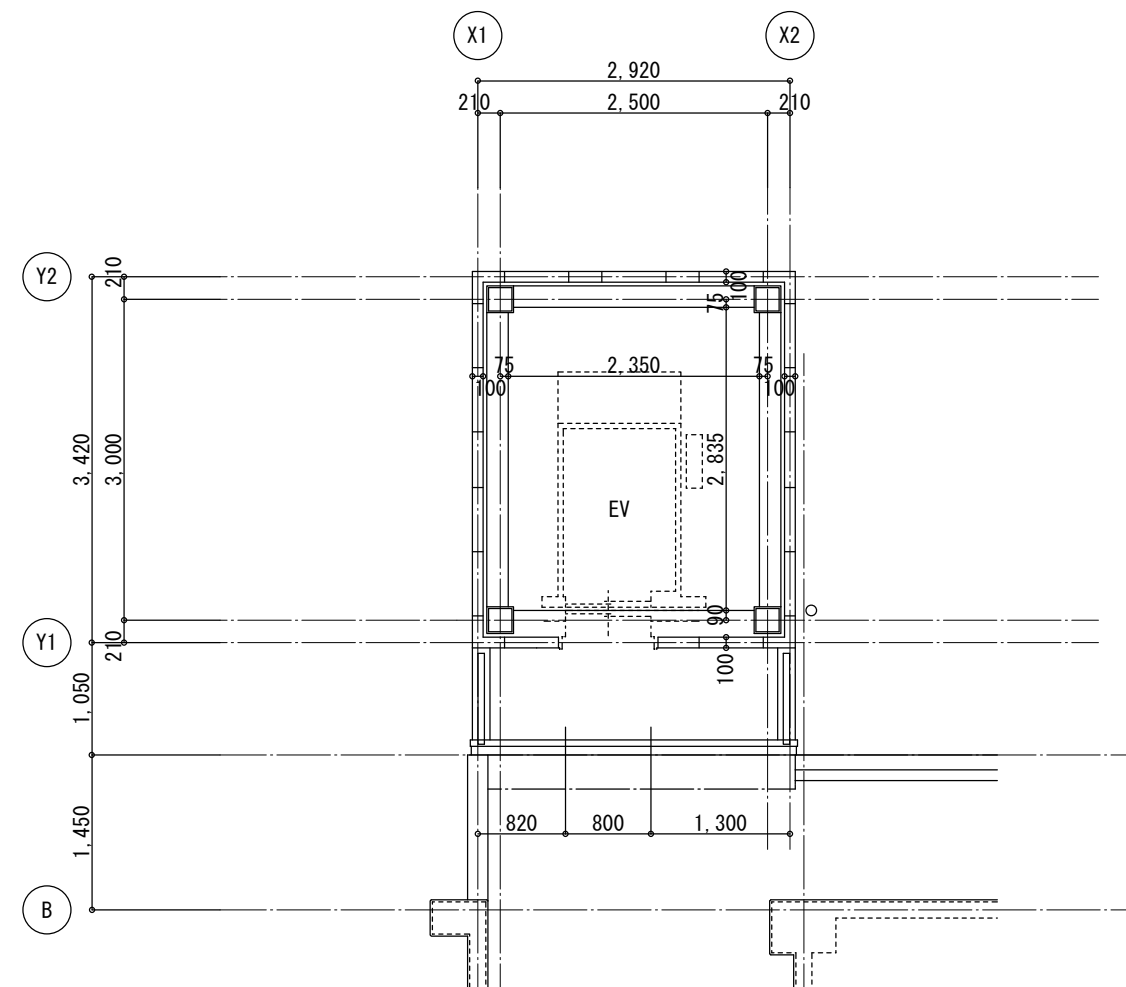
改修前 断面詳細図 1/50



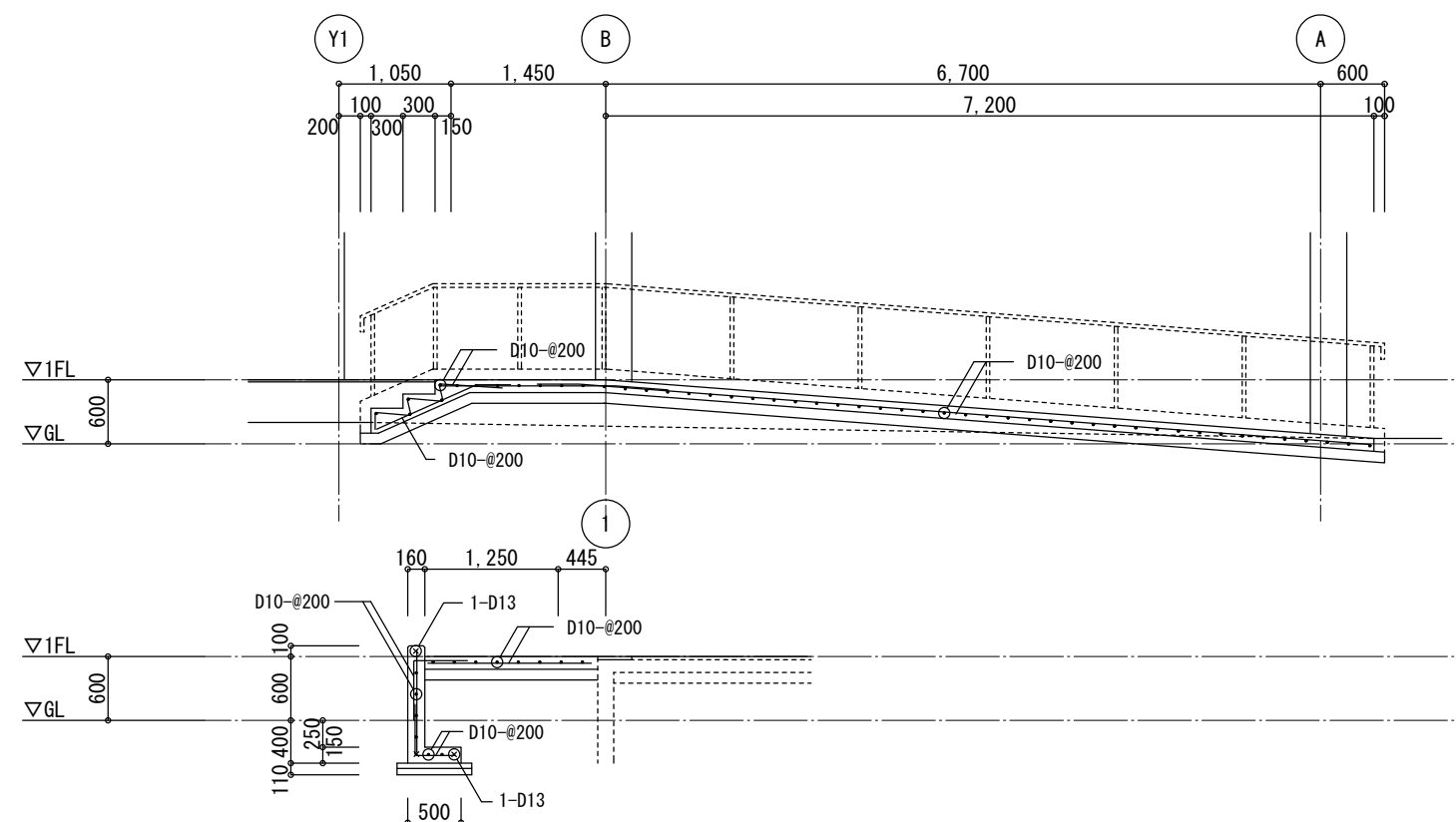
改修後 断面詳細図 1/50



1階平面詳細図 1/50



2-4階平面詳細図 1/50



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面名

3号棟
EV平面詳細図

A 2版 100%

A 3版 71%

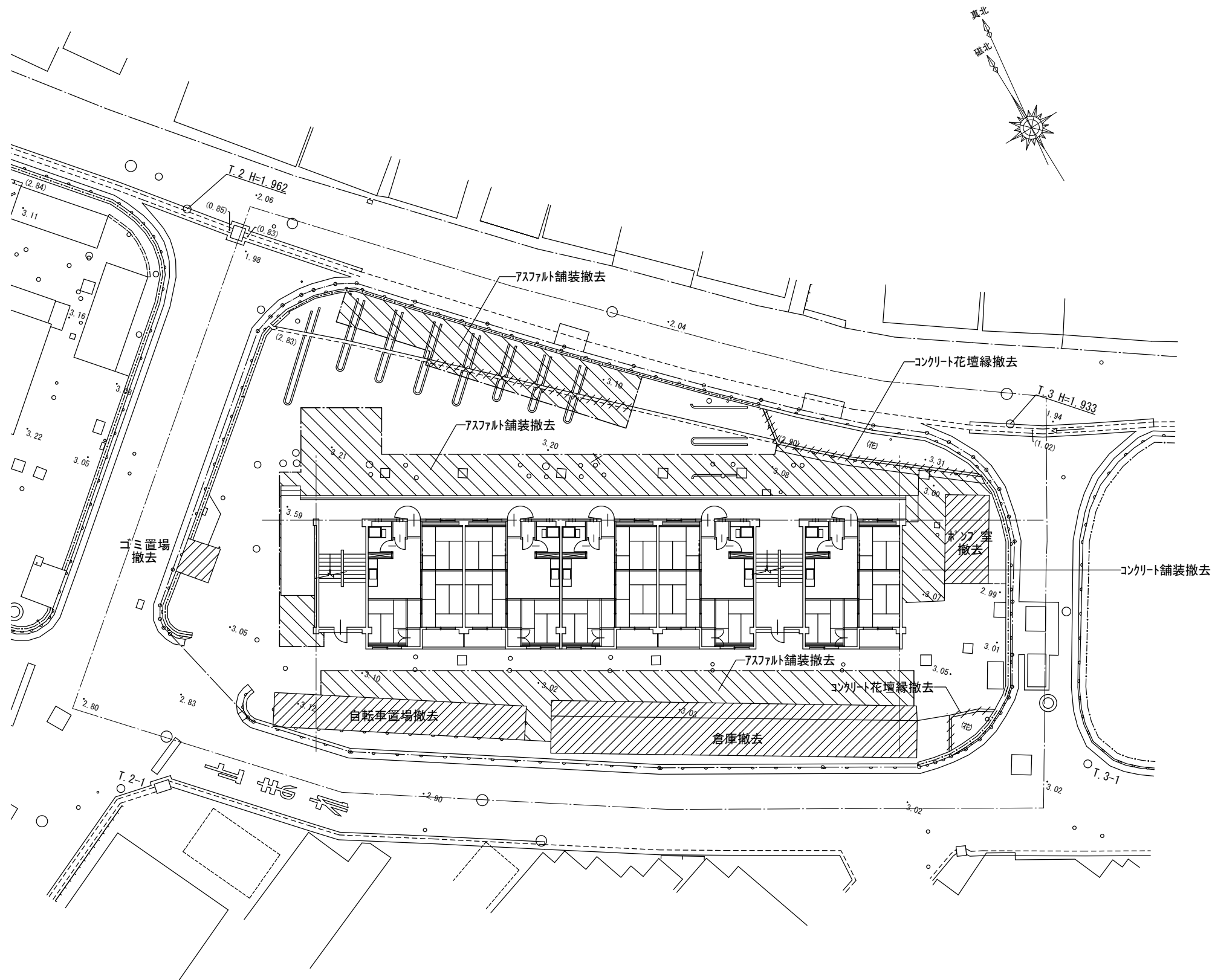
縮尺 1/50

図面No

A-34

記号	種別	51SD 塗装 鋼製片開き扉		52SD 塗装 鋼製片開き扉		301SD 鋼製片開き扉					
位置	箇所	玄関		倉庫		倉庫					
姿図		800		750		750					
		1,800		1,100		1,100					
改修内容		下地調整のうえDP塗装替(錆止め塗装の上)		下地調整のうえDP塗装替(錆止め塗装の上)							
硝子											
備考		塗装替建具【特定防火設備】		塗装替建具【特定防火設備】		撤去建具<桧共>					
記号	種別										
位置	箇所										
姿図											
改修内容											
硝子											
備考											
記号	種別										
位置	箇所										
姿図											
塗装	枠巾										
金物											
硝子											
備考											

バレーコート廻り詳細図		1/10	設備基礎詳細図		1/20	アスファルト舗装新設詳細図		1/20				
物干し金物 詳細図			1/10	ゴミステーション新設詳細図					1/30			
									株式会社 明記製作所 ゴミステーションと同等品とする。 床: ステンレス板 側: ステンレスエキスパンド 屋根: ステンレス板 床: ステンレスアングル			
記事			株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号		管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛		構造設計者 1級建築士 登録 第248850号 構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也		設計年月日 2021. 6.	工事名 旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)	A2版 100% A3版 71%	図面No A-36
			1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号							図面名 3号棟 部分詳細図-3	縮尺 1/10、1/20 1/30	



改修前 外構配置図 1/200

※敷地内既存舗装面の白線引きは全て除去とする。



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第 4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

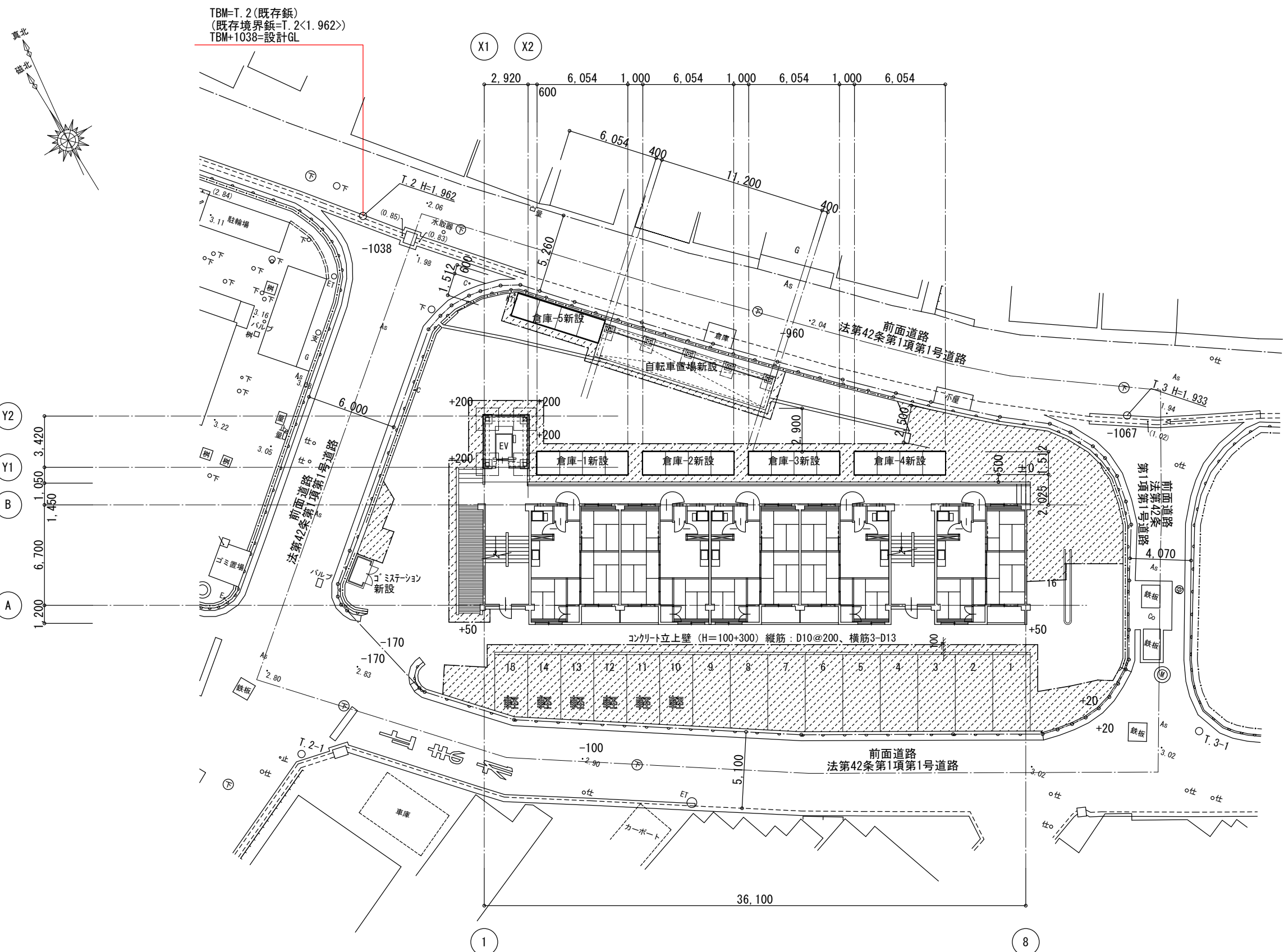
図面名

3号棟
改修前 外構配置図

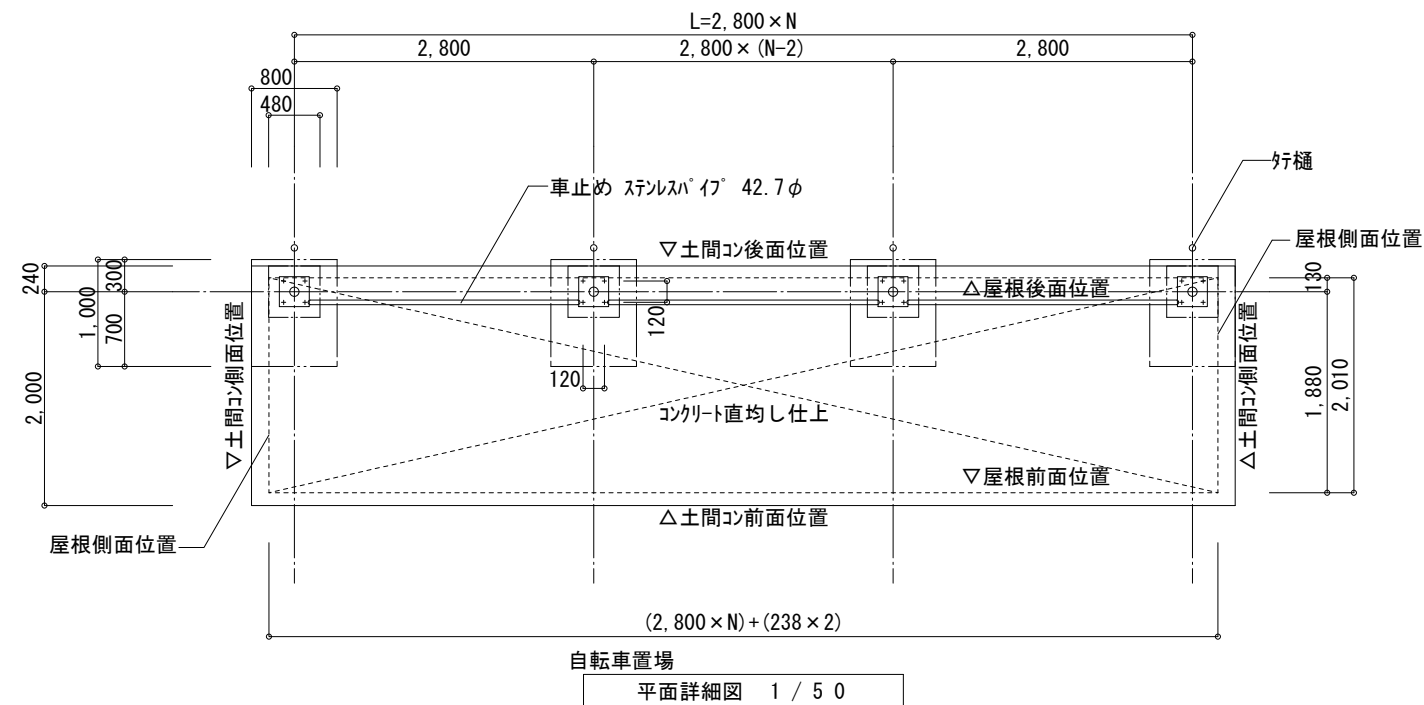
A2版 100%
A3版 71%
縮尺 1/200

図面No

A-37



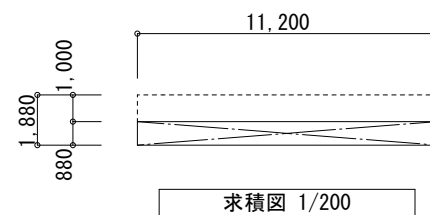
改修後 外構配置図 1/200
※敷地内及び周辺のレベル表示は設計GL (H=3.00) からのレベルとする。



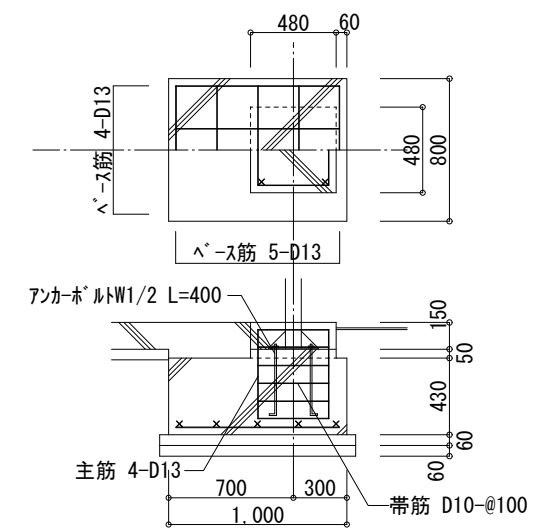
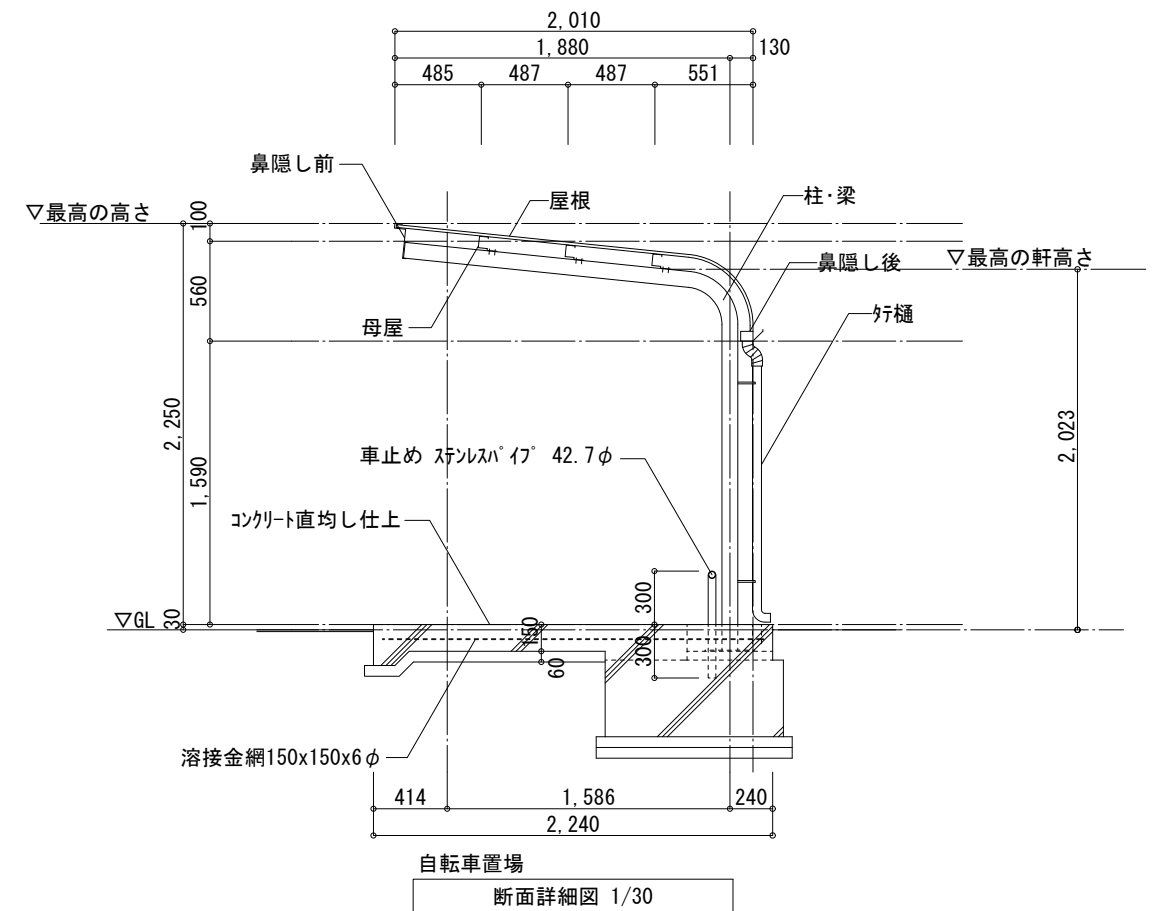
部材リスト		
部材名	形 状	材質・仕上
柱・梁	丸ハ°イ° 89.1x4.2	一般構造用亜鉛メッキ鋼管 ホ°リエステル系塗料 焼付塗装
母 屋	□ -65x33x1.6	塗装溶融亜鉛メッキ鋼板 ホ°リエステル塗料 2コートペーカ
鼻隠し	└ -81x65x1.2	
樋	└ -81x65x1.2	
屋 根	角波サテ°インク° 山高16 ㊦ 0.4	
谷 樋	└ -114x50	塩ビ°押出材
軒樋	42φ<背合わせタ°イ° 60φ>	塩ビ°押出材 1本/1スパン

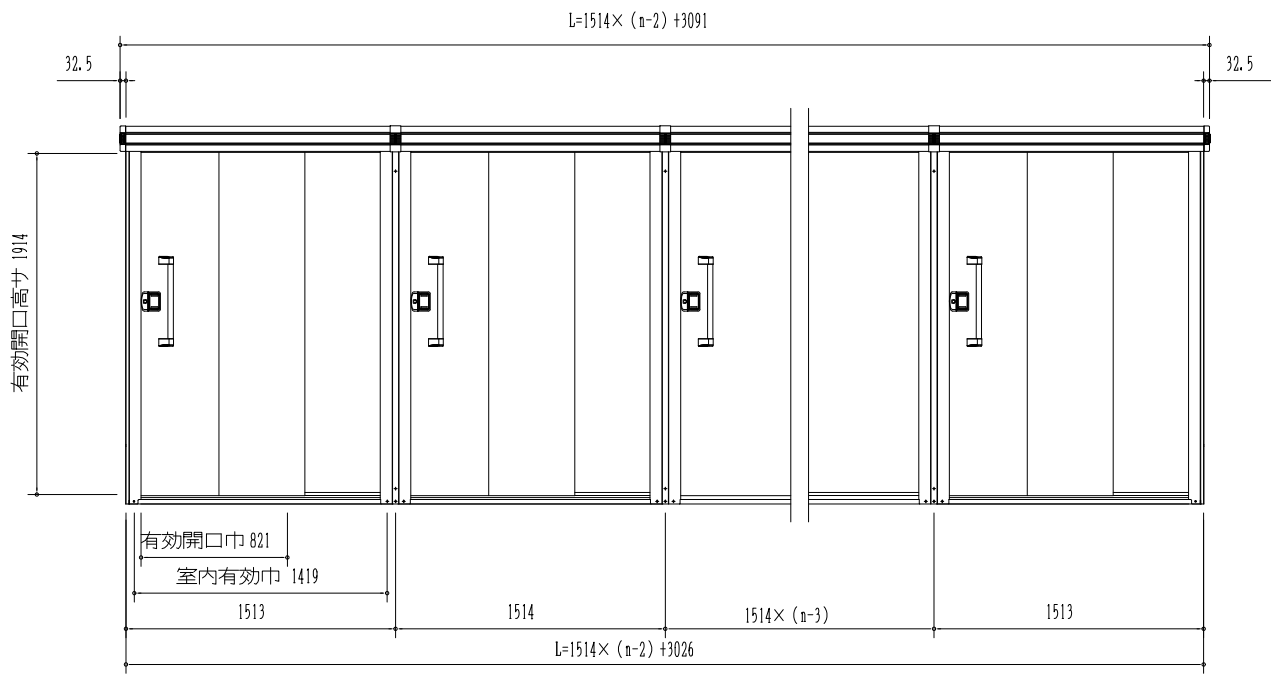
【特記事項】:設計図は参考図であり基礎の形状及び各部寸法並びに仕様は採用するメーカーの形式により適用する。

	連数 N	長さ L	数量
自転車置場	4	11,200	1

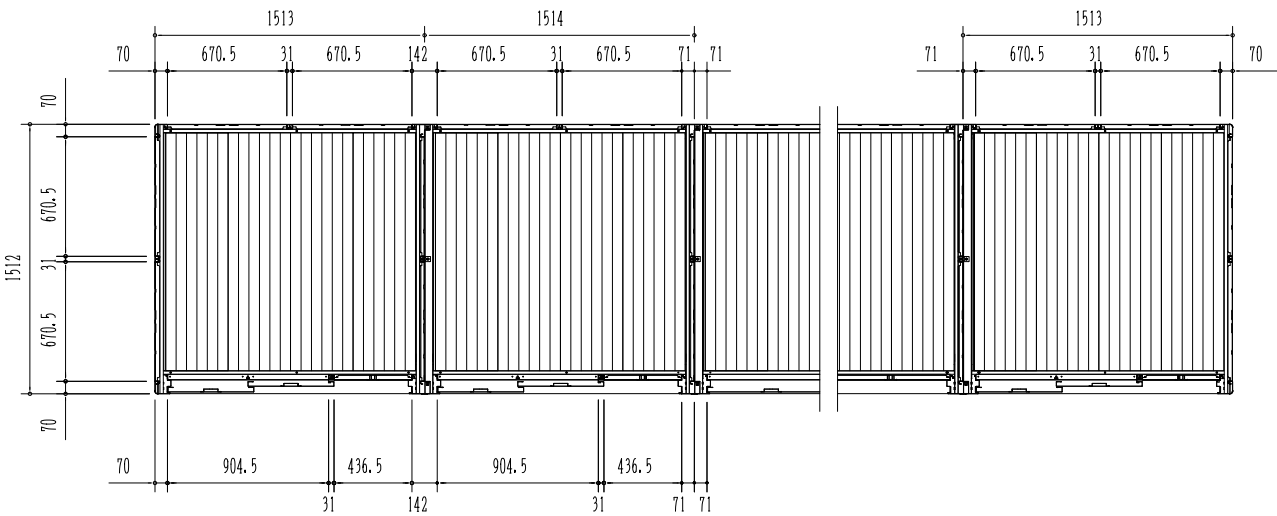


建築面積・床面積共 $11.20 \times 0.88 = 9.86 \text{m}^2$

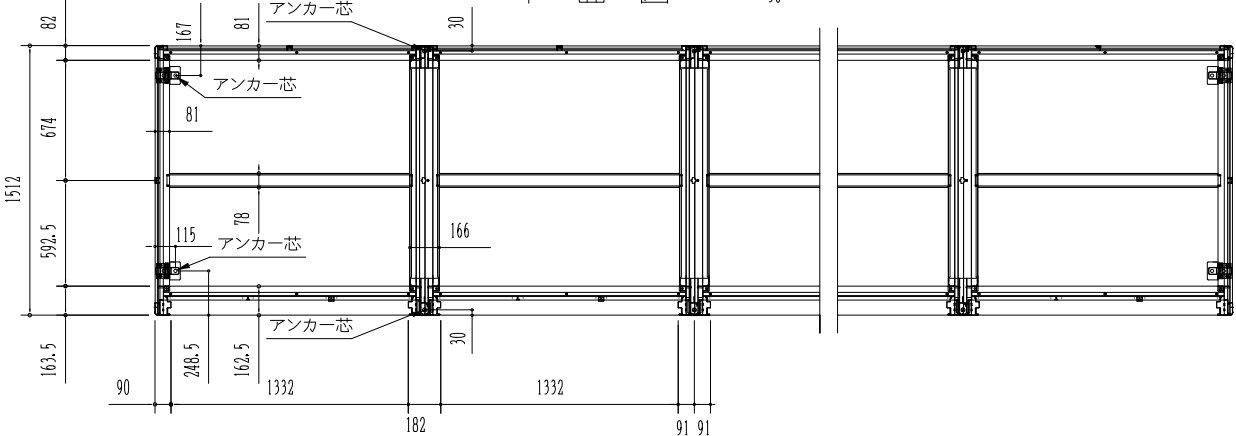




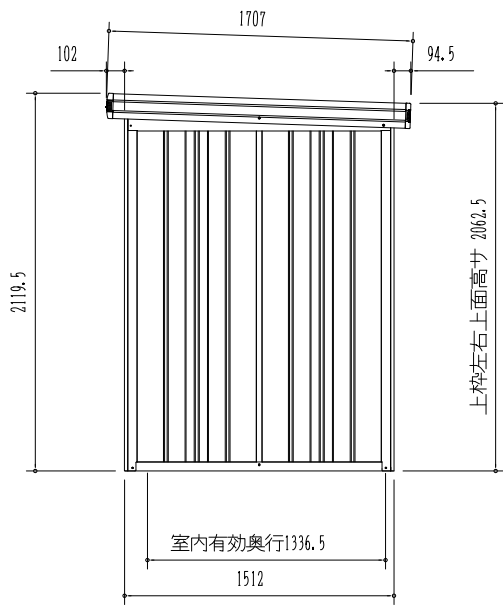
正面立面図 (S = /1 50)



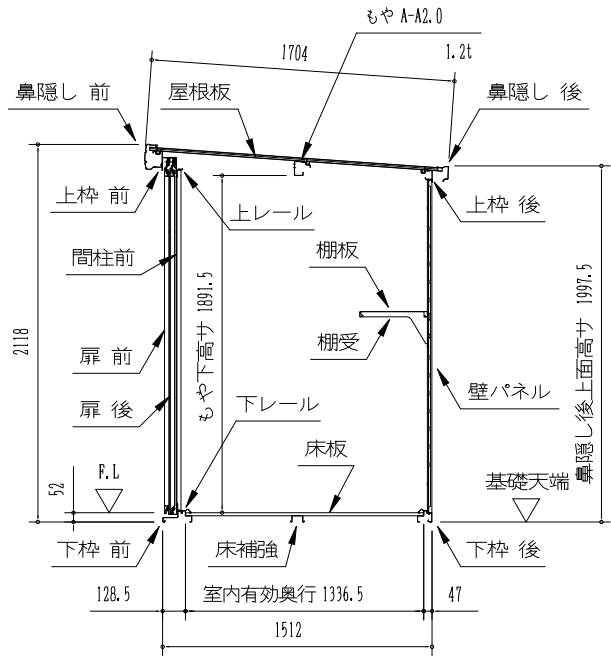
平面図 (S = /1 50)



床伏図 (S = /1 50)



側面立面図 (S = /1 50)



短計図 (S = /1 50)

部 材 名	厚さ(㎜/■)	材 質
屋 根 板	0.4	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
床 補 強	1.2	JIS G3321 溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 SGLCC
<共通型>もや A-A2.0	1.2	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
下枠前 (側・後・中)	1.2 (1.0)	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上 枠 前 (後)	1.0 (0.8)	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上 枠 左, 右	0.6	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC (ツートンカラー)
上枠中	1.2	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
上レール	1.2	アルミニウム合金押出型材
下レール	0.8	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
鼻 隠 し 前	0.5	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC (ツートンカラー)
鼻 隠 し 後	0.5	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
隅柱 前・後	0.8	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
中柱 前・後	0.8	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
扉	0.6	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
壁 パ ネ ル	0.5	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
袖 壁	0.5	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
間 柱	1.0	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
床 板	0.6	JIS G3322 塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
内アンカー金具 (L)	2.3	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板CGCC

部 材 名	サイズ (巾×高サ)
扉 前 L-G	482.5 × 1938
扉 後 L-G	482.5 × 1938
壁/パネル L-A	670 × 1870
袖 壁 L-G	436 × 1909

倉庫-1、2、3、4、5
床面積・建築面積
6.054×1.512=9.1536 → 9.15㎡/棟



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17 (1) 第0587号

管理建築士

1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者

1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第 4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅 3号棟耐震改修等工事 (建築主体工事)

図面名

3号棟
倉庫詳細図

A 2版 100%

A 3版 71%

縮 尺 1/30

図面 No

A-40

注 意 事 項	
1	躯体と昇降機承諾図に相違がある場合はエレベーター着工までに躯体を是正すること
2	(1)昇降路の壁又は囲いは隙間無きものとする (2)昇降路の壁又は囲いは難燃材料(不燃材料・準不燃材料含む)とする (3)昇降路の壁又は囲いは 5cm 辺り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること (4)コンクリート厚さは50mm 以上とすること (5)コンクリート基準圧縮強度は1N／mm ² 以上とすること (6)昇降路壁は後施工アンカーが可能な構造とすること
3	昇降路内にはエレベーターに関係のない配管・配線・ダクト・その他の機器を設置しないこと
4	昇降路壁には配管・消火栓等を埋め込まないこと
5	昇降路内には建築金物(ALCクリップ等)が突出しないこと
6	昇降路内に断熱材(ウレタン・スタイロフォーム等)を施工する場合は溶接火花による火災のおそれがあるため難燃材料とすること
7	断熱材はガイドレール支持用ファスナー及び乗場出入口廻りの取付材を避けて施工すること
8	断熱材の施工時期は協議すること
9	昇降路内の温度は 5℃以上 40℃以下、湿度は月平均 90％以下、日平均 95％以下とし、氷結・結露しないこと
10	昇降路内及び乗場には風雨・塵埃・塩分・有害ガス等が入らないこと
11	昇降路内に換気設備を設置する場合は外部より点検可能な配置とし、雨水対策を実施すること
12	昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しない配置及び躯体構造 (防音・防振工事等)とすること
13	エレベーターホールと風除室が近い場合はドラフトによりエレベーターの戸が開閉できなくなるおそれがあるため建物側で気密性を上げること
14	保守・点検・緊急対応のため、外部より最上階のエレベーターホールへアクセスできる通路を設けること また、個人宅や占有部、鍵が必要な場所を経由する必要がないこと
15	電源電圧の変動は動力用 ±10％以内、照明用 ±5％以内とし、動力用の電圧不平衡率を5％以内とすること
16	高調波障害回避のため、以下の対応を推奨します (1)弱電機器の電源線・通信線はエレベーター動力線から3m以上分離すること (2)エレベーター動力用電源トランスは弱電機器のトランスと独立して設けること (3)弱電機器とのアース線共用は避けること (4)エレベーター動力線は弱電機器近くの床下や天井に設置しないこと (5)漏電遮断器・漏電継電器を設置する場合、不要動作防止のためインバータ対応のものを使用すること
17	搬入に支障のない経路を確保すること
18	据付工事用現場詰所及びエレベーター材料・据付工事用機材の保管場所を無償提供願います
19	仮設揚重機・重機(ラフタークレーン、タワークレーン)の搬入・運搬用台車を無償貸与願います
20	据付工事用電源及び試運転調整時の動力電源を無償提供願います(容量は別途打ち合わせ)
21	必要に応じてモルタルを無償提供願います
22	エレベーターを工事用として使用する場合はこの使用に伴う検査費用・復旧(オーバーホール・消耗部品の交換等)費用・定期保守費用・コールバック対応費用等が生じます
23	かご内へ一度に搬入可能な積載は 4輪台車で 250kg(台車含む)以下とすること

工 事 区 分 表							
分類	No.	工事項目	昇降路構造		建築		
			RC	S	建築	電気	設備
昇 降 路	1	昇降路の築造工事及び躯体・オーバーヘッド・ピット寸法が昇降機承諾図と異なる場合は是正工事 オーバーヘッド:昇降機承諾図寸法に対し20mm以上低い場合(ただし、必要寸法を確保のこと) ピット:昇降機承諾図寸法に対し浅い場合又は30mm以上深い場合(防水面から確保のこと)	○	○	○		
	2	天井フック又はトロリービーム設置工事(荷重に対し安全率確保のこと) (オーバーヘッド高さ400mmを超える場合、トロリービーム設置は必須のこと)	○	○	○		
	3	中間ビーム・セパレータビーム設置・インサート埋め込み工事	○	○	○		
	4	ガイドレール支持用ファスナー及び立柱設置・インサート埋め込み工事	○	○	○		
	5	溶接レスの場合のガイドレール支持用ファスナー及び立柱・三方枠取付用アングルへの穴加工	○	○	○		
	6	フェッシャープレート取付材設置工事(フェッシャープレート本体は昇降機工事)		○	○		
	7	昇降路内鉄骨材の耐火処理工事		○	○		
	8	ピット内防水工事	○	○	○		
	9	ピット下を使用する場合の建築躯体処置工事	○	○	○		
	10	併設されたエレベーターのピットに段差がある場合の間仕切り工事	○	○	○		
	11	急行ゾーンがある場合の昇降路救出口設置工事	○	○	○		
	12	昇降路内建築工事仮設床用(水平養生)の金網、デッキプレート等の撤去工事	○	○	○		
	13	昇降機承諾図に記載のない突出物や不要物の撤去切断等工事	○	○	○		
	14	昇降路内温度が 40℃を超える場合の換気設備工事又は空調設備工事	○	○			○
乗 場	1	乗場出入口の敷居取付用欠き込み・敷居受け持ち出し工事及び敷居取付後のモルタル充填工事	○	○	○		
	2	乗場出入口壁穴あけ・乗場出入口用品取付材設置工事及びインサート埋め込み工事(三方枠・バックアングル・ドア・敷居・押しボタン・インジケータ・モニター等)	○	○	○		
	3	乗場出入口用品取付後の壁並びに床・天井等の仕上工事	○	○	○		
	4	三方枠・インジケータ等と壁間のモルタル又はロックウール充填工事	○	○	○		
	5	三方枠・インジケータ等と壁間の塞ぎ板による隙間塞ぎ工事	○	○			○
	6	開放廊下及び屋上等直接外気と接する乗場における雨水対策工事(排水溝・水勾配・庇等)	○	○	○		
電 気	1	昇降路頂部の煙感知器設備の設置工事(外部より点検可能な点検口の設置を含む)	○	○		○	
	2	昇降路内配管工事に伴う区画貫通部の耐火処理工事(昇降機工事による押しボタン・警報盤等の配線工事は除く)	○	○		○	
	3	昇降路内受電端子までの動力用電源・照明用電源・接地線の引込・立上工事及び一次側端子への接続工事	○	○		○	
	4	昇降路内受電端子までのインターホン・その他機器の配管配線工事並びに引込・立上工事(放送・遠隔監視・防犯カメラ・故障信号・非常呼信号・火災信号・セキュリティ連動信号・監視盤等)	○	○		○	
	5	遮煙のりばドア適用時の建屋火災信号の供給	○	○		○	
	6	ピット内点検用コンセントの設置工事(単独回路)	○	○		○	
そ の 他	1	エレベーター工事着工前までの各階出入口開口部の養生作業	○	○	○		
	2	エレベーター工事着手後の昇降路内への浸水防止工事、出入口先行着工時の止水工事	○	○	○		
	3	居室側防音及び防振工事	○	○	○		
	4	搬入用仮設開口及び搬入経路の段差解消・搬入後の復旧工事	○	○	○		
	5	エレベーターを工事用として使用する場合の各種養生手配及び設置工事	○	○	○		
	6	その他建築・電気・設備に関する工事	○	○	○	○	○



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第 4097号 浜口 修也

設計年月日

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面名

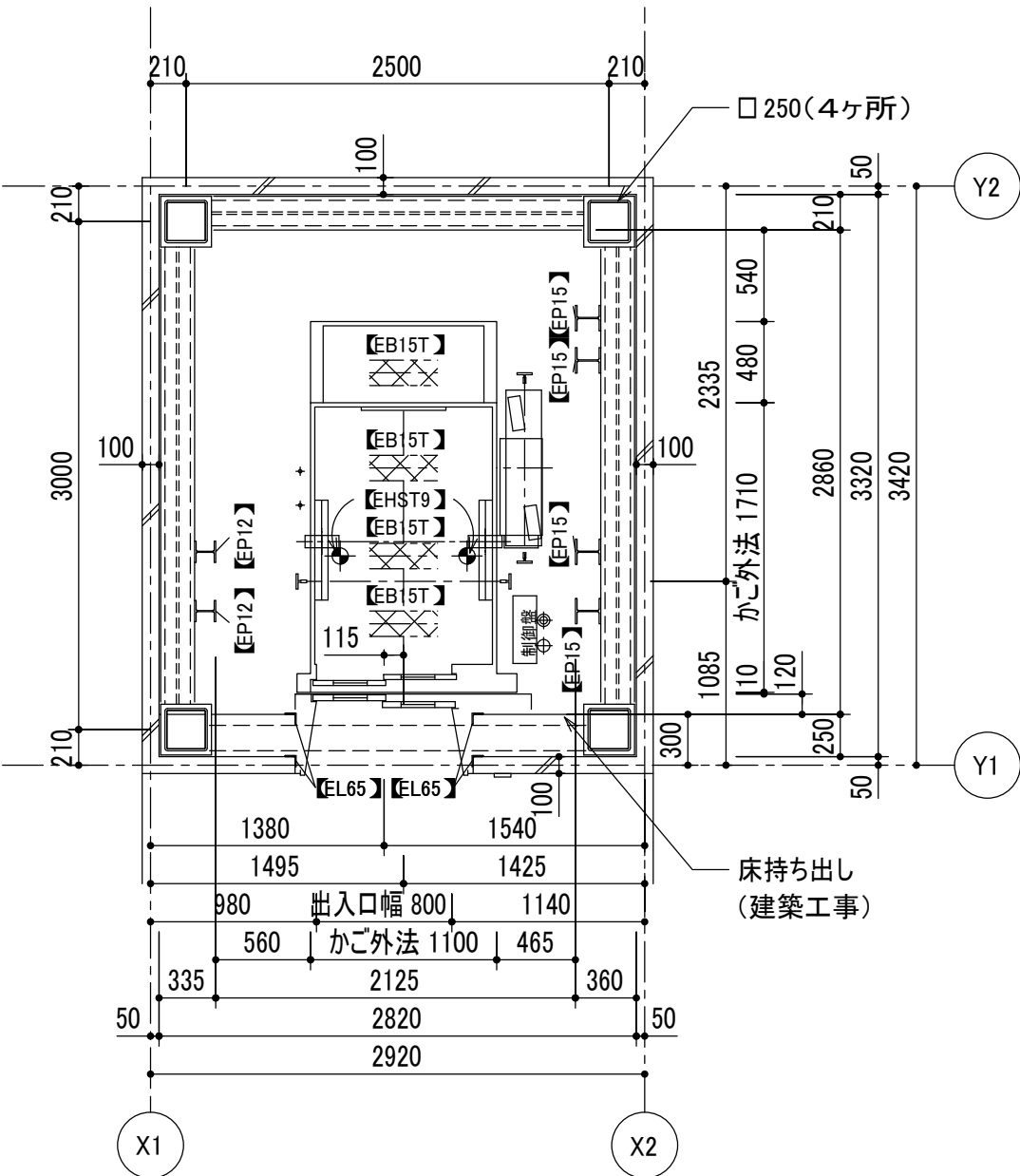
3号棟
昇降機設備図(2)

A2版 100%
A3版 71%

縮尺 ---

図面No.

A-42



昇降路平面図(4F)

1 : 30

煙感知器詳細

施設装置付点検扉

1.5mm以上の鋼板製(電気工事)
リミットスイッチ付(エレベーター工事)

昇降路頂部に煙感知器を設置する場合は
外部に引き出した状態で点検可能な構造
とする。
屋外の場合は、防水形点検扉とする。

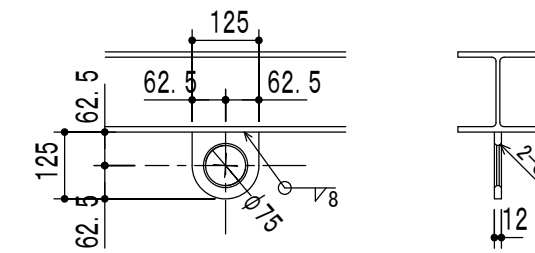
点検ボックスは下記エレベーター昇降路専用品として下さい。

- ・ホーチキ (KUS-1C(W))
- ・能美防災 (FXS J001A-HU)
- ・ニッタン (NID-T-G)
- ・パナソニック (BV95351+BV95381H)

製品の型番は、仕様変更などで変更・廃止されている場合があります

【EHST9】吊元フック詳細

吊元フック荷重9.8kN



吊元フック【EHST9】 ・荷重: 9.8kN	(建築工事)
電源引込み(受電盤への接続) ・動力・照明、接地線 4階FL-1350mm 引出長さ 3m	(電気工事)
配線引込み ・インターホン配線、電話線 4階FL-650mm 引出長さ 3m	(電気工事)

ヒフク厚5

鉄骨部材記号表 (建築工事)		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EPL12R9	ファスナープレート(リブ付)FL-12(リブt9)	
EP15	レール支持柱	H-150x150x7x10
EP12	レール支持柱	H-125x125x6.5x9
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EL65	三方枠取付材	L-65x65x6
EL10S	敷居取付材	L-100x100x10
EHST9	吊元(荷重9.8kN用)	t12(φ75穴付)
EB15T	トロリービーム	H-150x150x7x10



設計に緑を



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号 登録
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面名

3号棟
昇降機設備図(4)

A2版 100%

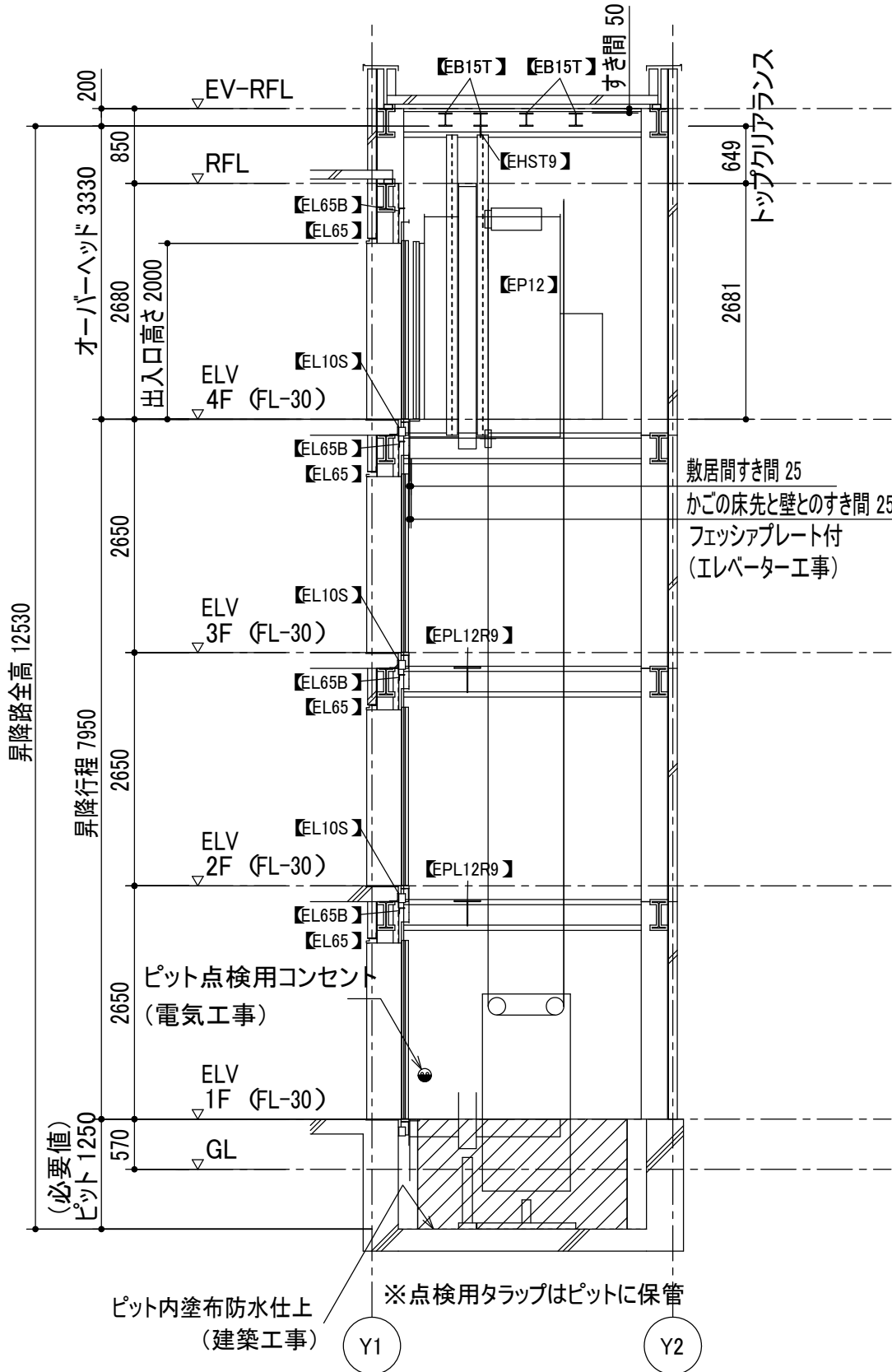
A3版 71%

縮尺 1/30, 1/50

図面No.

A-44

※煙感知器と天井点検口について打合せの事

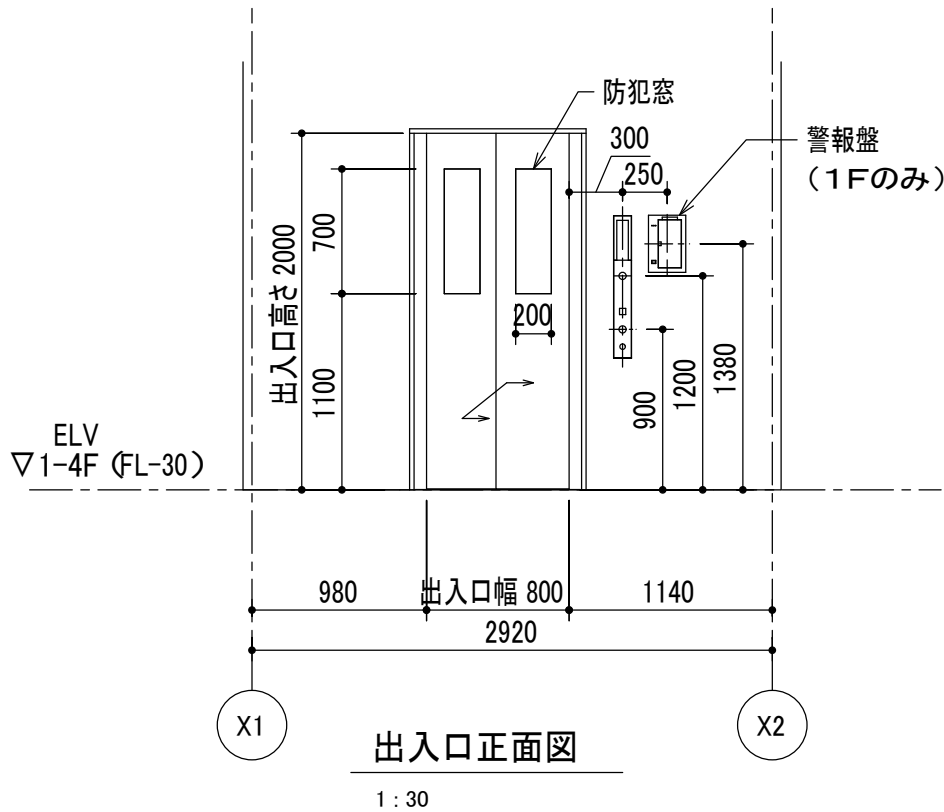


昇降路縦断面図

1 : 50

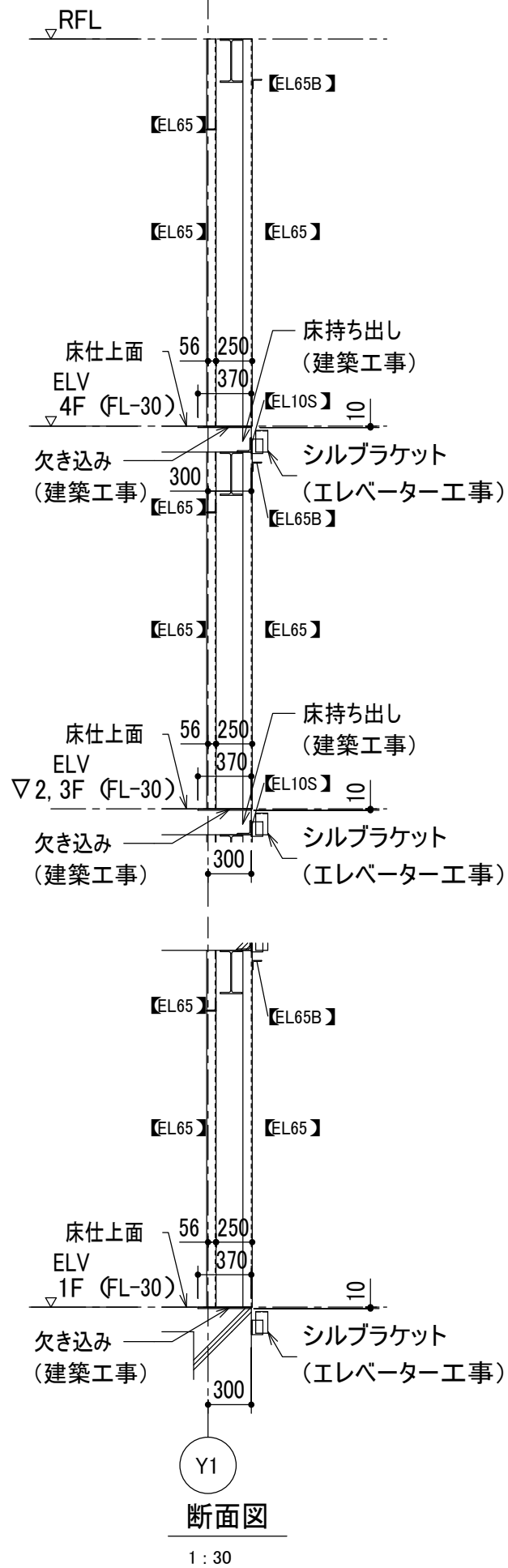
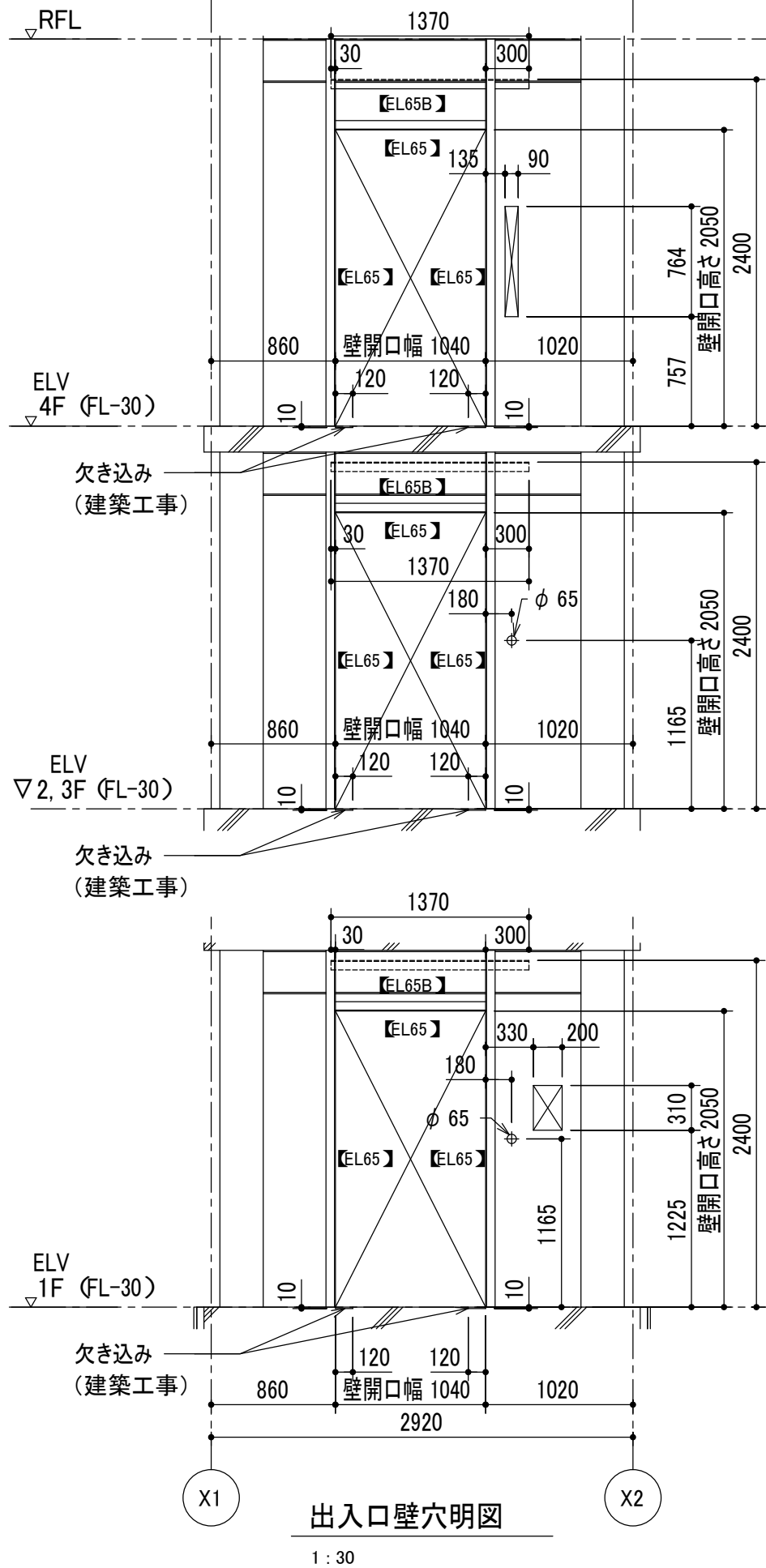
No. 1

ピット反力	67.70 kN
ピット衝撃荷重	かご側 70.20 kN C/W側 57.40 kN



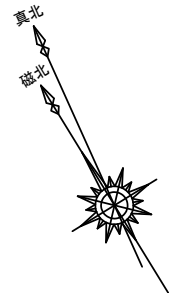
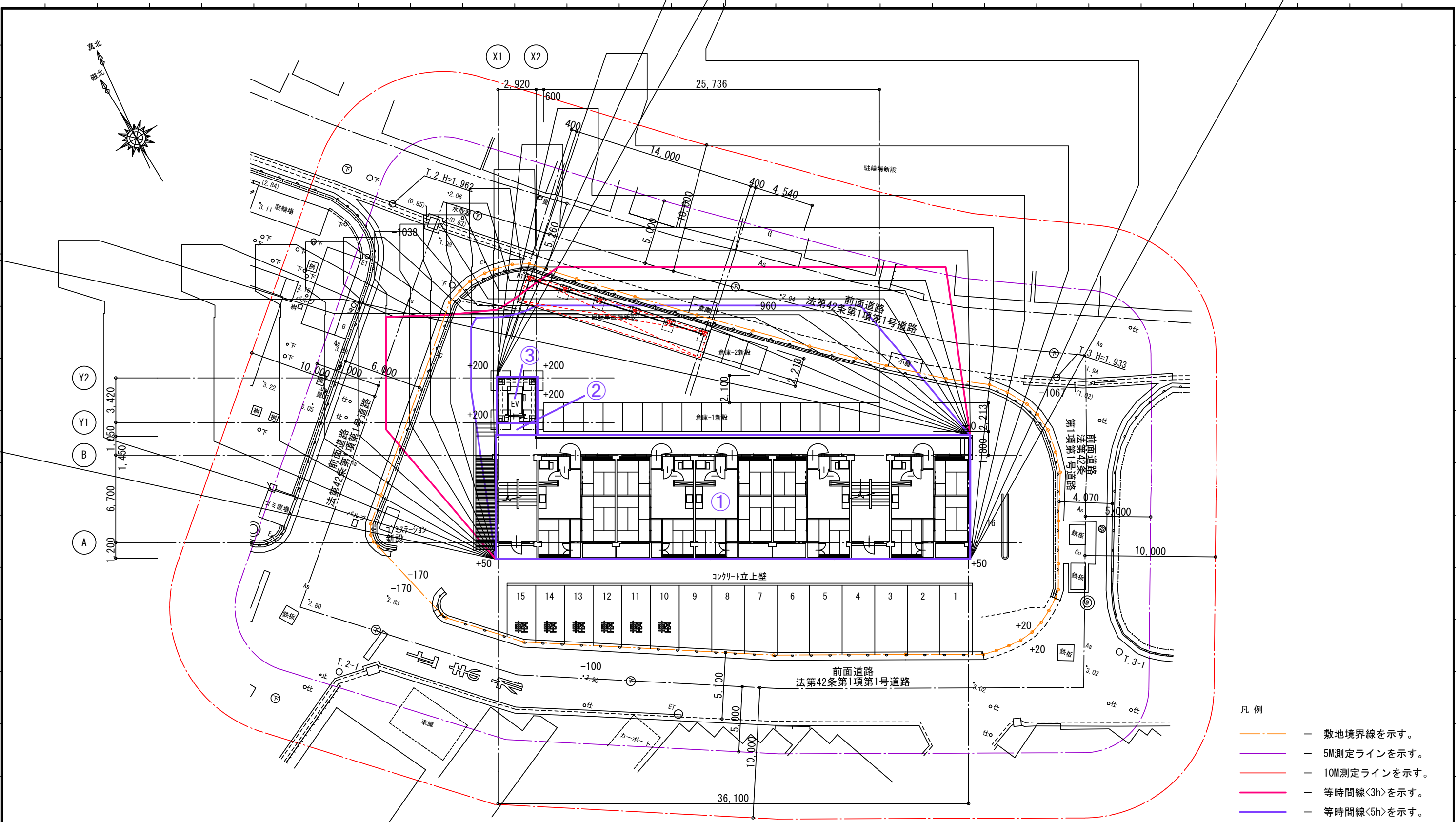
下記の事項については別途見積となります	
負荷状況により作業を請負できない可能性がありますので弊社担当へ都度ご相談ください	
1	施工作业条件: 月曜日～土曜日 8:00～17:00以外でご用命の場合
2	夜間作業発生の場合
3	2階以上の階若しくは地下階への搬入作業の場合
4	荷下ろし場所から設置・仮置き場所までの距離が0mを超える場合
5	横引き通路に段差・階段・障害物がある場合
6	搬入に際し、警備員・誘導員及び道路使用許可を要する場合
7	床・壁に養生を必要とする場合
8	昇降機据付工事以外で立会いが発生する場合
9	据付工事短縮を必要とする場合
10	昇降路を養生する必要がある場合 (ガラス壁等)
11	昇降機着工前までに各階出入口開口部養生材設置作業 (養生材のみの貸与含む) をご用命の場合
12	昇降機を工事用として使用する場合の検査費用・復旧 (オーバーホール・消耗部品の交換等) 費用・定期保守費用・コールバック対応費用等
13	その他特殊な事情がある場合

鉄骨部材記号表 (建築工事)		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EPL12R9	ファスナープレート (リブ付)	PL-12 (リブt9)
EP15	レール支持柱	H-150x150x7x10
EP12	レール支持柱	H-125x125x6.5x9
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EL65	三方枠取付材	L-65x65x6
EL10S	敷居取付材	L-100x100x10
EHST9	吊元 (荷重9.8kN用)	t12 (φ75穴付)
EB15T	トロリービーム	H-150x150x7x10



設計に緑を

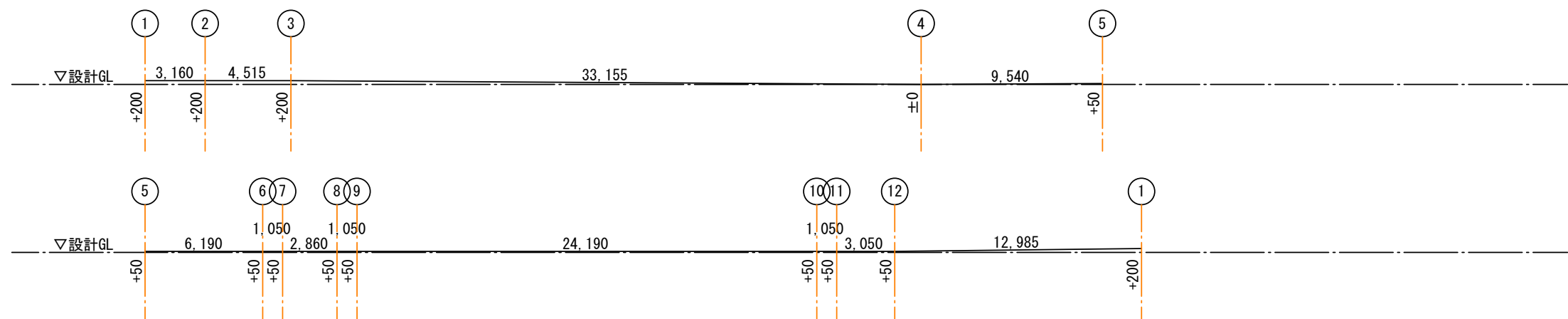
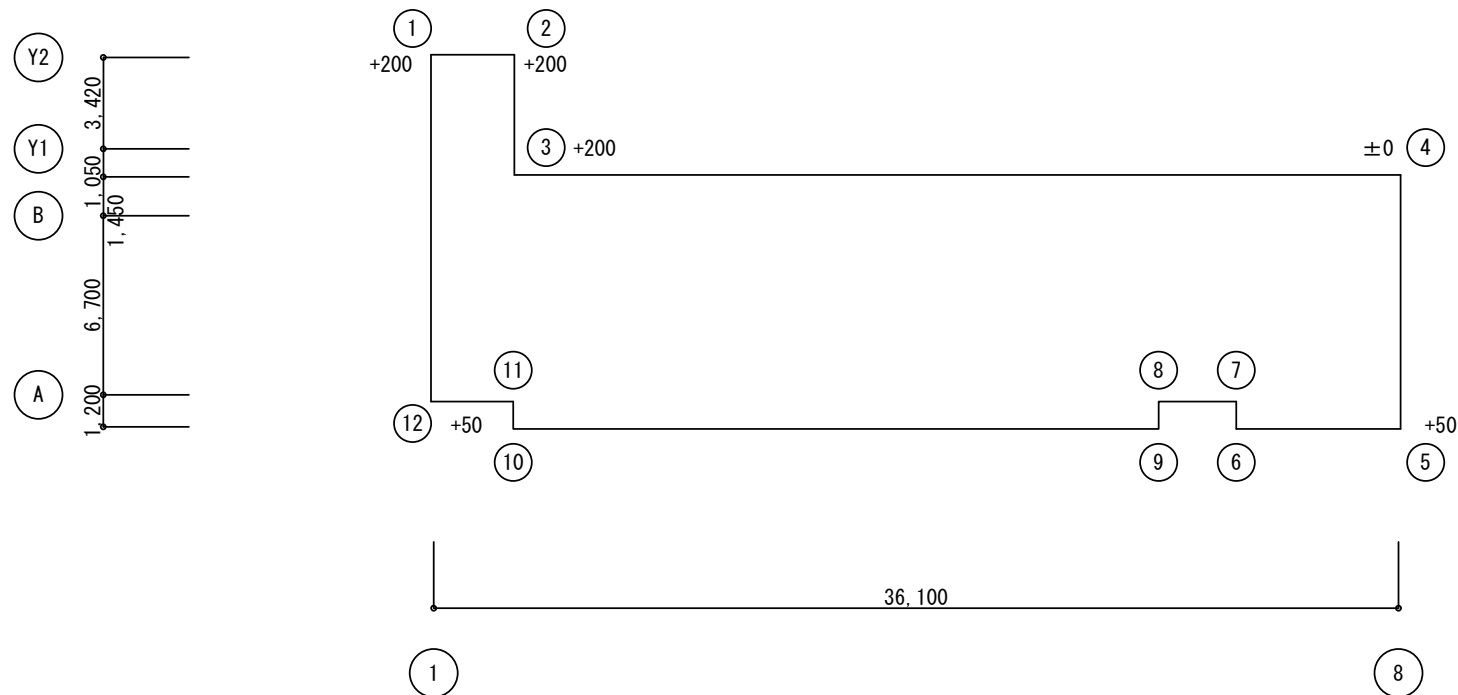
記事		 株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	構造設計者 1級建築士 登録 第248850号 構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也	設計年月日	工事名	A2版 100%	図面No. A-45
						旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)	A3版 71%	
						図面名 3号棟 昇降機設備図(5)	縮尺 1/30	



- 凡 例
- 敷地境界線を示す。
 - 5M測定ラインを示す。
 - 10M測定ラインを示す。
 - 等時間線<3h>を示す。
 - 等時間線<5h>を示す。

地域地区	第1種住居地域
緯度	34° 18' 32" (34.399°)
経度	132° 17' 00" (133.091°)
日影規制時間	5m : 5h、10m : 3h
計算時	真太陽時
測定面	設計GL+4.000
計算日	冬至
図面縮尺	1/200

測定面1 高さ:4.000 (m)			①共同住宅（既存部分）				②共同住宅（EV増築部分）				③共同住宅（EV増築部分）			
建物高さ (m)			11.650	11.650	11.650	11.650	11.650	11.650	11.650	11.650	12.550	12.550	12.550	12.550
平均地盤面からの高さ (m)			11.650	11.650	11.650	11.650	11.650	11.650	11.650	11.650	12.550	12.550	12.550	12.550
測定面からの高さ (m)			7.650	7.650	7.650	7.650	7.650	7.650	7.650	7.650	8.550	8.550	8.550	8.550
時刻	太陽方位角	影の倍率	日影長さ（影の倍率×測定面からの高さ）				日影長さ（影の倍率×測定面からの高さ）				日影長さ（影の倍率×測定面からの高さ）			
8:00	- 53.518°	6.431	49.198	49.198	49.198	49.198	49.198	49.198	49.198	49.198	54.986	54.986	54.986	54.986
8:30	- 48.502°	4.118	31.503	31.503	31.503	31.503	31.503	31.503	31.503	31.503	35.209	35.209	35.209	35.209
9:00	- 43.032°	3.063	23.432	23.432	23.432	23.432	23.432	23.432	23.432	23.432	26.189	26.189	26.189	26.189
9:30	- 37.058°	2.467	18.873	18.873	18.873	18.873	18.873	18.873	18.873	18.873	21.093	21.093	21.093	21.093
10:00	- 30.548°	2.096	16.035	16.035	16.035	16.035	16.035	16.035	16.035	16.035	17.921	17.921	17.921	17.921
10:30	- 23.505°	1.856	14.199	14.199	14.199	14.199	14.199	14.199	14.199	14.199	15.869	15.869	15.869	15.869
11:00	- 15.982°	1.704	13.036	13.036	13.036	13.036	13.036	13.036	13.036	13.036	14.570	14.570	14.570	14.570
11:30	- 8.091°	1.619	12.386	12.386	12.386	12.386	12.386	12.386	12.386	12.386	13.843	13.843	13.843	13.843
12:00	0.000°	1.592	12.179	12.179	12.179	12.179	12.179	12.179	12.179	12.179	13.612	13.612	13.612	13.612
12:30	8.092°	1.619	12.386	12.386	12.386	12.386	12.386	12.386	12.386	12.386	13.843	13.843	13.843	13.843
13:00	15.983°	1.704	13.036	13.036	13.036	13.036	13.036	13.036	13.036	13.036	14.570	14.570	14.570	14.570
13:30	23.506°	1.856	14.199	14.199	14.199	14.199	14.199	14.199	14.199	14.199	15.869	15.869	15.869	15.869
14:00	30.549°	2.096	16.035	16.035	16.035	16.035	16.035	16.035	16.035	16.035	17.921	17.921	17.921	17.921
14:30	37.059°	2.467	18.873	18.873	18.873	18.873	18.873	18.873	18.873	18.873	21.093	21.093	21.093	21.093
15:00	43.033°	3.063	23.432	23.432	23.432	23.432	23.432	23.432	23.432	23.432	26.189	26.189	26.189	26.189
15:30	48.503°	4.118	31.503	31.503	31.503	31.503	31.503	31.503	31.503	31.503	35.209	35.209	35.209	35.209
16:00	53.519°	6.431	49.198	49.198	49.198	49.198	49.198	49.198	49.198	49.198	54.986	54.986	54.986	54.986



$$(3.160 \times 0.20) + (4.515 \times 0.20) + (33.155 \times 0.20 \times 1/2) + (9.540 \times 0.05 \times 1/2) + (6.190 \times 0.05) + (1.050 \times 0.05) + (2.860 \times 0.05) + (1.050 \times 0.05) + (24.190 \times 0.05) + (1.050 \times 0.05) + (3.05 \times 0.05) + ((0.05 + 0.20) \times 12.985 \times 1/2) = 8.684 \text{ m}^2$$

※8.684m²/102.795m (建物周長) = -0.084 → 平均地盤 = 設計GL+84 とする。



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面名

3号棟
平均地盤算出表

A 2版 100%

A 3版 71%

縮尺 1/200

図面No

A-48

7 鉄骨 工事	①	鉄骨製作工場	鉄骨製作工場の加工能力 ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める(R)グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・監督職員の承諾する工場	(7.1.3)	11	スタッド	種類等 呼び名 呼び長さ(mm) 適用箇所 ・16 ・19 ・22 JIS B1198(頭付きスタッド)	(7.2.8)	⑩	耐火被覆	種類、材料、工法等 種類 材料・工法 性能(耐火時間) 適用箇所(部位・部分) ○耐火材吹付け ・乾式吹付けロックウール ○半乾式吹付けロックウール ・湿式ロックウール ・耐火板張り ・耐火材巻付け ・ラス張りモルタル塗り ・耐火塗料	(7.9.2~8)					
	②	施工管理技術者	※配置する ・配置しない	(7.1.4)	⑫	柱底均しモルタル	※無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料、調合等 ※標準仕様書 7.2.9(2)(7)から(4)による ・構造図による ○標準仕様書7.2.9(1)によるモルタル	(7.2.9)		⑳	アンカーボルト等の設置等	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ※構造図による 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ※構造図による 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ※構造図による 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ・A種 ・B種 柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 厚さ ・() 種別 ※A種 ・B種	(7.10.3)				
	③	鋼材	種類等 種類の記号 適用箇所(主要な部分) 規格 BGR295 柱 ※JIS規格による ○ 大臣認定品 SN400B 大梁、片持ち梁、他 ※JIS規格による SS400 小梁 ※JIS規格による SN490B 内ダイヤフラム ※JIS規格による SN490C 外ダイヤフラム ※JIS規格による	(7.2.1)	⑬	製作精度	鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイヤフラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(2)による ・構造図による アンダーカットの寸法 ※H12建告第1464号第二号イ(3)による ・構造図による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ○「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・構造図による	(7.3.3)		21	軽量形鋼構造	ボルトの接合部 ※普通ボルト接合 ・構造図による	(7.11.2)				
	④	高力ボルト	高力ボルトの種類 ※トルシア形高力ボルト 2種 (S10T) ・JIS形高力ボルト 2種 (F10T) ・() ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項(鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔 ・構造図による ・すべり試験の種類 ※すべり係数試験 ・すべり耐力試験 試験方法等 ※構造図による	(7.2.2)	14	溶接技能者の技量付加試験	試験の要領 ※構造図による	(7.6.3)									
	5	溶融亜鉛めっき高力ボルト	セットの種類 ※1種 (F8T) 相当 ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項(鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔 ・構造図による 摩擦面の処理方法等 ・ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上) ・りん酸塩処理 ・構造図による	(7.3.2)	⑮	溶接接合	開先の形状 ※構造関係共通事項(鉄骨標準図) 1-2 ・エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ※構造図による 切断する範囲 ・構造図による ・エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mmを残して直線上に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 切断面の仕上げ ※標準仕様書7.6.7(1)(h)(b)②による ・構造図による	(7.6.4)									
	6	普通ボルト	ボルト及びナットの材料 ※標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は次による ボルトの規格は、JIS B 1180とする。ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は金ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。 なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。 ナットの規格は、JIS B 1181とする。ナットの種類は、六角ナットーCとし、材料は鋼とする。 座金 ※JIS B 1256による ・構造図による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造関係共通事項(鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔 ・構造図による 母屋又は鋼縁の取付けに使用するボルトの孔径 ※ねじの呼び径+1.0mm ・構造図による	(7.2.3)	⑯	入熱、バス間温度の溶接条件	鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※構造関係共通事項(鉄骨標準図) 1-4 ・構造図による 適用箇所 ※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶込み溶接部 ・構造図による	(7.6.7)									
	⑦	アンカーボルト	○構造用アンカーボルト セットの種類 (JIS B1220) ・ABR400 ・ABR490 ○(柱脚詳細図による) ・建方用アンカーボルト 種類 ・SS400 ・() アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表7.2.3による ・構造図による ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※構造図による	(7.2.4)	⑰	溶接部の試験	平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ○「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ・抜き取り検査② JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ○JASS 6 付則 6 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。 完全溶込み部の超音波探傷試験 ○工場溶接の場合 AQL(%) ※4.0 ・2.5 節 ・全て 検査水準 ※第6水準 ・工事現場溶接の場合 ※全て	(7.6.12)									
	⑧	溶接材料	溶接材料 ※標準仕様書 7.2.5(1)(2)による ・構造図による	(7.2.5)	⑱	錆止め塗装	塗料の範囲 ・耐火被覆材の接着する面の塗装 範囲 ※構造図による ・耐火被覆材の接着する面以外の塗装 範囲 ※標準仕様書 7.8.2(1)(7)~(7)以外 ・構造図による 塗料の種類 ○鉄鋼面の錆止め塗料の種類 屋外 ※A種 ・B種 屋内 ※A種 ・B種 ・亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料の種類 ※A種 ・B種 ・C種 ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種類 ※A種 ・B種 ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種類 ・()	(7.8.2.4)									
	⑨	ターンバックル	種類 建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト ・() 建築用ターンバックル胴 ※割弁式 ・() ねじの呼び ※構造図による	(7.2.6)													
	⑩	床構造用のデッキプレート	材質、形状及び寸法 ・デッキプレート 単独の構法 ・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法 開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む) ※構造図による 鉄骨部材への溶接方法 ※構造図による 耐火認定 ・あり 耐火時間 ※構造図による ・なし	(7.2.7)													

設計に緑を

建物概要等

1. 建物概要等

2. 構造設計条件等

3. 地盤調査資料

4. 液化化対策

建物概要

計算方法

外力等

※当該地の既往調査報告書
・構造図による

・有り
(範囲・工法・仕様・計測・試験等については構造図を参照)
○無し

構-1
総則

構-2
施工方法及び計画書関連等

構関係共通事項 (共通事項)

1.1 適用範囲

1.2 優先順位

1.3 用語の定義

1.4 記号等

表1.1 異形鉄筋の断面表示記号

表1.2 各階伏図における記号

表1.3 梁貫通孔記号

表1.4 スリーブ材質の凡例

構関係共通事項 (配筋標準図)

1.1 鉄筋の加工

2.1 異形鉄筋の末端部

3.1 継手及び定着

表1.1 鉄筋の折曲げ内法直径

表3.1 鉄筋の重ね継手の長さ

表3.2 隅り合う継手の位置

表3.3 鉄筋の定着の長さ

設計に緑を

記事

株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
広島県三原市旭町一丁目4番
1級建築士事務所 登録 第17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号 /
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日
2021. 6.

工事名
旭町住宅3号棟耐震改修工事(建築主体工事)

図面名
3号棟
構造関係共通事項(1)

A2版 100%
A3版 71%
縮尺 -

図面No
S-03

(d) スカラップ
改良型スカラップ
(1) スカラップ半径Srは35mmとする。Srは10mmとする。
(2) スカラップ円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、複合円は滑らかに仕上げる。

従来型スカラップ
(1) スカラップ半径Srは35mmとする。

(e) スニップカット
(1) スニップカット部は溶接により埋めるものとする。

(2) スニップカットの寸法は、下表による。ただし、既製形鋼のスニップカットについては、Sc=r+2iにより求めるものとする。

t	6	9	12	16以上
Sc	10	12	14	15

(f) 溶接部分の段差
完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段違いが10mmを超える場合

(g) 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

鋼材の種類	規格	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	バス間温度 (℃)
400N級鋼	JIS Z 3211	引張強さ570Mpa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-11, 15 YGW-18, 19	40以下 30以下	350以下 450以下
	JIS Z 3313	T490T x-yCA-U T490T x-yMA-U T550T x-yCA-U T550T x-yMA-U	40以下	350以下
	JIS Z 3214	引張強さ570N/mm ² 以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3315	YGA-50W, 50P	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-18, 19	40以下	350以下
490N級鋼	JIS Z 3211	引張強さ570Mpa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-11, 15 YGW-18, 19	40以下 30以下	250以下 350以下
	JIS Z 3313	T490T x-yCA-U T490T x-yMA-U T550T x-yCA-U T550T x-yMA-U	40以下	350以下
	JIS Z 3214	引張強さ570N/mm ² 以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3315	YGA-50W, 50P	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-18, 19	40以下	350以下
520N級鋼	JIS Z 3313	T550T x-yCA-U T550T x-yMA-U	30以下	250以下
	JIS Z 3312	YGW-11, 15 YGW-18, 19	30以下 40以下	250以下 350以下
400N級STKR、 BCR及びBCP	JIS Z 3313	T490T x-yCA-U T490T x-yMA-U T550T x-yCA-U T550T x-yMA-U	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW-18, 19	30以下	250以下

1-5 フレア溶接を行う場合の溶接長さ

鉄筋又は軽量形鋼にフレア溶接を行う場合の溶接長さ（L）は、ビードの始点（La）及びクレーター（Lb）を除いた部分の長さとする。

L：片面フレア溶接の場合 10d
両面フレア溶接の場合 5d
La及びLbは1d（軽量形鋼については1S）以上
d：異形鉄筋の呼び名に用いた数値
S：溶接のサイズ

1-6 梁貫通孔補強

(a) 鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の鉄骨梁ウェブ部に貫通孔を設ける場合は、次による。
(1) 貫通孔の内径寸法は、鉄骨せいの1/2以下かつ鉄筋コンクリート梁せいの1/3以下とする。
(2) 貫通孔間隔は、両側の貫通孔径の平均値の、鉄骨造で2倍以上、鉄骨鉄筋コンクリート造で3倍以上確保する。

貫通孔位置の限度（単位：mm）

(b) 貫通孔の補強方法は、構造図による。
(1) 補強プレート法及び補強トラス法の溶接等は、以下による。

補強プレート法
(1) 補強プレート厚が16mm以上となる場合は、必要な厚さの1/2以上の補強プレートをウェブ両面から溶接する。
(2) 補強プレートは丸型としても良い。上下フランジとのあき50mmについては施工性を考慮して小さくすることもできる。

補強トラス法
(1) スリープの取付けは、全周隅肉溶接とする。

1-7 壁筋の周辺部材への定着

梁への定着方法

柱への定着方法

1-8 柱組立筋

組立筋 6φ-1000φ
D13以上の組立筋（柱幅≥700mm）

1-9 仕口部内の帯筋の加工及び組立

片面溶接の溶接長さ（L）は、鉄筋の呼び名の数値の10倍以上とする。ただし、溶接によらない場合は135° 曲げフックとする。

鉄筋の貫通孔径の最大値は、下表による。

鉄筋の呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
鉄筋貫通孔の径	21	24	28	31	35	38	43	46

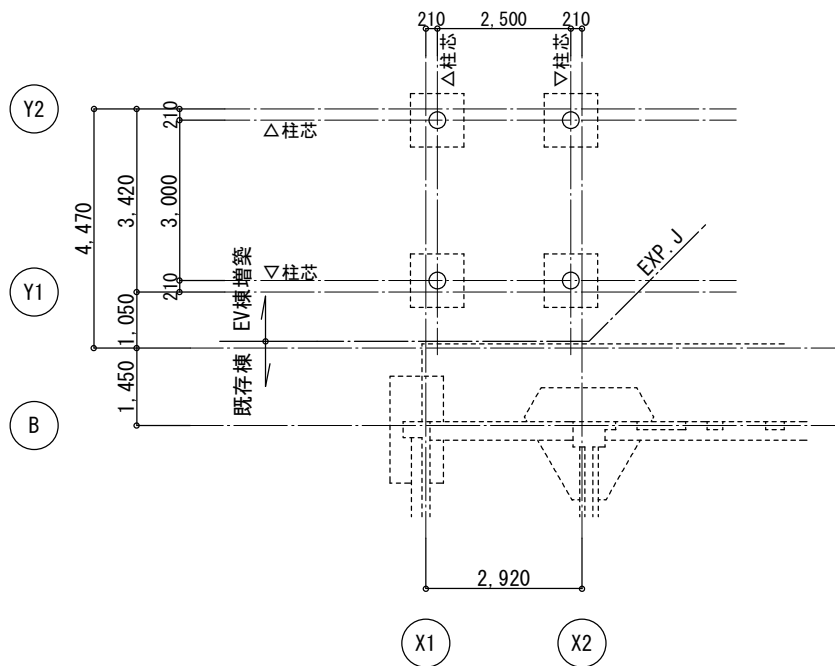
鉄骨フランジには、鉄筋貫通孔を設けないものとする。

小梁下端主筋が貫通する場合

小梁下端主筋が貫通しない場合（単位：mm）

1-11 普通ボルト接合

もや、鋼線類の取付け用ボルトを普通ボルト接合とする場合は、二重ナットとする。



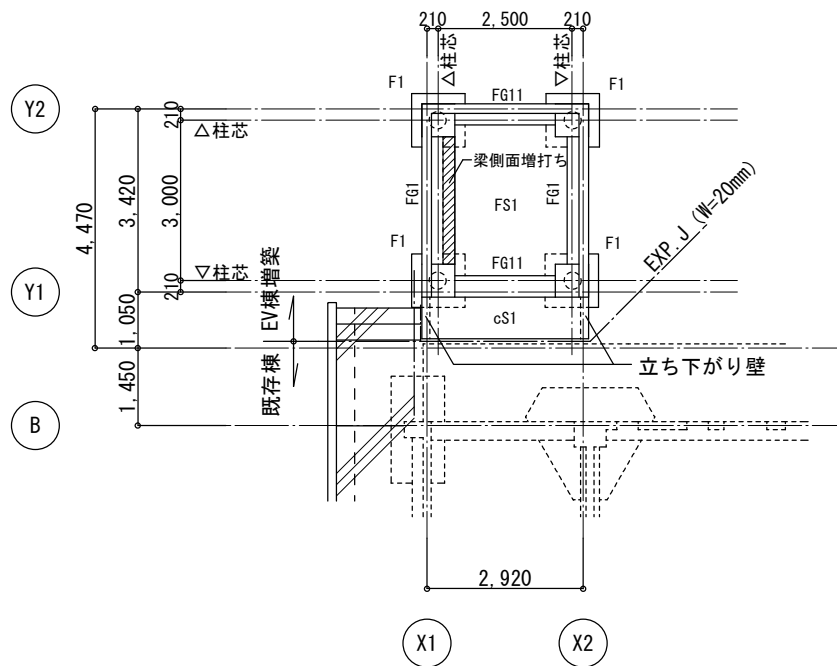
杭伏図 1/100

特記なき杭は、P1とする。

杭リスト

杭工法:EAZET(イーゼット)工法
試験杭:最初の1本
上杭長は4mとする。下杭長さは4m+5mの3本継ぎとする。
杭の材質はSTK490とする。

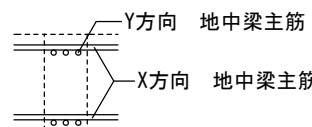
符号	記号	杭径	羽根径	上板厚	下板厚	本数	長期支持力 (kN/本)	短期引抜力 (kN/本)	杭頭レベル (m)	杭長 (m)
P1	○	318.5	750	7.9	7.9	4	1060	393	GL-1.75	13.0
合 計						4				



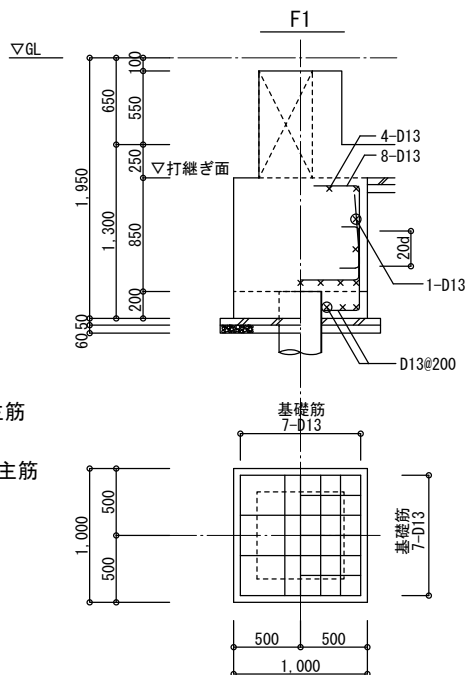
基礎・1階床伏図 1/100

特記なき柱脚は、C1とする。
特記なき基礎下端は、GL-1.950とする。
特記なき基礎梁天端は、GL-100とする。
特記なき基礎梁上部は、1FLまで増打ちを行う。
は、土間範囲を示す。
外部土間レベルは意匠図による。
土間厚さt=120 D10-@200シングル

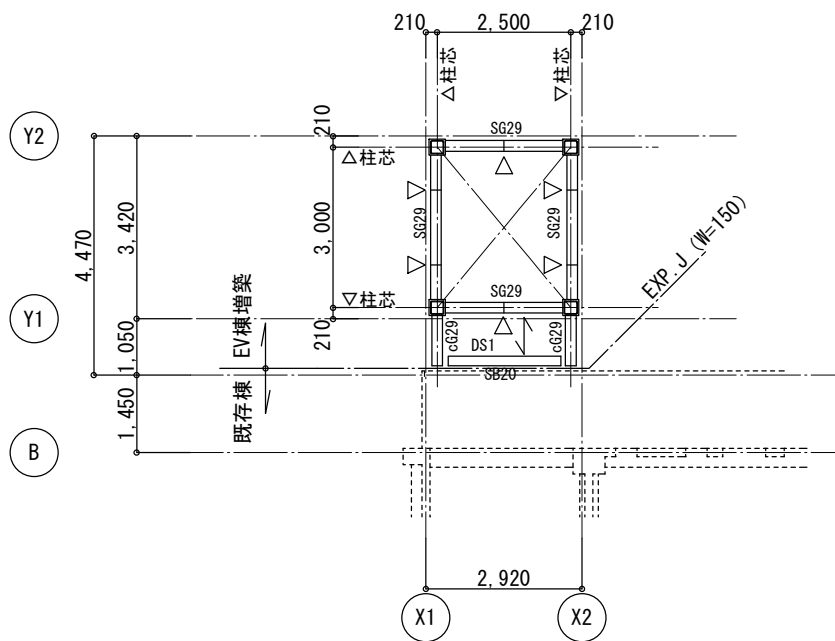
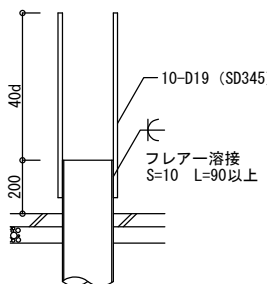
地中梁主筋位置



基礎リスト 1/40

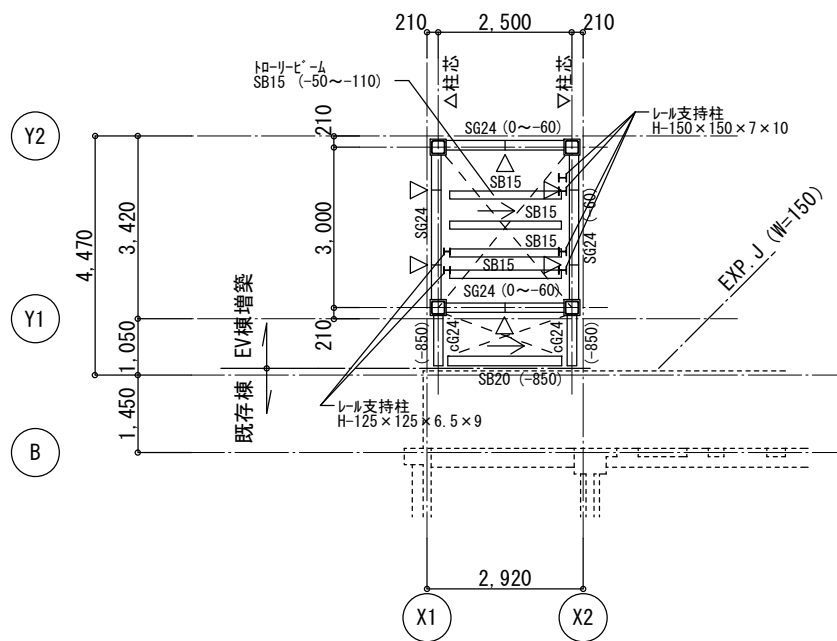


杭頭接合部詳細図 1/20



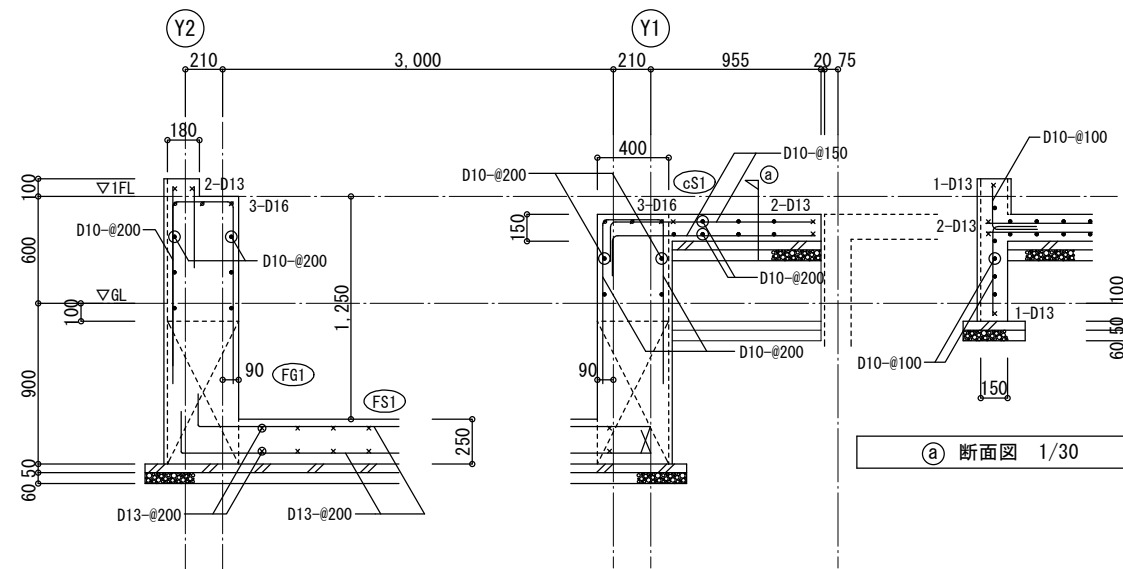
1～3階柱壁2～4階床伏図 1/100

特記なき柱は、SC1とする。



4階柱壁R階床伏図 1/100

特記なき柱は、SC1とする。
() は、RFLからの梁天端レベルを示す。
---- 水平ブレースは、M20とする。
ALC屋根は、長期1980N/㎡、短期1441N/㎡以上の荷重に対して満足する強度を確保すること。



ピット周り配筋図 1/30

a) 断面図 1/30



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士

1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者

1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面名

3号棟
EV増築 伏図

A 2版 100%

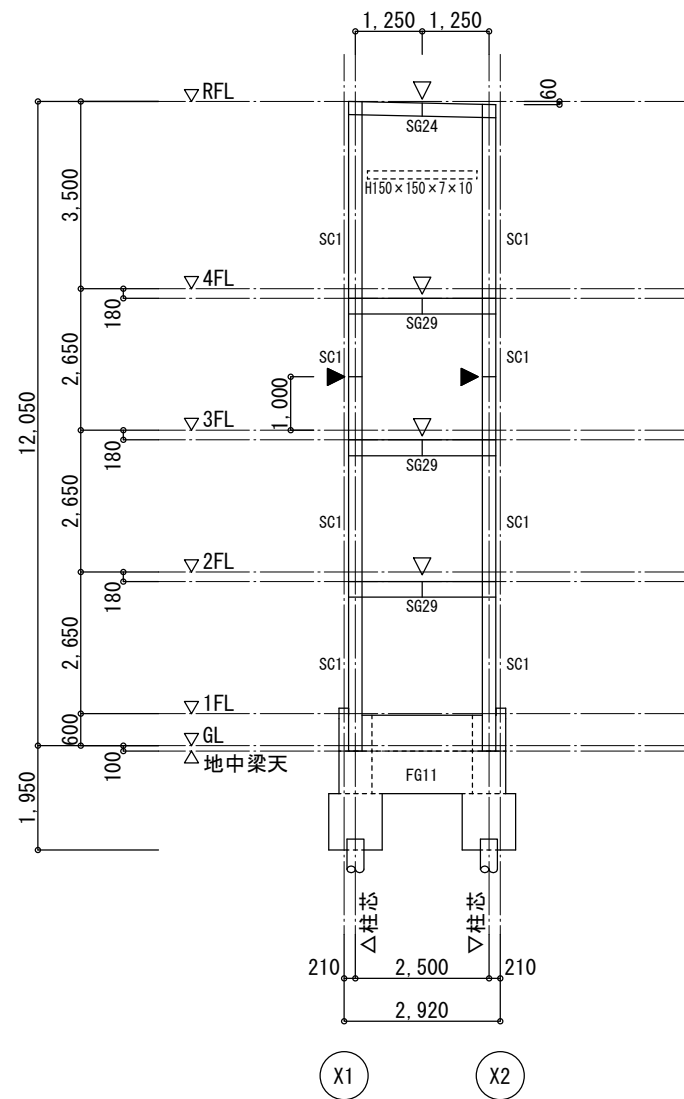
A 3版 71%

縮 尺 1/100

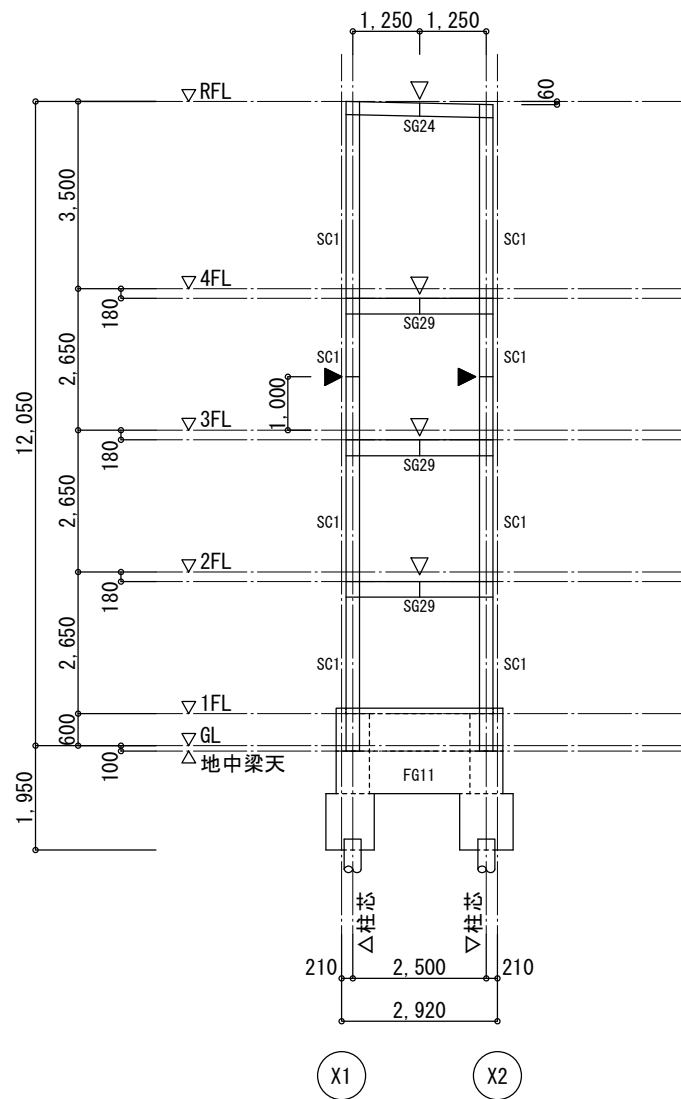
図面No

S-09

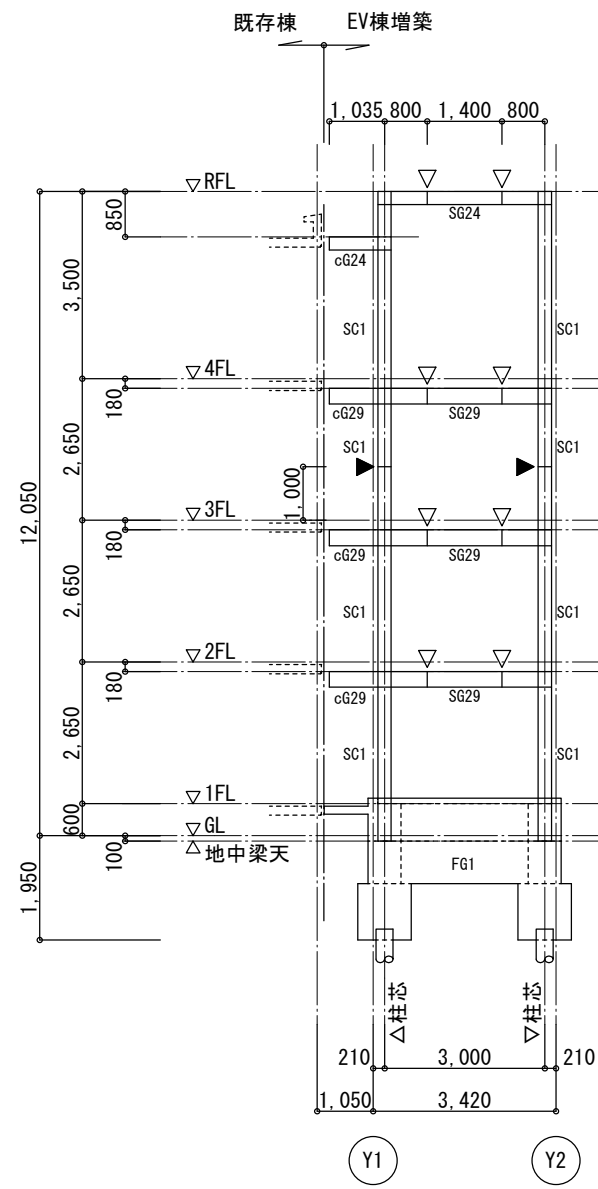
凡 例	
	梁継手位置
	柱継手位置



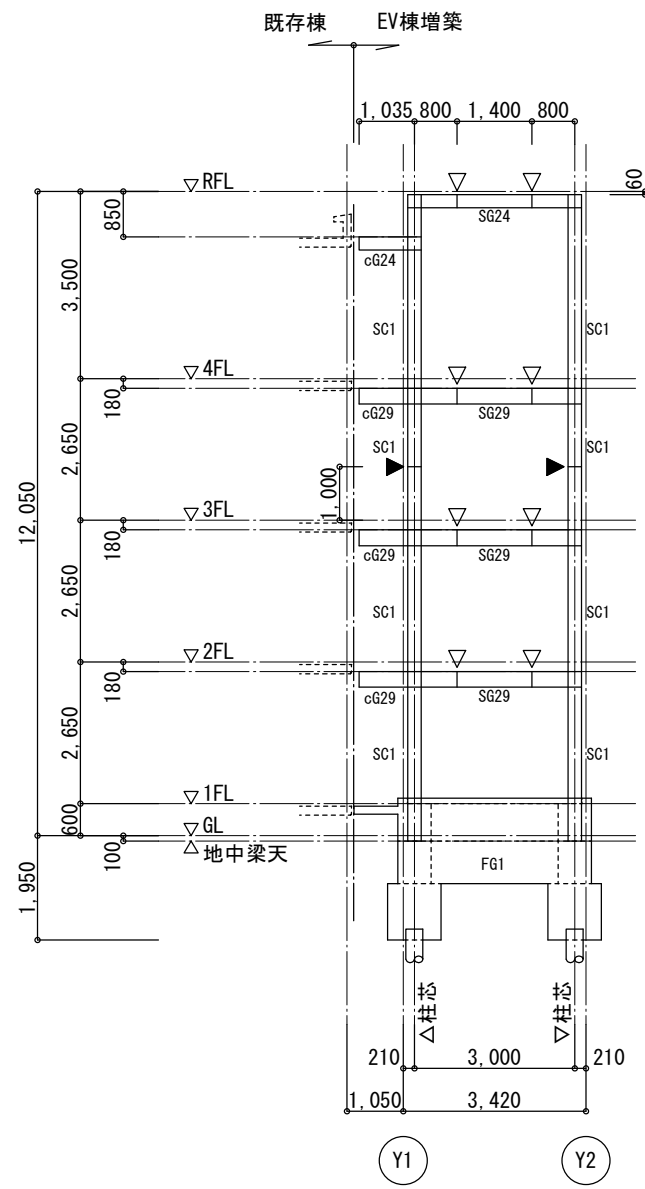
Y1通り軸組図 1/100



Y2通り軸組図 1/100



X1通り軸組図 1/100



X2通り軸組図 1/100



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面名

3号棟
EV増築 軸組図

A 2版 100%

A 3版 71%

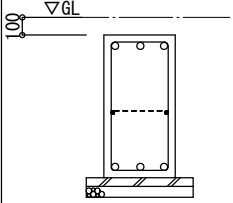
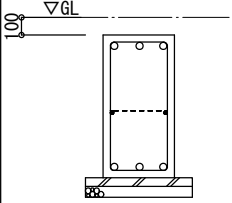
縮 尺 1/100

図面No

S-10

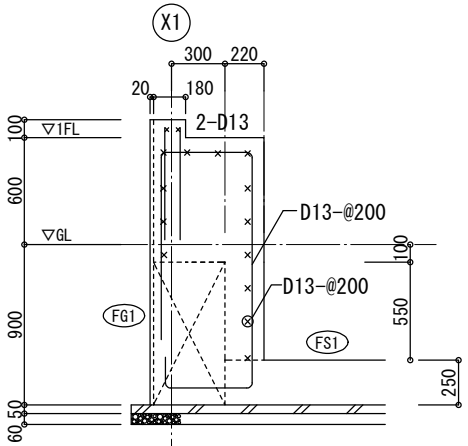
地中梁リスト 1/30

※幅止め筋は, D10-@1000とする。

符号	FG1	FG11
位置	全断面	全断面
断面		
寸法 (B×D)	400×800	400×800
上端筋	3-D22	3-D22
下端筋	3-D22	3-D22
あばら筋	□ -D13@200	□ -D13@200
腹筋	2-D10	2-D10
備考		

スラブリスト

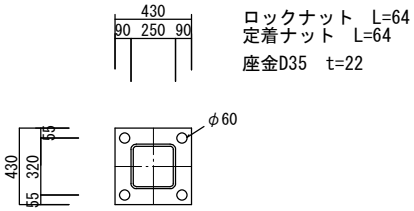
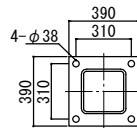
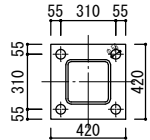
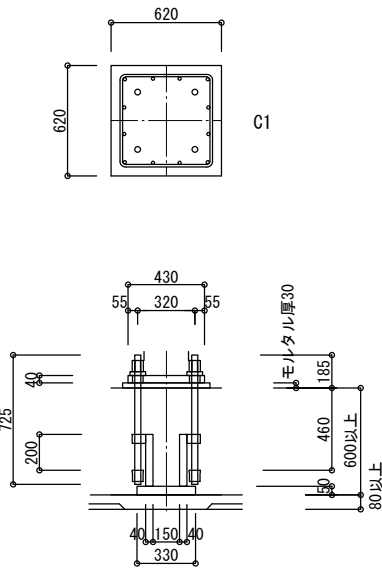
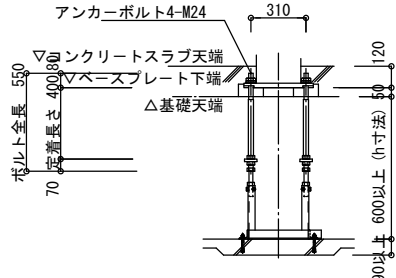
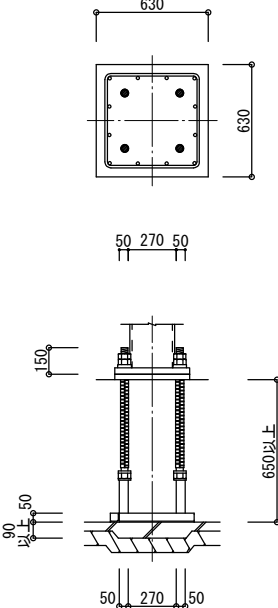
符号	厚さ	位置	短辺方向 (主力筋)	長辺方向 (配力筋)	位置	備考
cS1	150	上	D10- @150	D10- @200	EV 1 階床	
		下	D10- @150	D10- @200		
DS1	50+80	上	溶接金網 6 φ100×100		EV2～4階床	合成デッキ床
		下				
FS1	250	上	D13- @200	D13- @200	EV1' ット	四辺固定
		下	D13- @200	D13- @200		



梁打増し配筋図 1/30

鉄骨柱リスト 1/30

符 号		SC1	材 質
柱サイズ	4階	□-250×250×9×22. 5	BCR295
	2～3階	□-250×250×12×30	BCR295
	1階	□-250×250×12×30	BCR295

柱 脚 形 状		ベースプレート詳細図 1/30			
		J250-12K	EB250-4-24	25-12V	
					
		柱脚詳細図 1/30			
					
ベースプレート		430x430x40 (SN490B)	390x390x25 (SN490B)	420×420×36 (SN490B)	
アンカーボルト		4-D35 (SD490) L=725	4-M24 (HAB大臣認定品) L=400	4-M39 (BPM-SD490)	
柱 型	B×D	620×620	600×600	630×630	
	主筋	12-D19 (SD345)	8-D19 (SD345)	12-D19 (SD345)	
	帯筋	D13@150 (SD295A)	D13@150 (SD295A)	D13@100 (SD295A)	



設計に緑を



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日
2021. 6.

工事名
旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)
図面名 3号棟
EV増築 部材リスト(1)

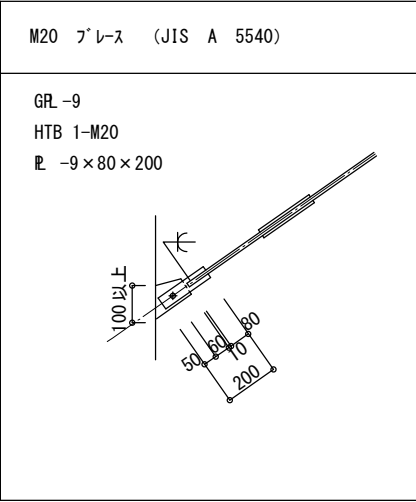
A 2版 100%
A 3版 71%
縮 尺 1/30

図面No
S-11

鉄骨部材リスト

※特記なき限り「アイフラム」プレートは、接するフランジ厚さの2倍以上とし、材種はSN490C材とする。
その他プレートは接合する部材の材質に同等とする。
※高力ボルトは露出部はF8T、その他はS10Tとする。

符 号	部材断面		接合部	備 考
SG24	H-244 x 175 x 7 x 11	(SN400B)	J1	
SG29	H-294x200x8x12	(SN400B)	J2	
cG24	H-244 x 175 x 7 x 11	(SN400B)		
cG29	H-294x200x8x12	(SN400B)		
SB15	H-150 x 150 x 7 x 10	(SS400)	GPL-9 H.T.B 2-M16	
SB20	H-200 x 100 x 5.5 x 8	(SS400)	GPL-9 H.T.B 2-M16	
水平ブレース	M20 ターンバックル付 (JIS A 5540)		GPL-9 H.T.B 1-M20	



継手リスト (1) 1/20

※スライスポレートは、SN400A材とする。
※高力ボルトはS10Tとする。

J1	H-244 x 175 x 7 x 11 (SN400B)				J3	□-250 x 250 x 12 (BCR295)	
形状							
フランジ	BOLT	16-M20 L=60	S. PL	外S. PL 2PL-9 x 175 x 290 内S. PL 4PL-9 x 70 x 290	GR-9はSS400とし、柱フランジ溶接終了後に切断し、グラインダー処理を行う。		
ウェブ		4-M20 L=55		2PL-9 x 140 x 170			

J2	H-294x200x8x12 (SN400B)						
形状							
フランジ	BOLT	24-M20 L=60	S. PL	外S. PL 2PL-9 x 200 x 410 内S. PL 4PL-9 x 80 x 410			
ウェブ		6-M20 L=55		2PL-9 x 200 x 170			

符 号		断 面		材 質	
SB15		H-150 x 150 x 7 x 10		SS400	
形 状					
GPL	BOLT	GR- 9		2-M16	
備 考					
符 号		断 面		材 質	
SB20		H-200 x 100 x 5.5 x 8		SS400	
形 状					
GPL	BOLT	GR- 9		2-M16	
備 考					



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士

1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者

1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第 4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面名

3号棟
EV増築 部材リスト(2)

A 2版 100%

A 3版 71%

縮 尺 1/20

図面No

S-12



設計に緑を

記事		 株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	構造設計者 1級建築士 登録 第248850号 構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也	設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No S-13
					2021. 6.	旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)	A 3版 71%	
						図面名 3号棟 EV増築 鉄骨詳細図	縮尺 1/30	

Y1通り鉄骨詳細図 1/30

X2

X1

柱梁仕口部詳細図 1/20

設計年月日	工事名	A 2 版	100%	図面 N o S-18
2021. 6.	旭町住宅 3 号棟耐震改修等工事(建築主体工事)	A 3 版	71%	
	図面名 3 号棟 型枠雪山柱脚工法標準図(4)	縮 尺	—	

ボーリング柱状図

調 査 名 市営旭町住宅2・3号棟耐震改修等設計業務委託地盤調査

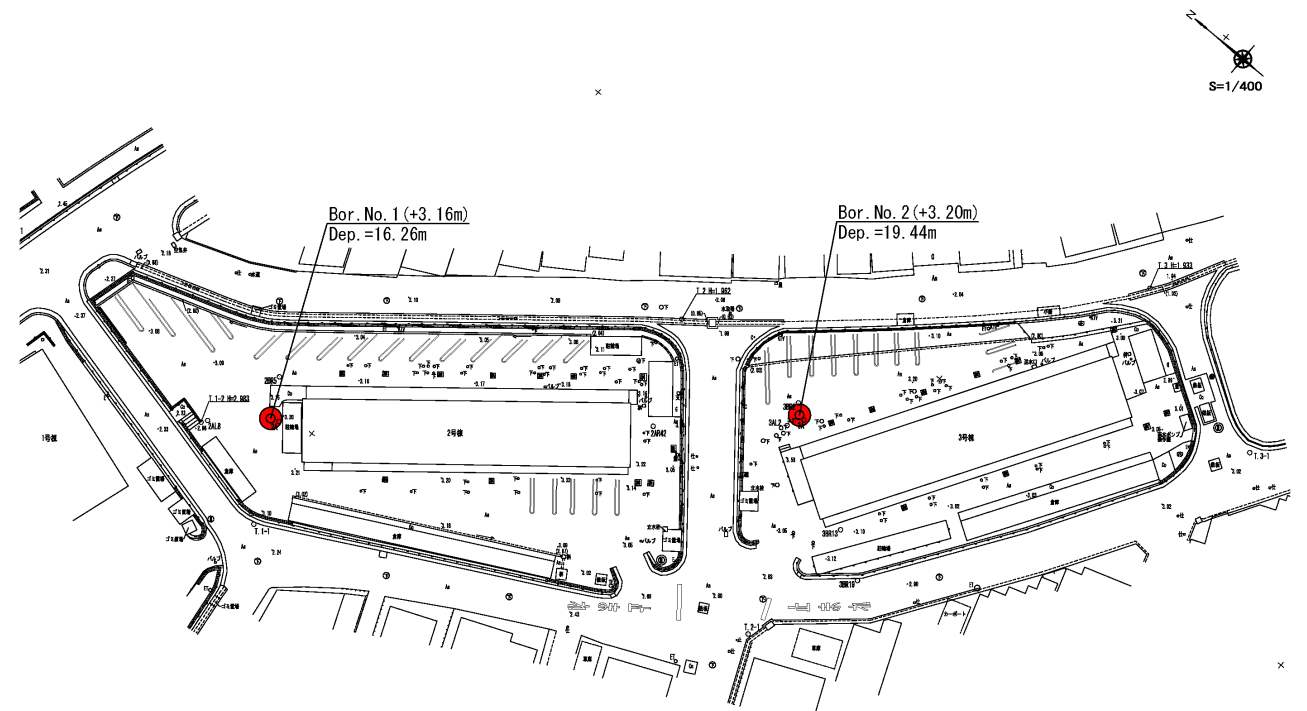
事業・工事名

ボーリングNo

ボーリング名	2		調査位置		広島県三原市旭町一丁目				北緯		34°23'58.85"				
発注機関	三原市				調査期間		2021年11月16日～2021年11月19日				東経		133°05'29.62"		
調査業者名	株式会社 車田建築設計事務所 電話(082-247-3434)			主任技師		福田 裕之		現代理人		山本 浩樹		ボーリング責任者		松本 貴志	
孔口標高	T.P.+3.20m		角				方				地盤勾配		使用機種		
総掘進長	19.00m		度				向				試験機		東邦 D1-C		
											ハンマー落下用風		半自動落下装置		
											ポンプ		東邦 BG-3C		
											エンジン		ヤンマー TF120V-E		

掘進 月日	室内試験 ()	採取 方法	深 度 (m)	試料 番号	試験 結果	原位置試験		標準貫入試験		孔内水位 (m) / 測定月日	地質		相対 密度	相対 稠度	色	柱状	層厚 (m)	掘 尺 (m)
						深 度 (m)	試 験 名 お よ び 結 果	深 度 (m)	打撃回数 10cm毎の 打撃回数		土質 区分	事						
1		P1								1.15	5	7	17				2.20	1.00
2		P2								2.15	12	1	14				1.50	1.00
3		P3								2.52	12	1	15				0.30	1.20
4		P4								3.65	1	1	20				0.90	1.20
5		P5								3.94	3	3	11				0.90	5.00
6		P6								4.46	3	3	11				3.50	1.70
7		P7								5.15	1	1	15				4.40	0.90
8		P8								5.45	1	1	15				7.60	7.60
9		P9								6.15	1	1	15				7.60	7.60
10		P10								6.53	1	1	15				7.60	7.60
11		P11								7.15	4	4	5				7.60	7.60
12		P12								8.15	7	8	5				7.60	7.60
13		P13								8.45	7	8	5				7.60	7.60
14										9.15	4	3	10				7.60	7.60
15										9.45	3	12	8				7.60	7.60
16										10.15	12	10	12				7.60	7.60
17										10.45	12	10	12				7.60	7.60
18										11.15	3	4	8				7.60	7.60
19										11.45	8	10	9				7.60	7.60
20										12.45	7	10	9				7.60	7.60
21										13.15	7	10	9				7.60	7.60
22										13.45	17	27	9				7.60	7.60
23										14.15	16	60	60				7.60	7.60
24										14.44	17	27	9				7.60	7.60
25										15.15	18	31	3				7.60	7.60
26										15.38	19	4	60				7.60	7.60
27										16.15	41	4	60				7.60	7.60
28										16.24	24	60	17				7.60	7.60
29										17.15	36	7	60				7.60	7.60
30										17.32	16	20	24	60			7.60	7.60
31										18.15	16	20	24	60			7.60	7.60
32										18.43	19	20	21	60			7.60	7.60
33										19.15	19	20	21	60			7.60	7.60
34										19.44	19	20	21	60			7.60	7.60

▽設計GL (T. P+3. 0m)



ボーリング位置図 1/150



設計に緑を

株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第 4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名	
-----	--

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

	図面名
--	-----

3号棟
ボーリング柱状図

A 2 版	100%
A 3 版	71%

縮尺
1/120、1/150

圖面 N.º

S-19

特記仕様書(構造関係)

8
耐震
改修
工事
共通
事項

①
適用範囲

※改修標準仕様書 第8章 耐震改修工事
・改修標準仕様書において第8章耐震改修工事以外の改修工事で第8章を引用している部分

工事内容
○現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・鉄骨ブレースの設置工事
・柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)
・柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法)
・連続繊維補強工事
○耐震スリット新設工事
・免震改修工事
・制振改修工事
・土工事及び地業工事
・EXP-J拡張工事

②
既存部分の処理等

既存構造体の撤去
撤去範囲
※構造図による
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置
※露出部分は、錆止め塗料塗りをを行う
既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度及び範囲
既存柱、梁面
※打継ぎ面の15～30%程度に、平均深さ 2～5mm (最大7mm) 程度の凹凸処理を施す。
※構造図による
既存壁
※打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ 2～5mm (最大7mm) 程度の凹凸処理を施す。
※構造図による
既存杭の撤去等
・撤去範囲及び撤去方法 ※構造図による
・杭頭部の処理 ※構造図による
・既存杭の補強 ※構造図による
・既存杭の健全性を確認する試験 ※構造図による

8-1
鉄筋
工事

①
鉄筋

鉄筋の種類等
種類
※ SD295A
※ SD345

2
溶接金網

鉄線の形状等
種類
※ 溶接金網
・鉄筋格子

③
鉄筋の継手及び定着

鉄筋の継手の方法等
部位
柱、梁の主筋
耐力壁の鉄筋
その他の鉄筋

④
鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む)

最小かぶり厚さ
※改修標準仕様書 表8.3.6による
・軽量コンクリートを適用する場合
適用箇所
・最小かぶり厚さに加える厚さ
・耐久性上不利な箇所がある場合(塩害を受けるおそれのある部分等)
適用箇所
・最小かぶり厚さに加える厚さ

5
圧接完了後の圧接部の試験

超音波探傷試験
※行う (全圧接部)

6
機械式継手

適用箇所
※構造図による
H12建告第1463号に適合する性能
※A級
機械式継手の種類、鉄筋相互のあき、施工完了後の継手部の試験、不合格となった継手部への措置
※構造図による

7
溶接継手

適用箇所
※構造図による
H12建告第1463号に適合する性能
※A級
溶接継手の工法、鉄筋相互のあき、溶接完了後の溶接部の試験、不合格となった溶接部への措置
※構造図による

⑧
割製補強筋

仕様
※構造図による

8-2
コンクリート
工事

①
コンクリートの種類

コンクリートの類別
※Ⅰ類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート)
・Ⅱ類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)

②
コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度等

※普通コンクリート
設計基準強度 (N/mm²) スラブ (cm) 気乾単位容積質量 (t/m³) 適用箇所
・24
○27
・改修標準仕様書表8.1.21による
2.3程度
構造図による
構造体強度補正值 ※改修標準仕様書表8.2.41による
・構造図による
・軽量コンクリート
設計基準強度 (N/mm²) スラブ (cm) 気乾単位容積質量 (t/m³) 種類 適用箇所
※21
・1種 ・2種
構造図による

③
セメント

種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g 以下、かつ28日目で 402J/g 以下のものとする
・高炉セメントB種 適用箇所
・フライアッシュセメントB種 適用箇所

④
骨材

アルカリシリカ反応性による区分
※A・B

⑤
混和材料

○混和剤
混和剤の種類
※改修標準仕様書 8.2.5(4)(a)による
・構造図による
・混和材
混和材の種類
※改修標準仕様書 8.2.5(4)(b)による
・構造図による

6
構造体用モルタル

圧縮強度
フロー値

7
暑中コンクリート

構造体強度補正值 ※6N/mm²
・構造図による

8
マスコンクリート

適用箇所
※構造図による
セメントの種類
・普通ポルトランドセメント
・中熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・シリカセメント
・
混和材料
・混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(7)による
・構造図による
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(4)による
・構造図による
スラブ
※15cm
・
構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.13.11による
・構造図による

9
無筋コンクリート

コンクリートの種類
※普通コンクリート
設計基準強度
※18N/mm²
スラブ
※15cm又は18cm
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
適用箇所
※構造図による

10
流動化コンクリート

適用箇所
※構造図による

⑪
構造体コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ
※意匠図による
コンクリートの仕上りの平たんさ
※意匠図による

⑫
打増し厚さ(打放し仕上げ部)

・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
○20mm
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
○10mm
・20mm
・外装仕様後張り面の打増し処理
・20mm
・床型枠用鋼製デッキプレート梁側面部の打増し処理
プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行う
・10mm
・20mm

⑬
型枠

せき板の材料及び厚さ
※合板
厚さ ※12mm
・メッシュ型枠 (使用部位
※構造図による)
・床型枠用鋼製デッキプレート (施工範囲
※構造図による)
・断熱材を兼用した型枠材
使用箇所
※構造図による
・M C R工法用シート
適用箇所
※構造図による
打増し厚さ
・20mm
打増し範囲
※構造図による

⑭
型枠の加工及び組立

シアコネクタをセパレーターとして使用
使用箇所
※構造図による

⑮
コンクリートの打込み工法等

コンクリートの打設工法の種類
補強工法 打設工法 部位
○現場打ちコンクリート壁の増設工事
・圧入工法
・柱補強工事 (溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法)
・流込み工法
・圧入工法
鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等
柱頭及び柱脚の隙間の寸法
※構造図による
柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠
・発泡プラスチック保温材等を埋込む
※構造図による
既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造体用モルタルの厚さ
※構造図による
補強後の仕上げ
※構造図による

8-3
鉄骨
工事

1
鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力
※建築基準法 第60条の23に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場
()グレード以上
・監督職員の承諾する工場

2
鉄骨製作工場における施工管理技術者

・適用する
・適用しない

3
鋼材

種類等
種類の記号 適用箇所 (主要な部分) 規格
※JIS規格による
※JIS規格による
※JIS規格による
※JIS規格による
※JIS規格による
※JIS規格による

4
高力ボルト

高力ボルトの種類
※トルシア形高力ボルト 2種 (S10T)
・JIS形高力ボルト 2種 (F10T)
・
ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等
※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 線端距離及びボルト間隔
・構造図による
摩擦面の処理方法
※自然発錆 (黒皮等を除去した後に自然放置して表面に赤さびが発生した状態)
・ブラスト処理 (表面粗度50μmRz以上)
・すべり試験の種類
※すべり係数試験
試験方法等
※構造図による

5
溶融亜鉛めっき高力ボルト

セットの種類
※1種 (F8T) 相当
ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等
※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 線端距離及びボルト間隔
・構造図による
摩擦面の処理方法等
※ブラスト処理 (表面粗度50μmRz以上) 又はりん酸塩処理
・構造図による

6
普通ボルト

ボルト及びナット
※標準仕様書 表7.2.3 (JIS附属書品) 又は次による
ボルトの規格は、JIS B 1180とする。ボルトの規格を呼び径六角ボルト又は全径六角ボルトとし、材料は鋼とする。ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。ナットの規格は、JIS B 1181とする。ナットの種類は、六角ナット-Cとし、材料は鋼とする。
座金
※JIS B 1256による
・構造図による
ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等
※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-1 線端距離及びボルト間隔
・構造図による
母屋又は鋼線の取付けに使用するボルトの孔径
※ねじの呼び径+1.0mm
・構造図による

7
アンカーボルト

・構造用アンカーボルト
セットの種類 (JIS B1220)
・ABR400
・ABR490
・
・建方用アンカーボルト
種類
・SS400
・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書 表7.2.3による
・構造図による
ボルトの線端距離、ボルト間隔、ゲージ等
※構造図による

8
溶接材料

溶接材料
・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による
・構造図による

記事

設計に緑を

株式会 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日
2021.6.

工事名
旭町住宅3号棟耐震改修工事(建築主体工事)

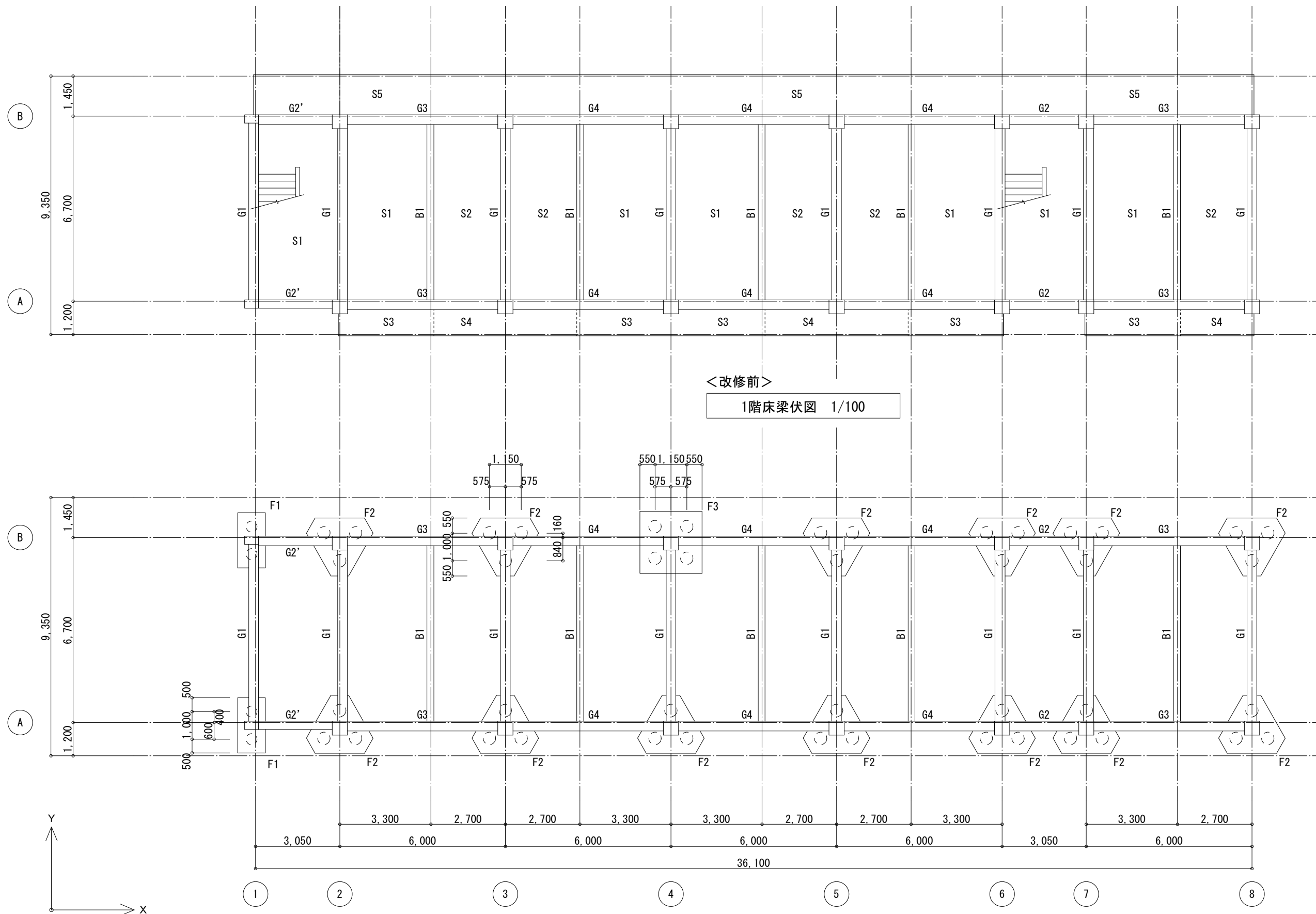
図面名
3号棟
建築改修工事特記仕様書(8)

A2版 100%
A3版 71%
縮尺 -

図面No
S-20

8-3 鉄骨工事	1	スタッド	[8.2.11]	種類等 呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所 JIS B1198 (頭付きスタッド)	種類、材料、工法等 種類 材料・工法 性能 (耐火時間) 適用箇所 (部位・部分) 耐火材吹付け 耐火材張り 耐火材巻付け ラス張りモルタル塗り 耐火塗料	[8.18.2-8]	8-5 グラウト工事	①	柱底均しモルタル及びグラウト材	・柱底均しモルタル ※無収縮モルタル ・グラウト材 無収縮グラウト材の材質等 混和材 セメント 砂 無収縮グラウト材の品質及び試験方法	[8.2.12] [8.2.11]	8-8 土工事及び地業工事	1	埋戻し及び盛土	埋戻し及び盛土の材料及び工法 ※改修標準仕様書 8.28.3(2)(y)(b)表8.28.1による ・材料 () 工法 ()	[8.28.3]		
	2	製作精度	[8.13.3]	鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6 [鉄骨精度検査基準]に加えて、次による 通しダイアグラムの突合せ継手の食い違いの寸法 ・H12建告第1464号第二号イ(2)による ・構造図による アンダーカットの寸法 ・H12建告第1464号第二号イ(3)による ・構造図による 食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・構造図による	・耐火材吹付け ・耐火材張り ・耐火材巻付け ・ラス張りモルタル塗り ・耐火塗料		9	アンカーボルト等の設置等	構造用アンカーボルトの形状及び寸法 ※構造図による 構造用アンカーフレームの形状及び寸法 ※構造図による 建方用アンカーボルトの形状及び寸法 ※構造図による 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 種別 ・A種 ・B種 柱底均しモルタル厚さ及び工法の種別 厚さ () 種別 ※A種 ・B種	(7.10.3) (7.10.3) (7.10.3) (7.10.3)	3	杭地業	支持層の位置及び土質 (基礎ぐいの先端位置含む) ※構造図による 杭の材料、工法、寸法、施工方法等 ※構造図による ・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 ※構造図による ・杭の継手の箇所数、材料、工法等 ※構造図による ・杭の溶接継手 技能資格者の技量 ※構造図による 溶接部の確認 ※構造図による ・杭頭を処理する 処理方法 (切断にともなう補強方法含む) ※構造図による ・杭頭の中詰め材料 ・基礎のコンクリートと同調合のもの 杭の精度 水平方法の位置ずれ 杭の傾斜 記録する施工状況等 ※構造図による	[8.28.3] [8.28.4] [8.2.14][8.28.4] [8.28.4] [8.2.14] [8.28.4] (4.3.7) [8.28.4] [8.28.4]				
	3	溶接技能者の技量付加試験	[8.15.3]	試験の要領 ※構造図による			10	鉄骨ブレース設置後の仕上げ	※意匠図による	[8.22.9]	試験方法 1) NEXO試験方法 試験法 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。		4	砂利地業	材料 ・再生クラッシャー ・切込砂利又は切込砕石 砂利厚さ ※60mm	[8.2.15] [8.28.4]		
	4	溶接接合	[8.15.4] [8.15.7]	開先の形状 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-2 ・エンドタブの切断する部分 切断する箇所 ※構造図による 切断する範囲 ※構造図による ・エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線上に切断する。 なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する 切断面の仕上げ ※改修標準仕様書8.15.7(1)(a)(b)②による ・構造図による	・A種 ・B種 柱底均しモルタル厚さ及び工法の種別 厚さ () 種別 ※A種 ・B種	(7.10.3)	8-6 連続繊維補強工事	1	連続繊維シート	連続繊維の材料 ・炭素繊維 ・アラミド繊維 ・ () 引張強度 (含浸硬化後) ・ () N/mm ² ヤング係数 (含浸硬化後) ・ () N/mm ² ・下地処理 ・ひび割れ部改修 範囲 ※構造図による 種類 ※構造図による ・柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ ※構造図による 連続繊維補強材の強度試験 ・引張強度試験 ※JIS A 1191 (コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法) による ・構造図による 試験数量 ※構造図による	[8.2.13] [8.2.13] [8.24.6] [8.24.6] [8.24.6] [8.24.6]	5	捨コンクリート地業	捨コンクリートの厚さ ※50mm コンクリートの種類 ※普通コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm ² スランプ ※15cm又は18cm	[8.28.4] [8.11.1] [8.11.1]			
	5	入熱、バス間温度の溶接条件		鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ※構造関係共通事項 (鉄骨標準図) 1-4 ・構造図による 適用箇所 ※柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 ・構造図による	① あと施工アンカー 材料等 ○接着系アンカー アンカーの種類 接着剤の品質 ○有機系 ・無機系 アンカー筋の径及び埋込み長さ ※構造図による アンカー筋の種類 ・ () アンカー筋の新設壁内への定着の長さ ※構造図による ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ※構造図による	[8.2.4]	2	仕上げ	補強工事後の仕上げ ※構造図による	[8.24.7]								
	6	溶接部の試験	[8.15.12]	平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等 ・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2 受入検査による ・抜き取り検査① ※抜き取り検査② JASS 6 付則6 [鉄骨精度検査基準]の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・JASS 6 付則4 [受入検査]e 溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不適合箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・工場溶接の場合 ※全数 ・工場現場溶接の場合 ※全数	・金属系アンカー アンカー本体の径及び埋込み長さ ※構造図による セット方式 ※本体打込み式改良型 接合筋の種類、径、長さ ※構造図による ・性能確認試験 試験方法及び試験数 ※構造図による		8-7 耐震スリット新設工事	①	スリットの方式、幅及び深さ	方式 ・完全 ○部分 幅及び深さ ※構造図による 設置箇所 ※構造図による	[8.25.2]							
	7	錆止め塗装	[8.17.2] [8.17.4]	塗料の範囲 ・耐火被覆材の接着する面の塗装 範囲 ※構造図による ・耐火被覆材の接着する面以外の塗装 範囲 ※標準仕様書 8.17.2 (7)～(4)以外 ・構造図による 塗料種別 下記以外の鉄鋼面は、18章「塗装工事」による ・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別 ※A種 ・B種 ・耐火被覆材が接着する面の塗料の種別 ・ ()	② 穿孔 埋込み配管等の探査方法 ※鉄筋探知器 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつり出しによる ・ () ③ 施工確認試験 試験方法 ※引張試験機による引張試験 確認強度 ※構造図による ④ 施工管理技術者 (社) 日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー技術管理士」の資格以上の能力を有する者とする。	[8.12.4] [8.12.7] [8.12.1]	②	スリットの施工前の埋め込み配管等の調査	既存撤去部の埋込み配管等の探査方法 ※鉄筋探査機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・はつりだしによる	[8.12.4]	③	スリット充填材の挿入及び周囲補修等	○耐火材 使用箇所及び仕様 ※構造図による ・遮音材 使用箇所及び仕様 ※構造図による 撤去部の補修 ※撤去材と同一材で補修 ・構造図による	[8.25.2] [8.25.2] [8.25.2]				

設計に緑を



<改修前>

1階床梁伏図 1/100

<改修前>

基礎伏図 1/100

特記無きは下記による。

1. F1の基礎は、PCパイル400φ（4本） L=15,000
2. F2、F3の杭は、PCパイル450φ（43本） L=15,000
打込工法・・・無騒音、無振動、ケーシング工法



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面名

3号棟
改修前 基礎伏図、1階床梁伏図

A 2版 100%

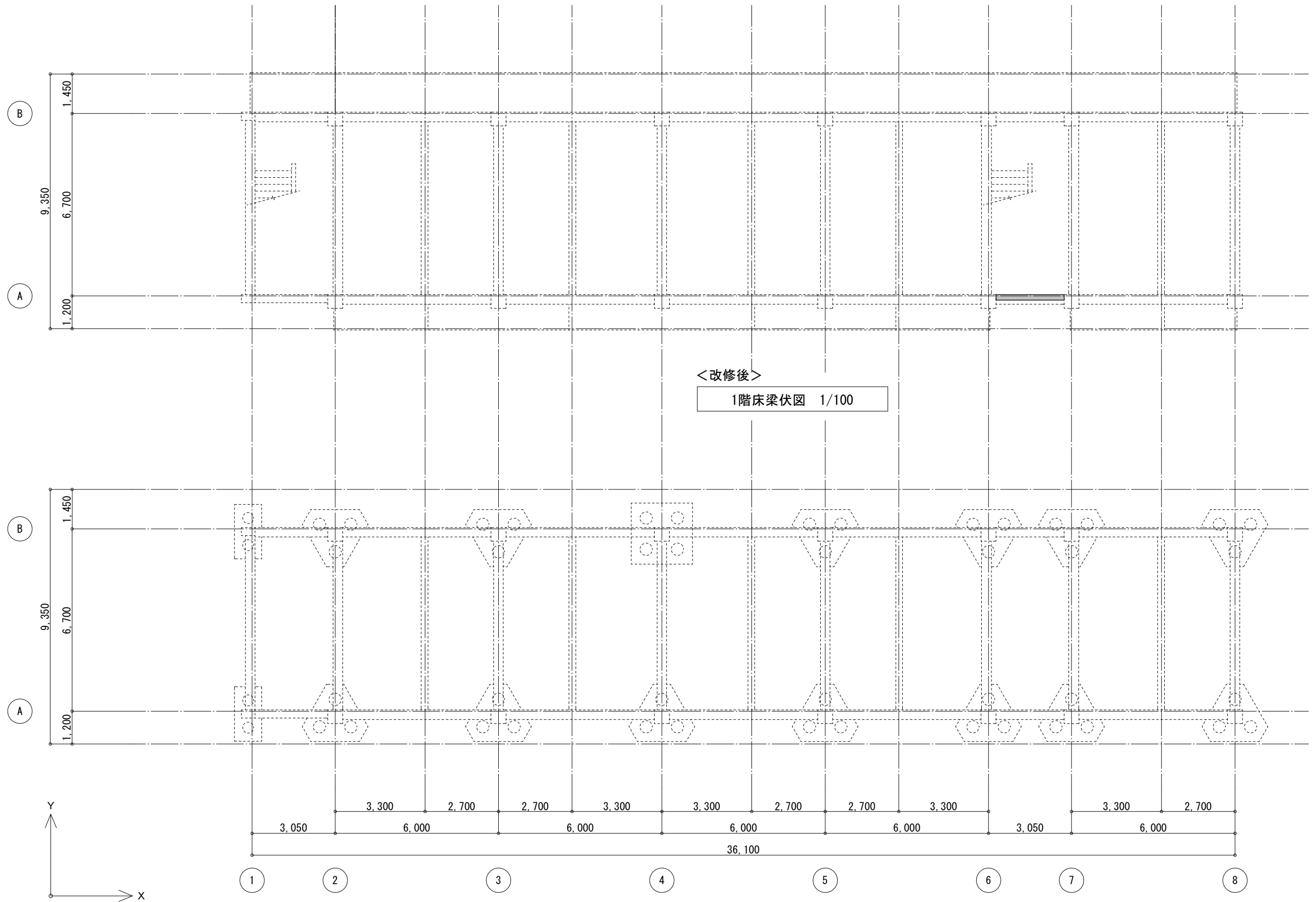
A 3版 71%

縮尺

1/100

図面No

S-22



<改修後>

1階床梁伏図 1/100

<改修後>

基礎伏図 1/100



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面名

3号棟
改修後 基礎伏図、1階床梁伏図

A 2版 100%

A 3版 71%

縮尺 1/100

図面No.

S-23



<改修前>
2階柱壁3階梁床伏図 1/100

特記無きは下記による。

1. 壁は、W10とする。
2.  は、コンクリートブロック壁を示す。

<改修前>
1階柱壁2階梁床伏図 1/100



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

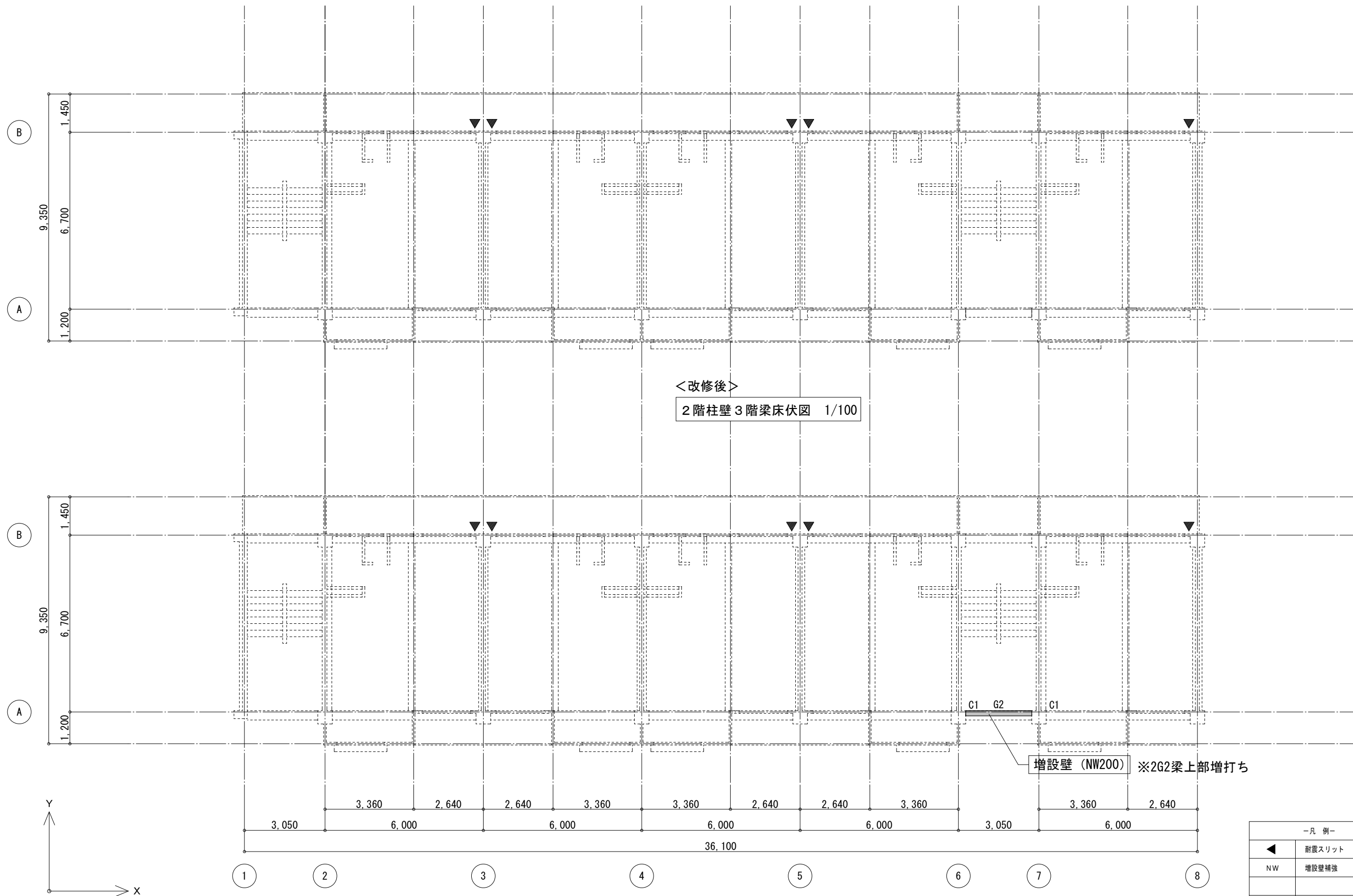
構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日
2021. 6.

工事名
旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)
図面名
3号棟
改修前 1.2階柱壁2.3階梁床伏図

A 2版 100%
A 3版 71%
縮尺
1/100

図面No.
S-24



ー凡 例ー	
◀	耐震スリット
NW	増設壁補強



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面名

3号棟
改修後 1.2階柱壁2.3階梁床伏図

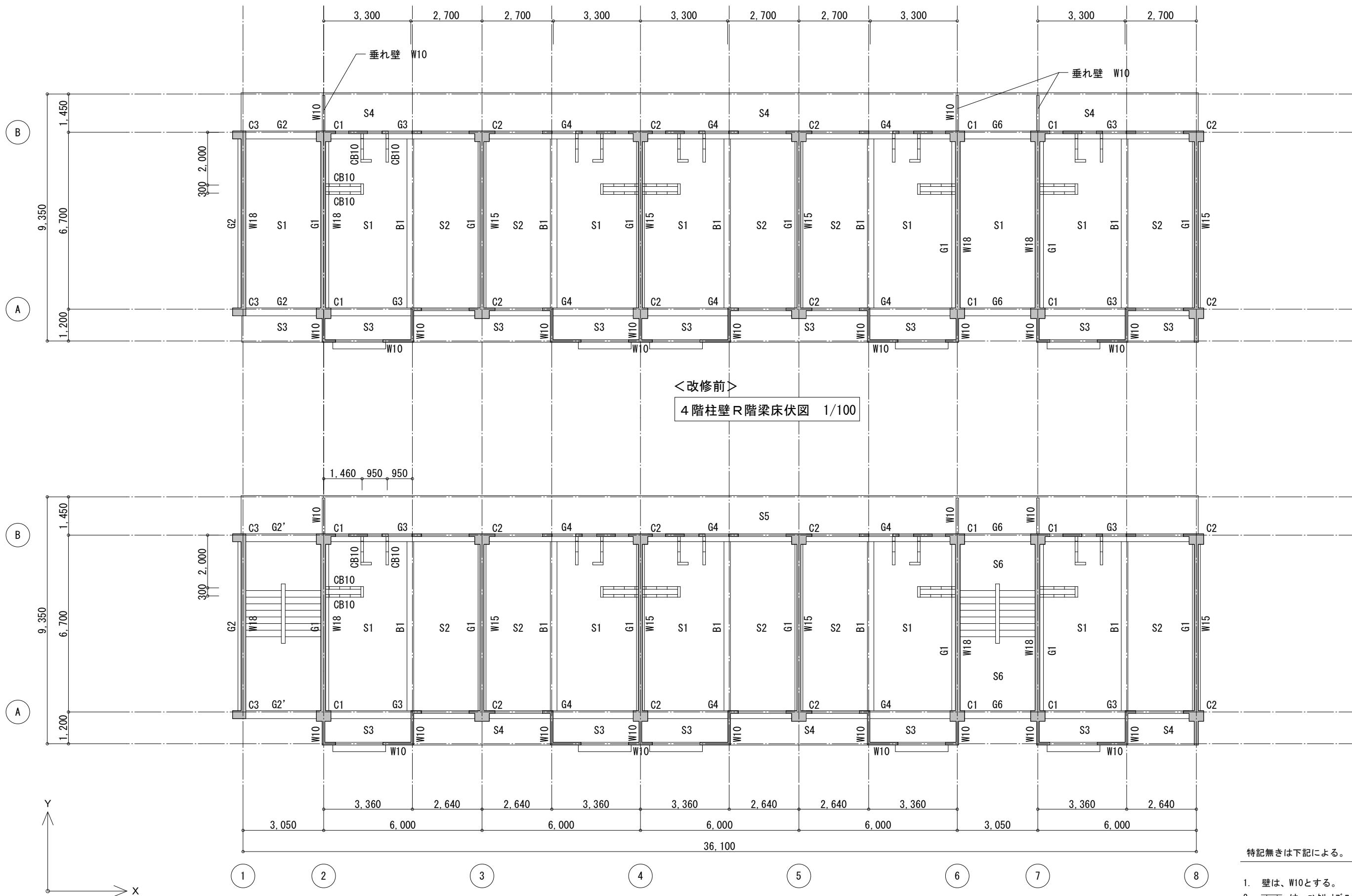
A 2版 100%

A 3版 71%

縮 尺 1/100

図面No

S-25



特記無きは下記による。

- 壁は、W10とする。
- は、コンクリートブロック壁を示す。



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

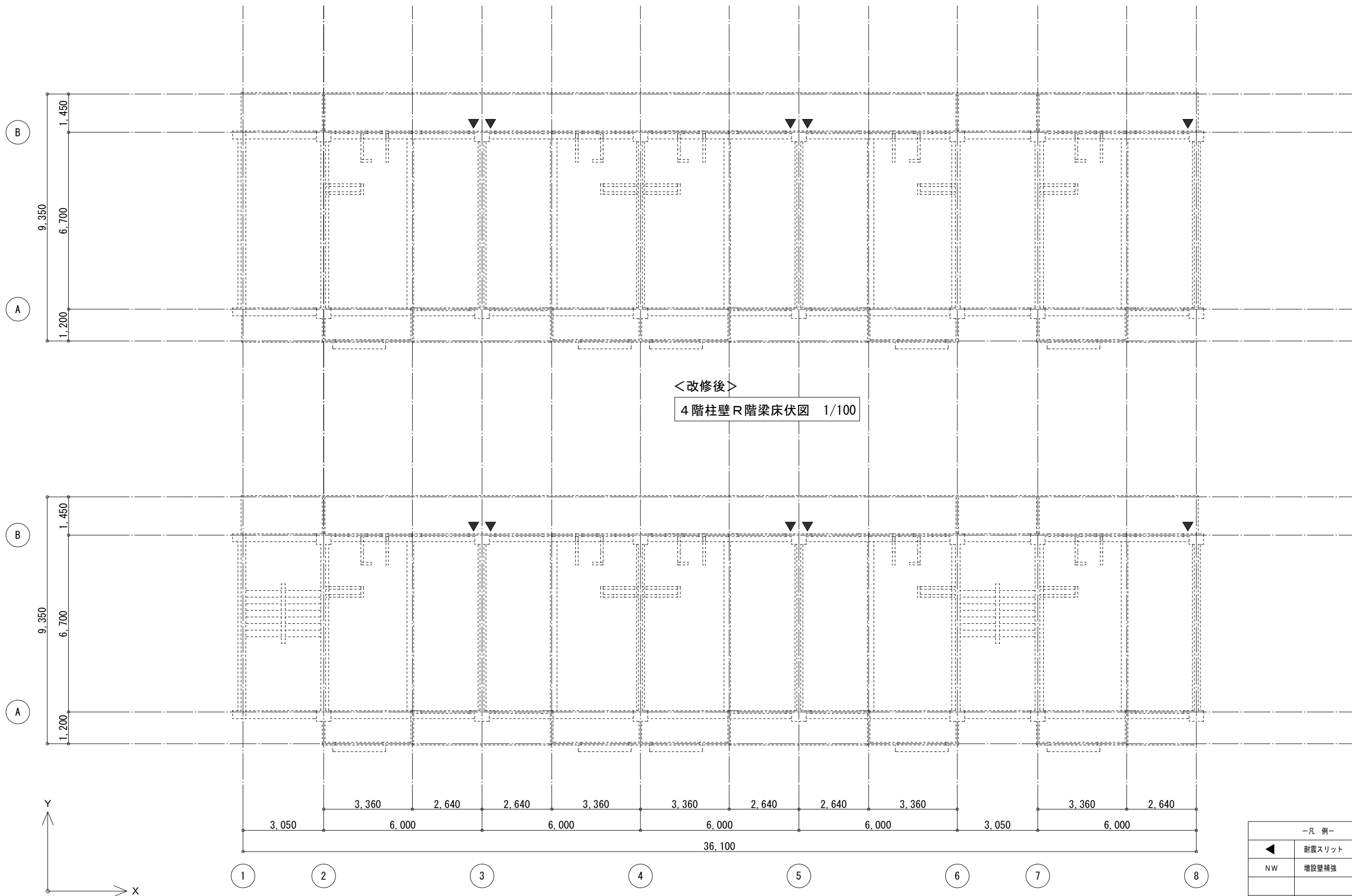
構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日
2021. 6.

工事名
旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)
図面名
3号棟
改修前 3.4階柱壁4.R階梁床伏図

A 2版 100%
A 3版 71%
縮尺
1/100

図面No.
S-26



＜改修後＞
4階柱壁R階梁床伏図 1/100

＜改修後＞
3階柱壁4階梁床伏図 1/100

ー凡 例ー	
◀	耐震スリット
NW	増設壁補強



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面名

3号棟
改修後 3.4階柱壁4.R階梁床伏図

A 2版 100%

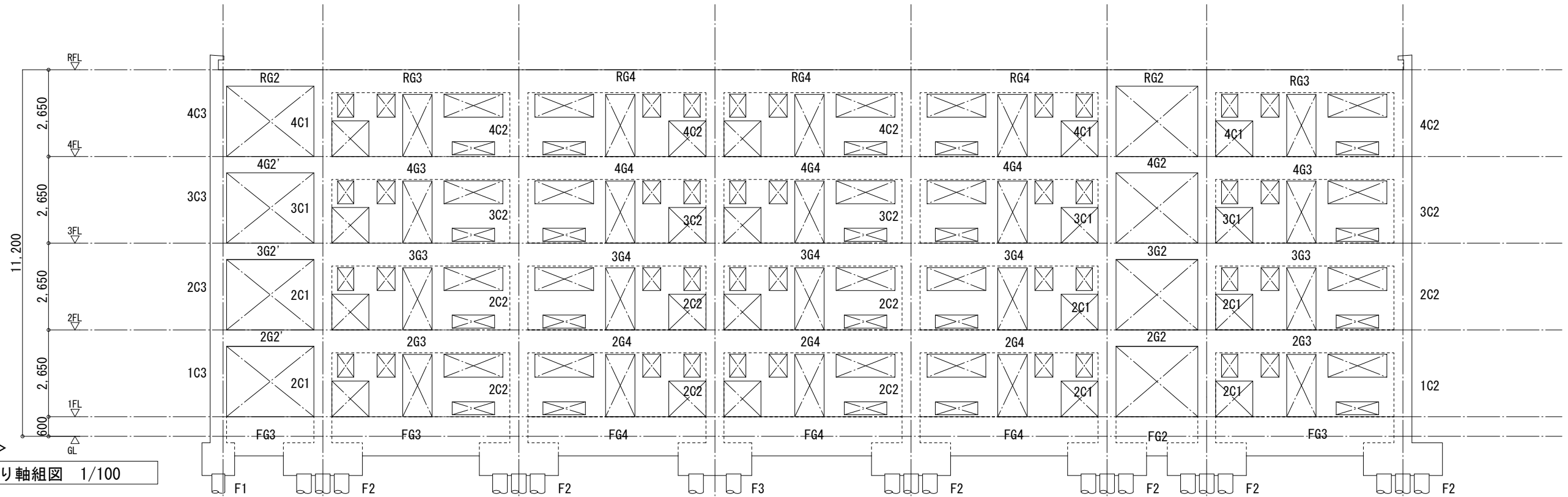
A 3版 71%

縮 尺 1/100

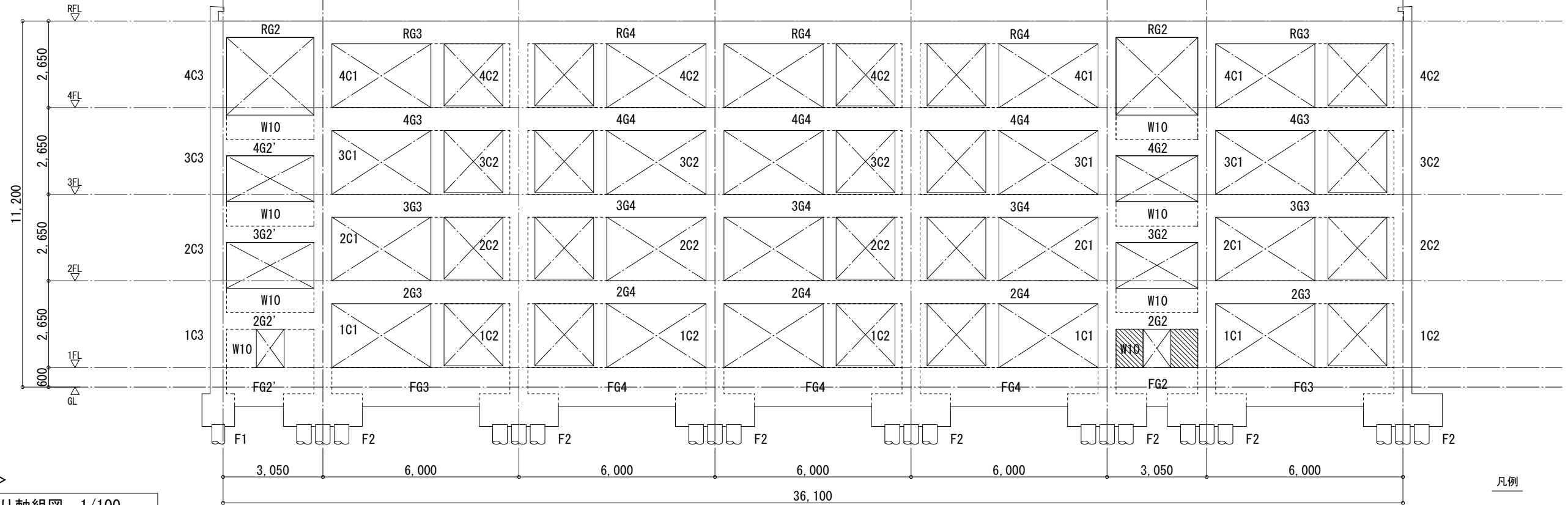
図面No.

S-27

<改修前>
B通り軸組図 1/100



<改修前>
A通り軸組図 1/100



凡例
撤去部分を示す。



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

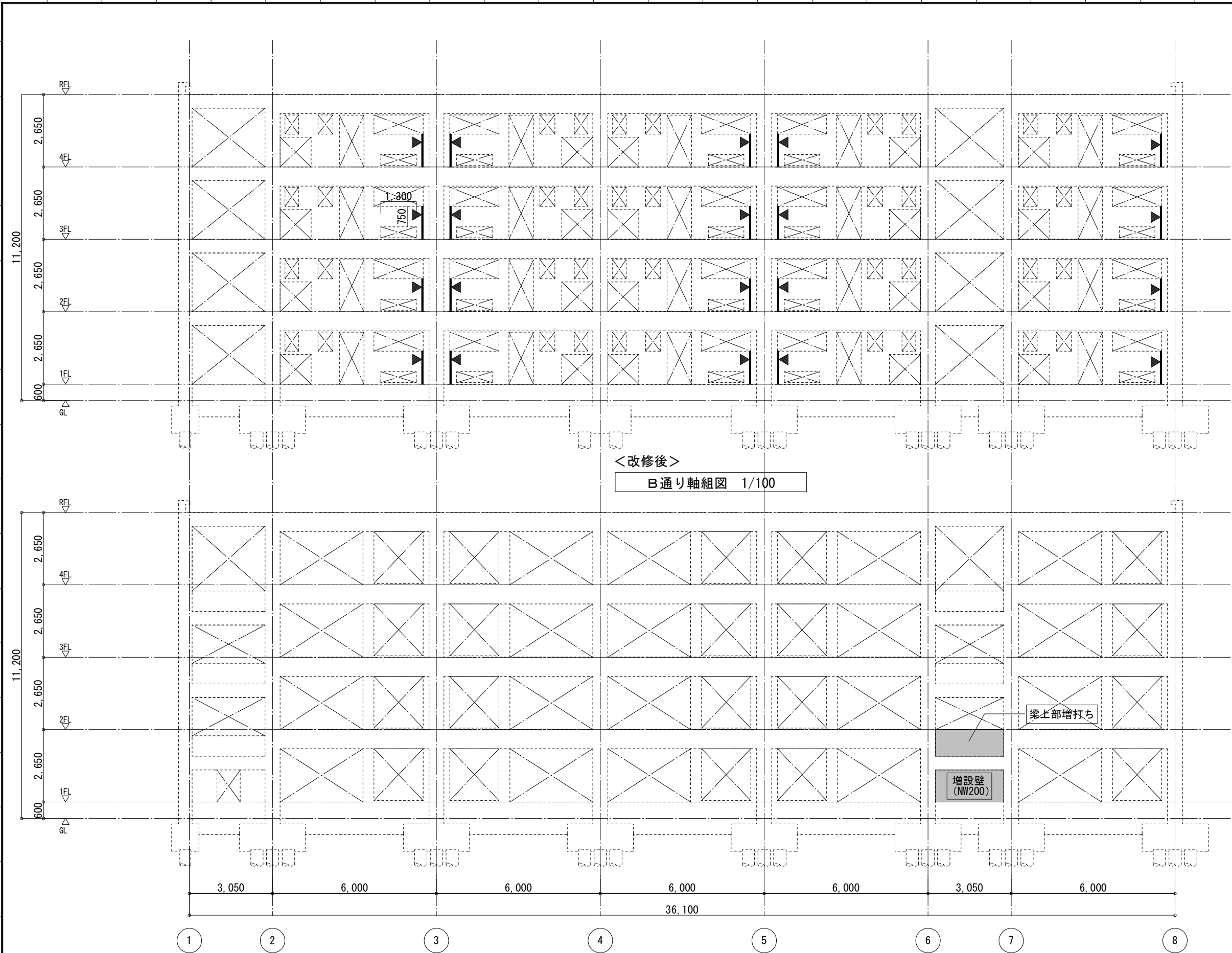
構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第4097号 浜口 修也

設計年月日
2021. 6.

工事名
旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)
図面名
3号棟
改修前 軸組図-1

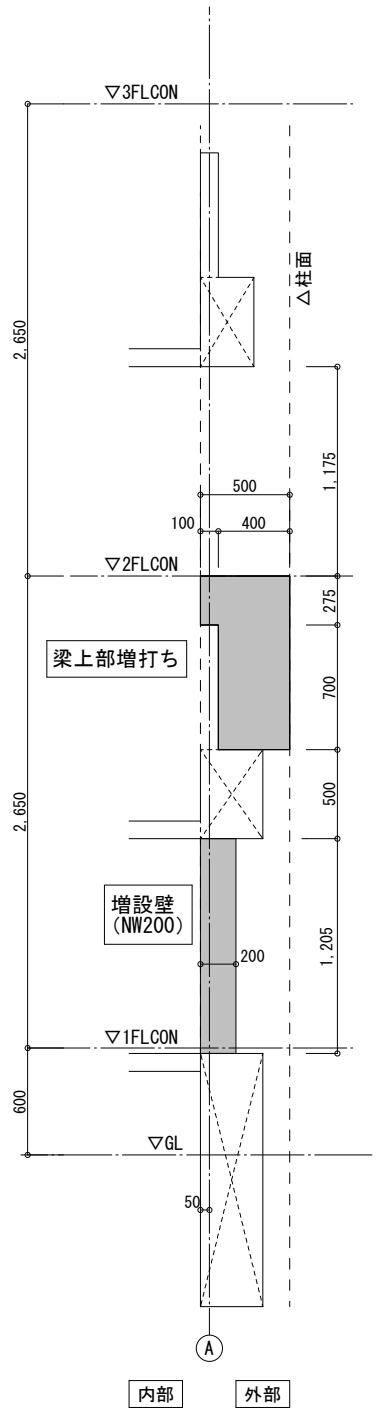
A 2版 100%
A 3版 71%
縮尺
1/100

図面No.
S-28



一凡 例一

耐震スリット
(ノンピック工法同等工法)



あと施工スリット工事特記仕様書

1. 適用範囲	柱と壁、壁と梁との接合部にスリットを設ける工事に適用する。
2. 工法	ノンピック工法 同等工法 (株) ロンビックジャパン TEL : 03-5332-6791
3. 施工計画	工事の着手に先立ち、施工計画を作成して、監督員に提出する。
4. 施工管理	本施工に関しては、ノンピック工法研究会が実施するNP工法認定技能者試験に合格し、十分な知識と経験を有した技能者が行う
5. 使用機械	特殊ビット付専用切削機 NP-252

6. 使用材料

1-二次シール付耐火スリット材
(ISO834-1による耐火性能試験合格品)

《スリット材》

2-錆止め剤 JIS K5674

(株) ロンビックジャパン製

《耐火試験成績表》

＜ノンピック工法施工手順＞

- ①墨出しの確認

②簡易水養生

③切削作業

④検査

⑤錆止めの塗布

⑥スリット材充填

⑦仕上がりシーリング
工事(オプション)

・切削する墨の位置、カット寸法を確認する。

・スリット位置周辺をガムテープ、ビニール等で養生する。

・機械取り付け用アンカーを打設し、ガイドレールを取り付ける。
・特殊ビット付専用切削機により、端部の穿孔と溝部全幅の切削作業を行う。

・切削作業終了後、切削幅、深さ、長さを監視者とともに確認する。

・切断鉄筋の及び露出鉄筋の位置を検査用マグネット等を使用し、錆止めを行う。

・プライマー処理
・二次シール付耐火スリット材を既存躯体に圧着する。

・カット幅にあったバックアップ材を挿入し、マスキングテープで壁面を養生する。

・プライマー処理
指定のシーリング剤を2面接着になるように充填し、ヘラで仕上げる。

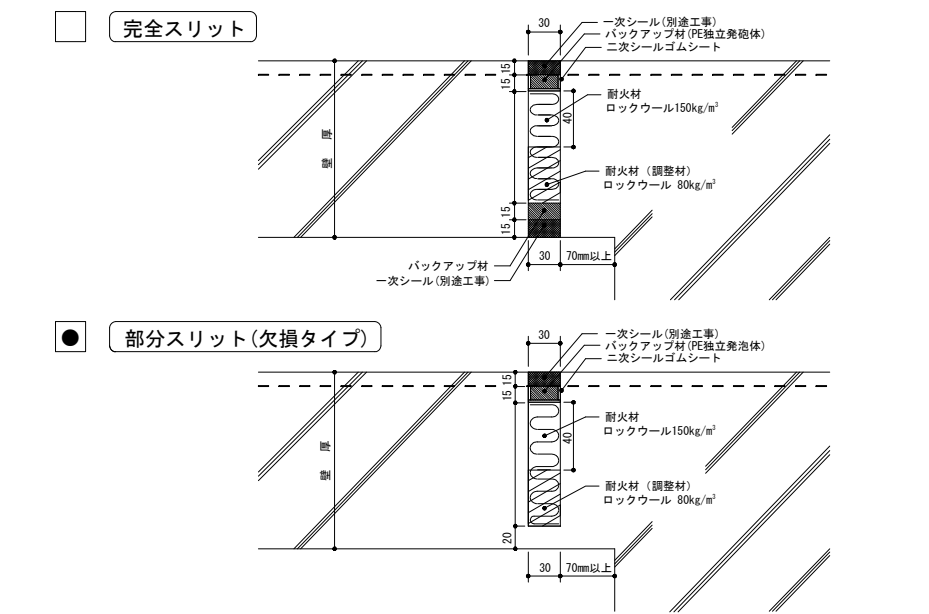
＜詳細＞

- a. スリット幅 30 mm

c. 掘り込み深さ(仕上げ含) mm

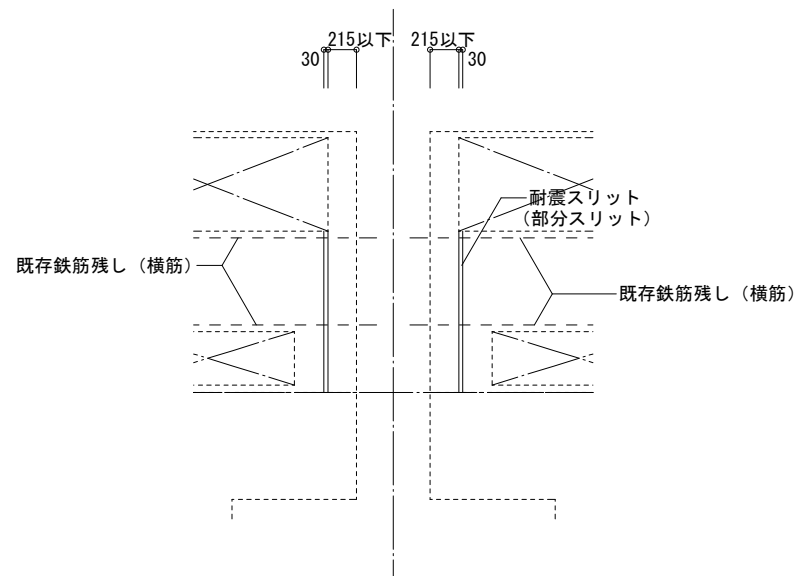
b. 壁厚(仕上げ含) mm

d. 既存鉄筋は切断 ☒ する ☐ しない
- 備考:



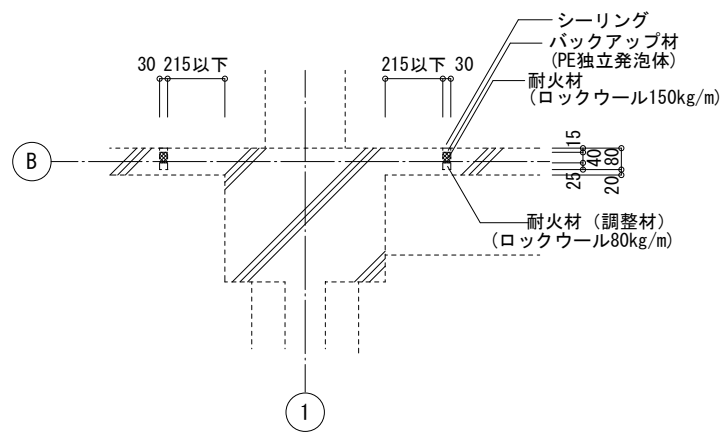
設計に緑を

記事			株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	構造設計者 1級建築士 登録 第248850号 構造1級建築士 登録 第 4097号 浜口 修也	設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面N o S-30
						2021. 6.	旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)	A 3版 71%	
							図面名 あと施工スリット工事特記仕様書	縮 尺 1/100	



耐震スリット詳細図 S=1/40

※窓サッシ際までコンクリート片は、斫りおとすこと。

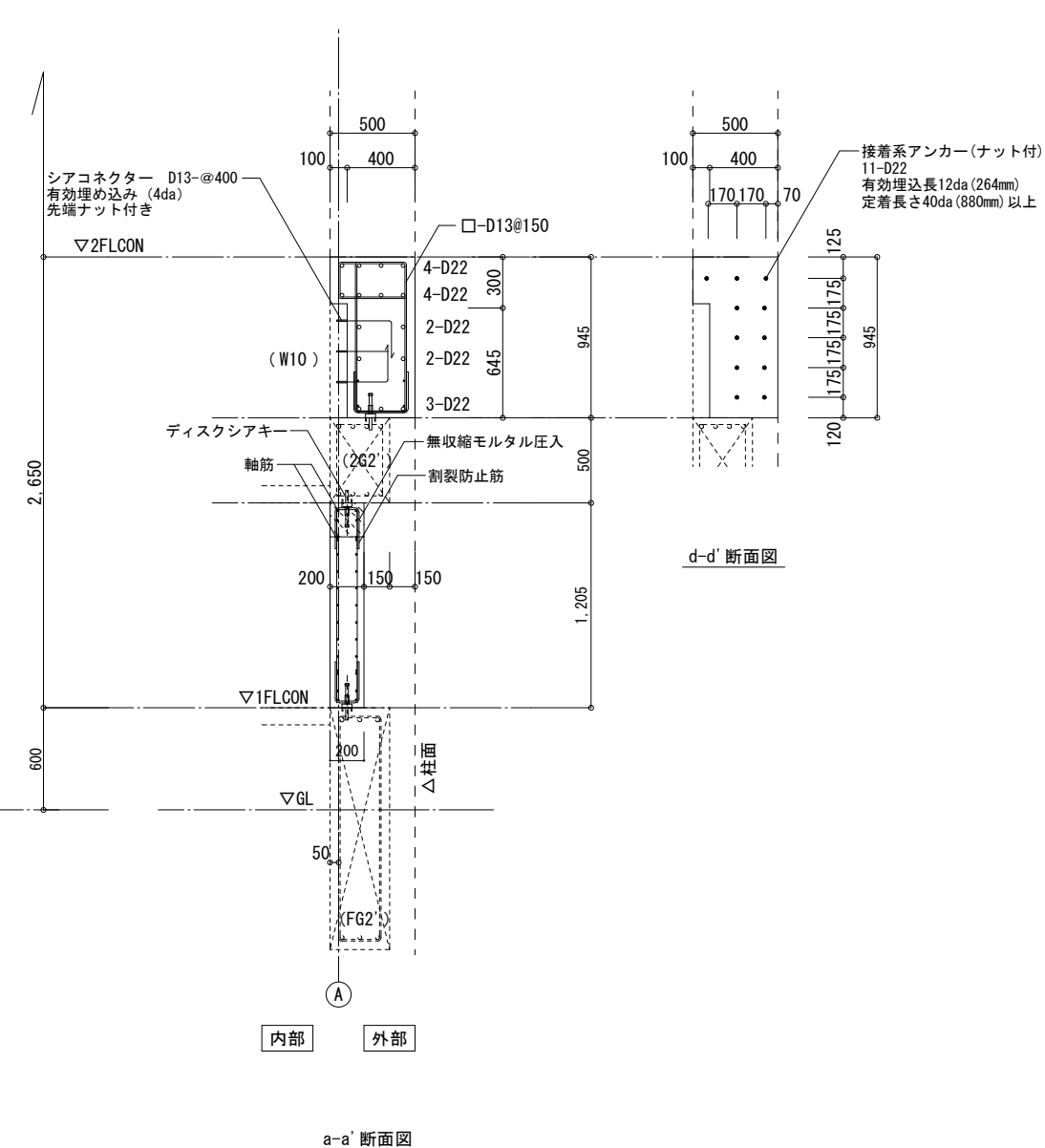
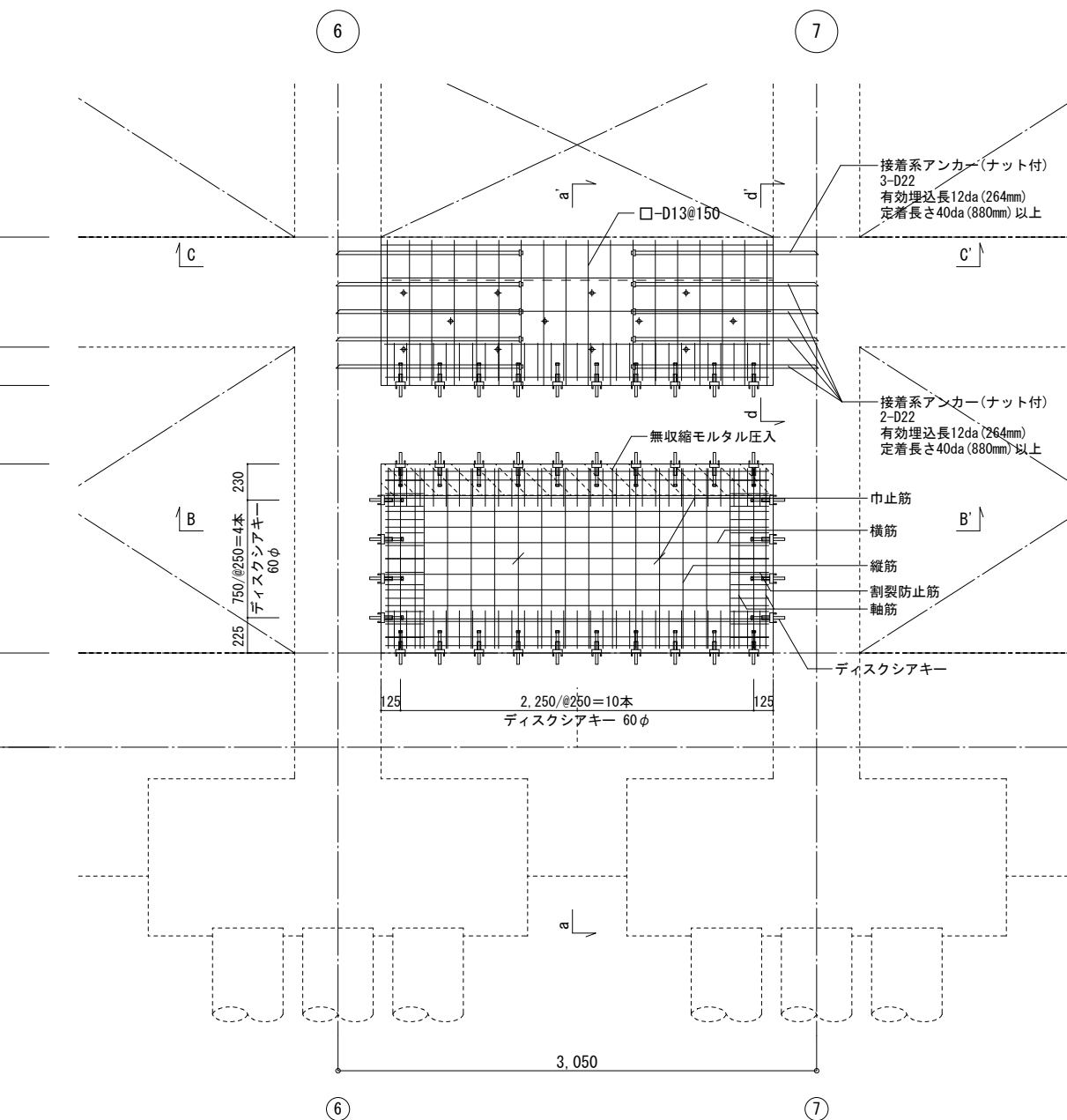
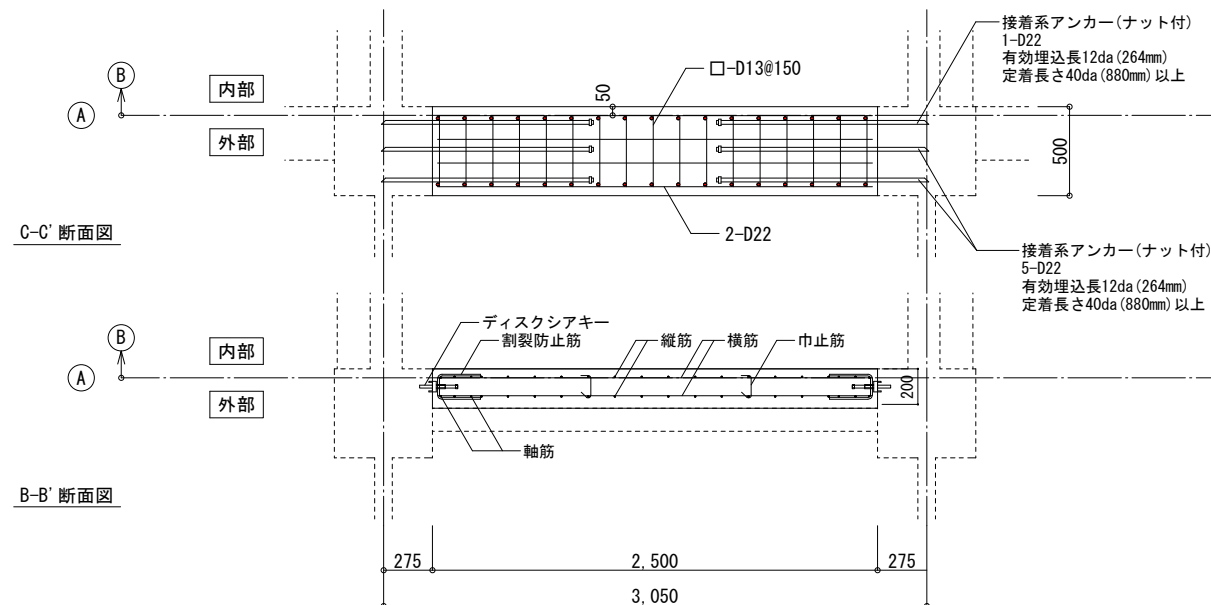


部分スリット詳細図 1/20

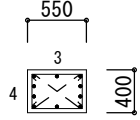
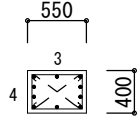
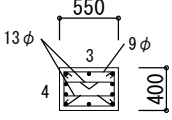
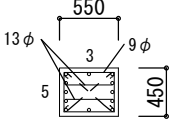


設計に緑を

記事			株式会社 車田建築設計事務所 KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES. 1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号	管理建築士 1級建築士 登録 第369073号 車田 寛	構造設計者 1級建築士 登録 第248850号 構造1級建築士 登録 第 4097号 浜口 修也	設計年月日	工事名	A 2版 100%	図面No S-31
						2021. 6.	旭町住宅2号棟耐震改修等工事(建築主体工事)	A 3版 71%	
							図面名 3号棟 耐震スリット詳細図	縮尺 1/40、20	



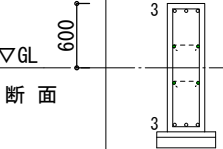
既存柱リスト 1/50

4	符 号	C1
	位 置	全断面
	断 面	
	寸 法	550x400
	主筋	10-D19
	帯筋	□-9φ@100
3	符 号	C1
	位 置	全断面
	断 面	
	寸 法	550x400
	主筋	10-D19
	帯筋	□-9φ@100
2	符 号	C1
	位 置	全断面
	断 面	
	寸 法	550x400
	主筋	10-D19
	帯筋	□-9φ, 13φ@100
1	符 号	C1
	位 置	全断面
	断 面	
	寸 法	550x450
	主筋	12-D22
	帯筋	□-9φ, 13φ@100
	ダイヤ筋	9φ-@500

既存大梁リスト 1/50

2	符 号	G2
	位 置	全断面
	断 面	
	B×D	350×500
	上端筋	4-D22
	下端筋	4-D22
	あばら筋	□-9φ@150
	腹 筋	

既存地中梁リスト 1/50

1	符 号	FG2
	位 置	全断面
	断 面	
	B×D	350×1,200
	上端筋	3-D22
	下端筋	3-D22
	あばら筋	□-9φ@150
	腹 筋	4-9φ

壁リスト 1/30

壁 厚	W10	W15	W18	
断 面				
縦 筋	D10-@200 シングル	D10-@250 折り	D10-@200 ダブル	
横 筋	D10-@200 シングル	D10-@250 折り	D10-@200 ダブル	
開口補強筋 (縦筋)	1-D13	2-D13	2-D13	
開口補強筋 (横筋)	1-D13	2-D13	2-D13	
開口補強筋 (斜筋)	1-D13	2-D13	2-D13	



設計に緑を

記事



株式会社 車田建築設計事務所
KURUMADA ARCHITECT & ASSOCIATES.
1級建築士事務所 登録 17(1)第0587号

管理建築士
1級建築士 登録 第369073号 車田 寛

構造設計者
1級建築士 登録 第248850号
構造1級建築士 登録 第 4097号 浜口 修也

設計年月日

2021. 6.

工事名

旭町住宅3号棟耐震改修等工事(建築主体工事)

図面名

3号棟
既存 部材リスト

A 2版 100%
A 3版 71%

縮 尺
1/50

図面No

S-35

参考数量書

工 事 名 称旭町住宅 3 号棟耐震改修等工事（建築主体工事）

工 事 場 所三原市旭町一丁目

[工 事 概 要]

用途,構造,面積	鉄筋コンクリート造 4 階建 延べ面積1,341.38㎡	
工 事 範 囲	建築主体工事, 外構工事	
別 途 工 事	電気設備工事, 機械設備工事	
工 期	契約締結日の翌日 ～ 令和5年3月20日	
一 般 事 項		
《 工事予算内訳 》 合 計 金 額		
〈内 訳〉		
区 分	金 額	概 要
設 計 金 額		
消 費 税 額		
合 計 金 額		

工事費内訳

名 称		数 量	单 位	金 額	備 考
直接工事費					
建築工事		1	式		
計					
共通費					
共通仮設費		1	式		
現場管理費		1	式		
一般管理費等		1	式		
計					
工事価格		1	式		
消費税等相当額		1	式		消費税率 10 %
工事費		1	式		

工事種別内訳

[illegible]

建築工事 種目別内訳

[illegible]

建築工事 科目別内訳

EV増築工事					
名 称		数 量	単 位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
土工		1	式		
地業		1	式		
鉄筋		1	式		
コンクリート		1	式		
型枠		1	式		
鉄骨		1	式		
既製コンクリート		1	式		
防水		1	式		
屋根及びとい		1	式		
金属		1	式		
左官		1	式		
塗装		1	式		
内外装		1	式		
昇降機設置工事		1	式		

建築工事 科目別内訳

EV増築工事

[illegible]

建築工事 科目別内訳

耐震補強工事

[illegible]

建築工事 科目別内訳

外壁劣化改修工事

[illegible]

建築工事 科目別内訳

屋上防水改修工事

[illegible]

建築工事 科目別内訳

外構工事

[illegible]

建築工事 細目別内訳

EV増築工事 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
遣方	一 般	17.3	m ²			
墨出し	一 般 S造 地上階	69.2	m ²			
養生	一 般 S造 地上階	69.2	m ²			
整理清掃 後片付け	一 般 S造 地上階	69.2	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 供用1日賃料 基本料 修理費含む 22m未満	202	m2			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 供用1日賃料 基本料 修理費含む	16.4	m			
ｼｬﾌﾄ内足場	枠組棚足場 掛払い手間 供用1日賃料 基本料 修理費含む	40	m2			
外部仕上足場	脚立足場 掛払い手間 供用1日賃料 基本料 修理費含む	2.7	m2			
養生ｼｰﾄ張り	防災Ⅰ類 掛払い手間 供用1日賃料 基本料 修理費含む	202	m2			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	202	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	16.4	m			
仮設材運搬 (ｼｬﾌﾄ内足場)		40	m ²			
仮設材運搬 (外部仕上足場 脚立足場)	4階建	3	m2			
仮設材運搬 (ｼｰﾄ・ﾈｯﾄ類)		202	m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

EV増築工事						
コンクリート						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
無筋コンクリート	捨てコンクリート(高炉B) Fc=18N/mm2 S=15	0.5	m3			
鉄筋コンクリート	基礎コンクリート Fc=24N/mm2 S=15	8.7	m3			
鉄筋コンクリート	1階床コンクリート Fc=24N/mm2 S=15	0.5	m3			
鉄筋コンクリート	デッキコンクリート Fc=24N/mm2 S=18	1.4	m3			
構造体強度補正值	基礎コンクリート + 6N Fc=27-24N/mm2 S=15	8.7	m3			
構造体強度補正值	1階床コンクリート + 6N Fc=27-24N/mm2 S=15	0.5	m3			
構造体強度補正值	デッキコンクリート +6N Fc=27-24N/mm2 S=18	1.4	m3			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15～S18 押え共	0.5	m3			
コンクリート打設手間	防水保護コンクリート 人力打設 - S15～S18 押え共	1.4	m3			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15～S18 押え共	7.4	m3			
コンクリート打設手間	防水保護コンクリート 人力打設 - S15～S18 押え共	0.5	m3			
コンクリート打設手間	S造スラブ ポンプ打設 50m3/回程度 S15～S18 押え共 圧送費、基本料別途	1.4	m3			
コンクリートポンプ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	1	m3			
コンクリートポンプ 圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	1	回			
計						

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

EV増築工事 鉄骨						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
角形鋼管	BCR295 □-250*250*9	1.5	t			
角形鋼管	BCR295 □-250*250*12	2	t			
H形鋼	SS400 H-200×200×8×12	0.2	t			
H形鋼	SN400B H-244×175×7×11	0.5	t			
H形鋼	SN400B H-294×200×8×12	1.8	t			
切板	SS400 PL-19	0.5	t			
切板	SS400 PL-9	0.01	t			
鉄骨スクラップ 控除		▲0.2	t			
鉄骨工場加工組立費	耐震補強流用	7.2	t			
工場錆止め塗装	K5674	7.2	m2			
現場建方費	耐震補強流用	7.2	t			
鉄骨運搬	4t車	7.2	t			
弾性露出柱脚 J250-12K		4	か所			
JIS形高力ボルト締付	F10T M20×60	550	本			
JIS形高力ボルト締付	F10T M20×55	138	本			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

EV増築工事 金属						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鉄骨下がり壁 下地	25形(屋外) H300～500程度	24.4	m			
軽量鉄骨天井下地	25形(屋外) ふところ1.0m未満 下地張りなし @300 インサート別途	9.9	m ²			
天井インサート	デッキ用	14.9	m ²			
アルミ製下端見切	135*25	7.2	m			
アルミ製 防水押え水切り		3	m			
下り壁見切縁	アルミ製	24.4	m			
アルミ製EXP. J金物	屋根用 クリアランス100用 1時間耐火帯付	3	m			
アルミ製EXP. J金物	床平型 クリアランス100用 1時間耐火帯付	8.1	m			
アルミ製EXP. J金物	外壁平型 クリアランス100用	1.9	m			
アルミ製EXP. J金物	外壁L型 クリアランス100用	1.3	m			
アルミ製笠木	W=400	14.9	m			
アルミ製手摺	H=1100	7.2	m			
ステンレス製手摺	H=800	10	m			
階段滑り止め	ステンレス製 エント [※] 無し 幅35	4.7	m			
計						

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

EV増築工事 撤去						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート撤去	鉄筋切断共 コンクリートブレイカ 集積共	3.7	m3			
舗装路盤撤去	集積共	4.7	m3			
アスファルト舗装撤去	集積共	1.6	m3			
土間碎石地業撤去	集積共	1.4	m3			
カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm	55.3	m			
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	1.4	m			
アスファルトカッター入れ		28.6	m			
床モルタル・床人研ぎ撤去	集積共	2.3	m ²			
壁モルタル・ブラスター撤去	集積共	5.2	m ²			
発生材積込み	モルタル	0.8	m3			
発生材積込み	コンクリート塊	3.1	m3			
発生材積込み	碎石地業	1.4	m3			
発生材積込み	アスファルト舗装	1.6	m3			
発生材積込み	舗装路盤	4.7	m3			
計						

建築工事 細目別内訳

EV増築工事 発生材処理費						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
[発生材運搬費]						
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	0.8	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	3.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	1.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	1.6	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	4.7	m3			
[発生材処理費]						
とりこわし 発生材処分	モルタル	0.8	m3			
とりこわし 発生材処分	コンクリート塊	3.1	m3			
とりこわし 発生材処分	碎石地業	1.4	m3			
とりこわし 発生材処分	アスファルト舗装	1.6	m3			
とりこわし 発生材処分	舗装路盤	4.7	m3			
計						

建築工事 細目別内訳

耐震補強工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
[鉄筋]						
異形鉄筋	SD295A D10	47.8	kg			
異形鉄筋	SD295A D13	182	kg			
異形鉄筋	SD345 D22	119	kg			
鉄筋スクラップ		▲9				
鉄筋加工組立費	耐震改修用	335	K g			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	335	t			
[コンクリート]						
普通コンクリート	Fc=27N/mm2 S=18	1.6	m3			
構造体強度補正值	△3N Fc=27+3=30N/mm2 S=18	1.6	m3			
コンクリート打設手間	耐震壁 流し込み工法 標準階高 圧送費、基本料別途	1.6	m3			
コンクリートポンプ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	1.6	m3			
[型枠]						
型枠	打放合板型枠B種 耐震改修用 地上軸部	9.5	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	9.5	m ²			

建築工事 細目別内訳

耐震補強工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
[その他]						
無収縮モルタル注入	Fc=30N/mm2	0.1	m3			
無収縮モルタル注入用 型枠	H=200程度 両面木製	2.5	m			
あと施工アンカー	D13 接着系 横向き 埋込み深さ:L=5da 定着長さ:L=25da	12	本			
あと施工アンカー	D22 接着系 横向き 埋込み深さ:L=13da 定着長さ:L=40da	30	本			
デイスクリンキー取付け	60φ-M16 下向き A. Bolt有効埋込長さ72mm 接続Bolt定着長さ150mm	20	本			
デイスクリンキー取付け	60φ-M16 横向き A. Bolt有効埋込長さ72mm 接続Bolt定着長さ150mm	8	本			
デイスクリンキー取付け	60φ-M16 上向き A. Bolt有効埋込長さ72mm 接続Bolt定着長さ150mm	10	本			
デイスクリンキー確認試験	1本/1日施工枠毎、且つ確認強度毎 打音検査・固着試験	1	式			
スリット工事	ハンビック工法・薄残し型完全スリット (躯体20mm以下残し)	1	式			
[撤去]						
壁 コンクリート目荒し		2.5	m2			
計						

建築工事 細目別内訳

外壁劣化改修工事 仮設工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
養生(外壁改修)		378	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		378	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間、供用1日損料、基本料 修理費含む 22m未満	1,112	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間、供用1日損料、基本料 修理費含む	95.5	m			
ネット状養生シート張り	防災Ⅰ類 掛払い手間、供用1日損料、基本料 修理費含む	1,112	m ²			
外部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般	187	m ²			
外部階段仕上足場	掛払い手間、供用1日損料、基本料 修理費含む	155	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	1,112	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		1,112	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	95.5	m			
仮設材運搬 (外部仕上足場 脚立足場)	4階建	187	m ²			
仮設材運搬 (外部階段 仕上足場)		155	m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

外壁劣化改修工事		外壁改修工事		劣化補修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面・仕上塗材改修	355	m ²			
施工数量調査 (外壁改修)	タイル・モルタル塗替改修	1,532	m ²			
A-1 打放し面表面劣化 処理		355	m ²			
A-2 モルタル面表面劣化処 理		1,532	m ²			
B-4 モルタル面エポキシ樹脂 注入工法	0.2～0.5mm 自動 挙動 無し	154	m			
B-4 モルタル面エポキシ樹脂 注入工法	0.5～1.0mm 手動 挙動 無し	14.3	m			
D-1 モルタル面はつり	0.25m ² 以上	23.8	m ²			
C-2 クラック部モルタル面サ 鉄筋処理		530	m			
D-2 モルタル面アン カーヒートンク部分注 入エポキシ樹脂	0.25m ² 以下 一般部(16カ所/m ²)	265	m ²			
E-3 モルタル面欠損部処理	ポリマーセメント	54.3	m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

[illegible][illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

屋上防水改修工事						
防水改修工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アルミ製笠木	W420	87.6	m			
アルミ製笠木 柱上部役物	400*600	2	か所			
アルミ製笠木 柱上部役物	500*600	2	か所			
アルミ製笠木 (コーナー役物)	W420	4	か所			
高圧水洗浄	150～200kg/cm2	661	m ²			
防水下地調整費	エポキシ樹脂モルタル塗布	661	m ²			
塗膜防水(材工共)	X-1 絶縁工法 ウレタンゴム系 平面 表面塗装シルバー	316	m ²			
塗膜防水(材工共)	X-1 絶縁工法 ウレタンゴム系 立上り 表面塗装シルバー	60.5	m ²			
塗膜防水(材工共)	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 平面 表面塗装シルバー	242	m ²			
塗膜防水(材工共)	X-2 密着工法 ウレタンゴム系 立上り 表面塗装シルバー	42.6	m ²			
改修用 ルーフトレイン	75φ 縦引き 塗膜防水用	6	か所			
改修用 パルコニートレイン	75φ 縦引き	24	か所			
計						

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

外構工事 自転車置場						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
根切り	つぼ, 布掘り 深さ2.5m程度	12.8	m3			
床付け	つぼ, 布掘り	6	m ²			
埋戻し(B種)	- 発生土	9.7	m3			
建設発生土運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 土砂 DID区間有り 24.0km以下	3.1	m3			
建設発生土処分	場外処分 処分費	3.1	m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	2	往復			
砂利地業	再生クラッシュラン	1.9	m3			
異形鉄筋	SD295A D13	0.04	t			
鉄筋スクラップ 控除		1	式			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	0.04	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.04	t			
無筋コンクリート	捨てコンクリート(高炉B) Fc=18N/mm2 S=15	0.3	m3			
鉄筋コンクリート	基礎コンクリート Fc=18N/mm2 S=15	6	m3			
コンクリート打設 手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15～S18 - -	0.3	m3			
コンクリート打設 手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15～S18 - -	6	m3			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

外構工事 ゴミ置場						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
根切り	小規模土工 -	1.6	m3			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	0.5	m3			
敷きならし	締め固め共	1.1	m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し(小規模土工) -	2	往復			
砂利地業	再生クラッシュラン	0.4	m3			
普通コンクリート	Fc=18 S=15 土間コンクリート	0.7	m3			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15～S18 -	0.7	m3			
普通型枠	小型構造物 擁壁、囲障の基礎等	2.1	m ²			
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	2.1	m ²			
異形鉄筋	SD295A D10	0.03	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	0.03	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.1	t			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 薄張物下地	11.1	m ²			
ゴミステーション	1810×1150×H1960 明記製作所:ゴミステーション同等	2	か所			
計						

建築工事 細目別内訳

外構工事 屋外倉庫						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
根切り	つぼ, 布掘り 深さ2.5m程度	17.2	m3			
床付け	つぼ, 布掘り	66.2	m ²			
埋戻し(B種)	- 発生土	1.2	m3			
建設発生土運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 土砂 DID区間有り 24.0km以下	16	m3			
建設発生土処分	場外処分 処分費	16	m3			
砂利地業	再生クラッシュラン	4	m3			
異形鉄筋	SD295A D10	0.4	t			
鉄筋スクラップ 控除		0.01	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	0.4	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.4	t			
無筋コンクリート	捨てコンクリート(高炉B) Fc=18N/mm2 S=15	3.3	m3			
鉄筋コンクリート	基礎コンクリート Fc=18N/mm2 S=15	8.7	m3			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15～S18 -	3.3	m3			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15～S18 -	8.7	m3			
コンクリートポンプ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	8.7	m3			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

外構工事 駐車場						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
根切り	つぼ, 布掘り 深さ2.5m程度	5.2	m3			
床付け	つぼ, 布掘り	12.6	m ²			
埋戻し(B種)	- 発生土	2.2	m3			
建設発生土運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホウ0.13m3 土砂 DID区間有り 24.0km以下	3	m3			
建設発生土処分	場外処分 処分費	3	m3			
砂利地業	再生クラッシュラン	0.8	m3			
異形鉄筋	SD295A D10	0.04	t			
異形鉄筋	SD295A D13	0.1	t			
鉄筋スクラップ 控除		1	式			
鉄筋加工組立	小型構造物 -	0.2	t			
鉄筋運搬費	4 t 車 30km程度	0.2	t			
無筋コンクリート	捨てコンクリート(高炉B) Fc=18N/mm2 S=15	0.6	m3			
鉄筋コンクリート	基礎コンクリート Fc=18N/mm2 S=15	2.1	m3			
コンクリート打設 手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15～S18 - -	0.6	m3			
コンクリート打設 手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15～S18 - -	2.1	m3			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

外構工事 撤去工事						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルトカッター入れ		116	m			
アスファルト舗装撤去	50mm	17.5	m ³			
コンクリート舗装撤去	厚100 集積共	2.3	m ³			
舗装路盤撤去	集積共	55.9	m ³			
コンクリート花壇撤去	300*100 集積共	20.3	m ³			
コンクリート側溝撤去	W200 集積共	13	m ³			
発生材積込み	コンクリート類 人力	77.9	m ³			
ポンプ室撤去	2.7*5.5*2.5H 鉄筋切断共 集積共	19.1	m ³			
倉庫室撤去	22.504*2.20*1.90H 鉄筋切断共 集積共	31.6	m ³			
自転車置場撤去 上屋解体	15.6*2.10	32.8	m ²			
自転車置場撤去 土間解体	15.6*2.10 鉄筋切断共 集積共	4.9	m ³			
石綿ストレー屋根撤去		32.8	m ²			
発生材積込み	コンクリート類 人力	134	m ³			
[ゴミ置場]						
石綿ストレー屋根撤去		7.5	m ²			

建築工事 細目別内訳

[illegible]

建築工事 細目別内訳

外構工事 発生材処理費						
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
[発生材運搬費]						
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	4.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	17.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	55.9	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	55.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	0.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	ダンプトラック 10t積級 バックホウ0.8m3 無筋コンクリート類 DID区間有り 60.0km以下	0.6	m3			
[発生材処理費]						
とりこわし 発生材処分	コンクリート塊	4.5	m3			
とりこわし 発生材処分	アスファルト舗装	17.5	m3			
とりこわし 発生材処分	舗装路盤	55.9	m3			
とりこわし 発生材処分	コンクリート塊 ポンプ・倉庫・自転車	55.7	m3			
とりこわし 発生材処分	CB	0.7	m3			
とりこわし 発生材処分	石綿スレート	0.6	m3			
計						

共通仮設費(積上) 明細

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮囲い	成形鋼板 H=3000	131	m			
キャスターゲート	W=6000×H=1800	1	か所			
交通誘導員	B	300	人			
デジタル粉塵計	8ヵ月	2	台			
騒音振動計	レベルレコーダ 8ヵ月	1	台			
コンパネ敷き	厚12	100	m ²			
仮設鉄板敷養生	22mm	100	m ²			
アスベスト分析調査		10	検体			
[ポンプ室解体時]						
仮囲い [ポンプ室解体時]	成形鋼板 H=3000	30.6	m			
キャスターゲート	W=6000×H=1800	1	か所			
[仮設駐車場]						
ガードフェンス	H=1800	37	m			
碎石敷き	設置・撤去・整地共 t=5cm 仮駐車場用	820	m ²			
駐車区画線用 ロープ 張り	地盤面固定 設置・撤去処分共 仮駐車場用	210	m			

共通仮設費(積上) 明細

[illegible]

現場管理費(積上) 明細

[illegible]